可児市 市民意識アンケート調査 調査結果報告書

令和2年7月 可 児 市

目 次

Ι	調査の概要1
1	調査の目的
2	調査対象
3	調査期間
4	調査方法
5	回収状況
6	調査結果の表示方法
Ι	調査結果 2
1	全世代 2
	(1)回答者属性
	(2) 可児市への居住理由について1:
	(3) 施策の重要度と満足度について25
	(4) 可児市のイメージについて90
	(5) 余暇の過ごし方について11:
	(6) 子育て環境について118
	(7) 運動の推進について
	(8) 教育や学習に関する施策について129
2	若年層 135
	(1) 回答者属性
	(2) 可児市への居住理由について145
	(3) 施策の重要度と満足度について154
	(4) 可児市のイメージについて215
	(5) 余暇の過ごし方について234
	(6) 子育て環境について240
	(7) 運動の推進について24
	(8) 教育や学習に関する施策について25

Ш	調査票	252
1	全世代	252
2	若年層	261

I 調査の概要

1 調査の目的

平成27年10月に策定した「可児市総合戦略」の施策の評価のための指標とするとともに、市 政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

2 調査対象

可児市在住の16歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和2年6月1日から令和2年6月15日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
①16 歳以上の市民	2,000 通	990 通	49.5%
②①以外の 16 歳~	1,000 通	323 通	32.3%
39 歳までの市民	1,000 //	020 <u>(m</u>	02. 0 /0

※本文中の若年層は、①のうちの16歳~39歳(182通)と②を合算して分析しています。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計 (全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組 み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成する ことにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

※回答者数が10件未満の場合は、コメントを記載していません。

・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを で網 かけをしています。(無回答を除く)

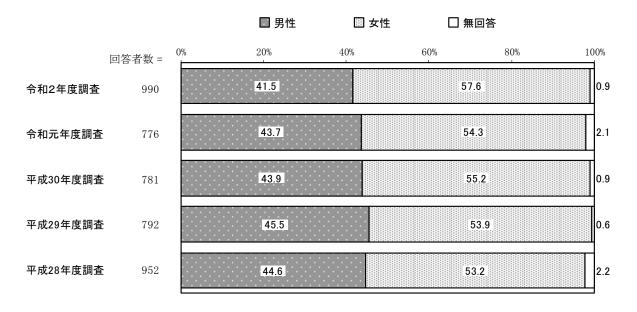
Ⅱ 調査結果

1 全世代

(1)回答者属性

問1 あなたの性別はどちらですか。(Oは1つだけ)

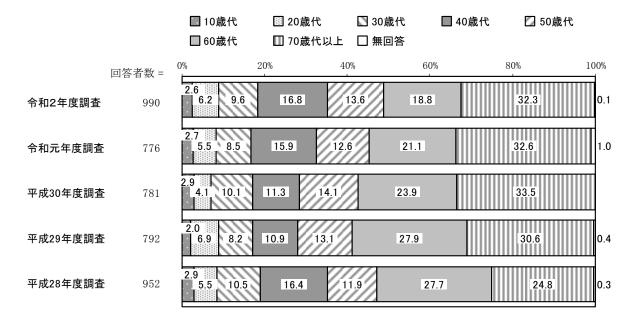
「男性」の割合が41.5%、「女性」の割合が57.6%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「70 歳代以上」の割合が32.3%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が18.8%、「40 歳代」の割合が16.8%となっています。

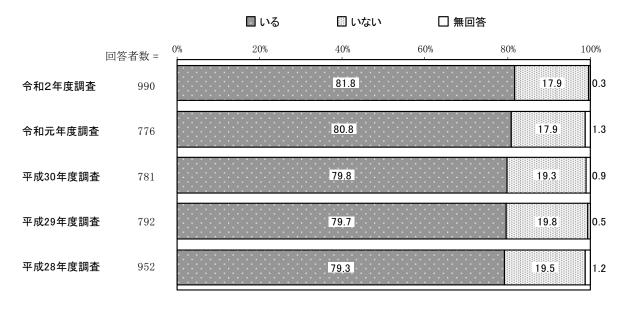
令和元年度以前の調査と比較すると、「60 歳代」の割合が減少し、「70 歳代以上」の割合が増加する傾向がみられます。



問3 あなたには、子どもはいますか。(〇は1つだけ)

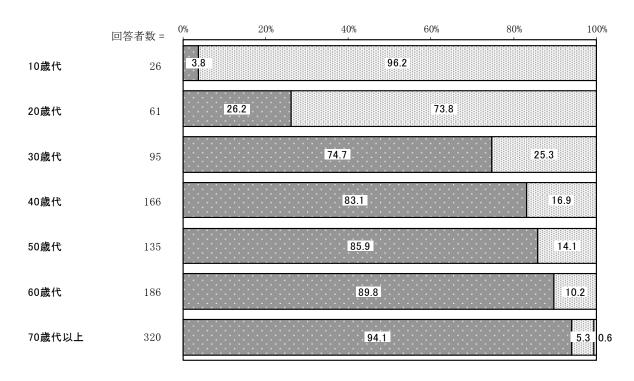
「いる」の割合が81.8%、「いない」の割合が17.9%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、緩やかではあるものの「いる」の割合が増加する傾向が みられます。



【年代別】

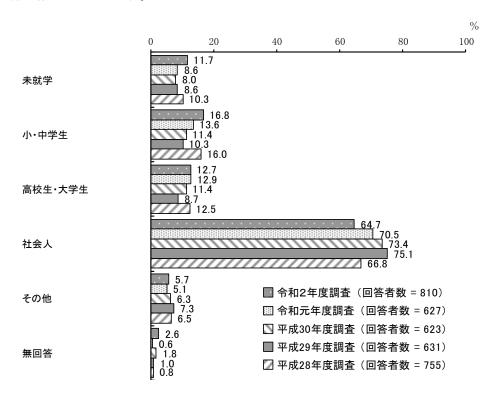
年代別でみると、、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなっており、70歳代以上で9割台半ばとなっています。



子どもの世代

「社会人」の割合が 64.7% と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が 16.8%、「高校生・大学生」の割合が 12.7% となっています。

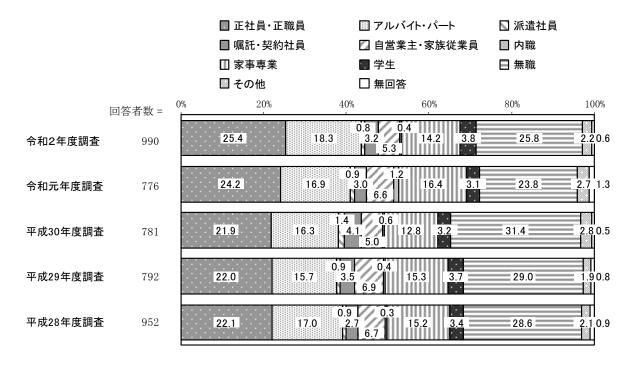
令和元年度以前の調査と比較すると、平成29年度以降「小・中学生」の割合が増加し、「社会人」の割合が減少しています。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

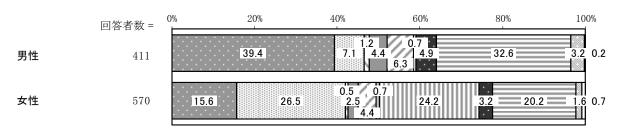
「無職」の割合が 25.8% と最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が 25.4%、「アルバイト・パート」の割合が 18.3% となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「正社員・正職員」の割合が増加する傾向がみられます。 また、平成30年度調査以前に比べ、令和元年度調査以降では「無職」の割合が減少しています。

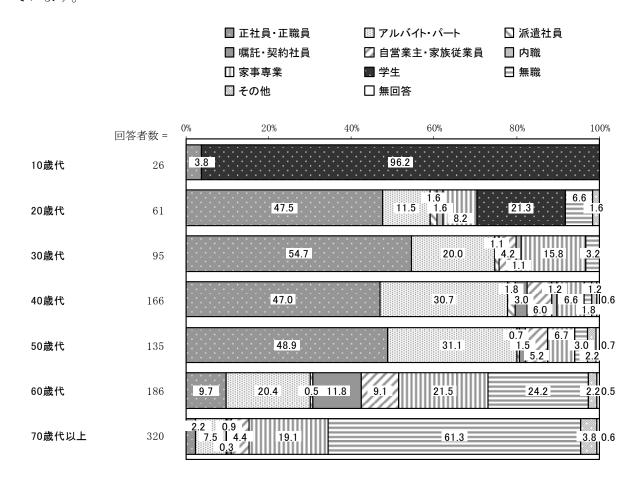


【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「無職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



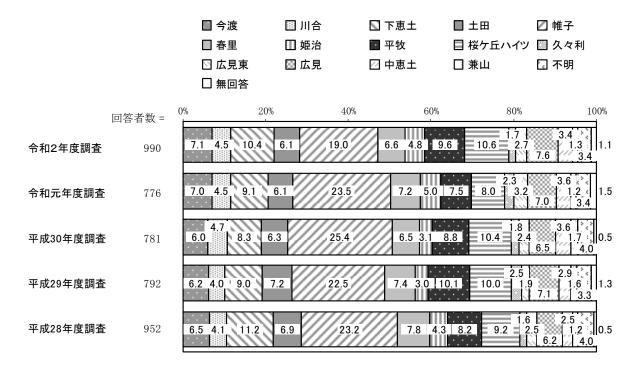
年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代から50歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、特に30歳代で5割台半ばとなっています。また、70歳代以上で「無職」の割合が、40歳代、50歳代で「アルバイト・パート」の割合が、60歳代、70歳代以上で「家事専業」の割合が高くなっています。



問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

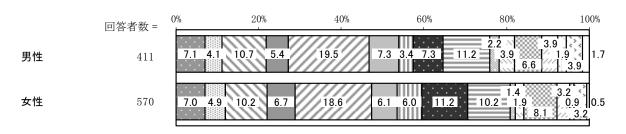
「帷子」の割合が 19.0% と最も高く、次いで「桜ケ丘ハイツ」の割合が 10.6%、「下恵土」の 割合が 10.4% となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

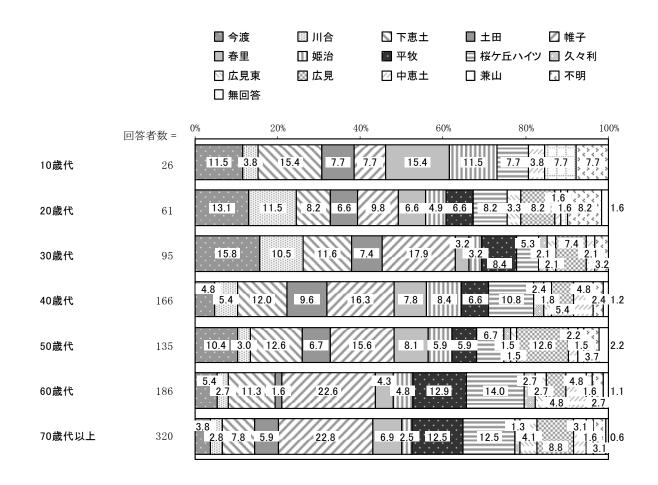


【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

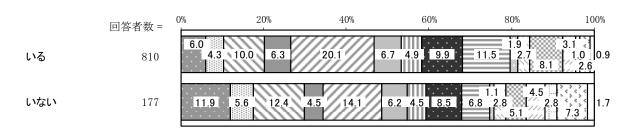


年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で「川合」の割合が高くなっています。また、60歳代、70歳代以上で「帷子」「平牧」の割合が高くなっています。



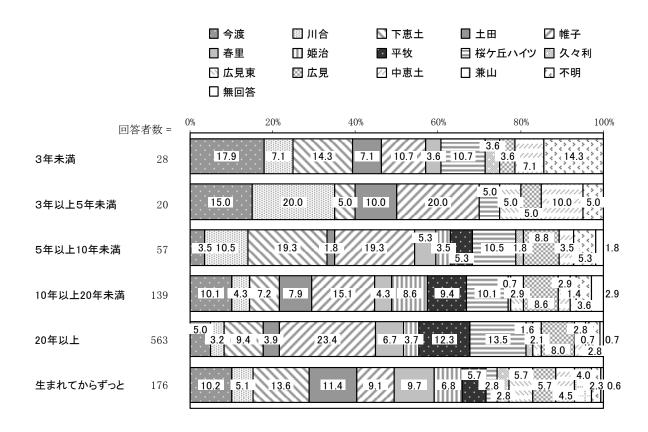
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「帷子」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「今渡」の割合が高くなっています。



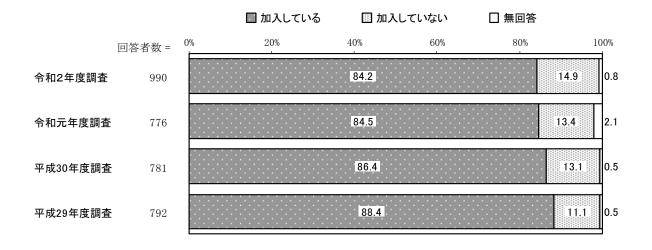
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「今渡」の割合が、3年以上5年未満で「川合」「帷子」の割合が、5年以上10年未満で「下恵土」「帷子」の割合が高く、約2割となっています。

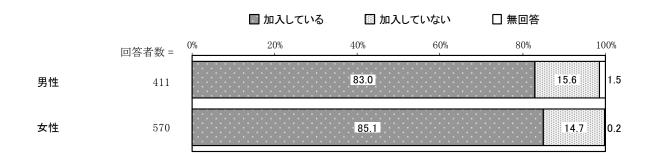


問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。(Oは1つだけ)

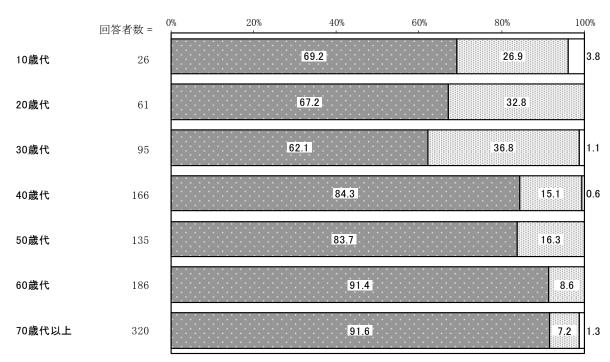
「加入している」の割合が84.2%、「加入していない」の割合が14.9%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、「加入している」の割合が減少する傾向がみられます。



【性 別】 性別でみると、大きな差異はみられません。

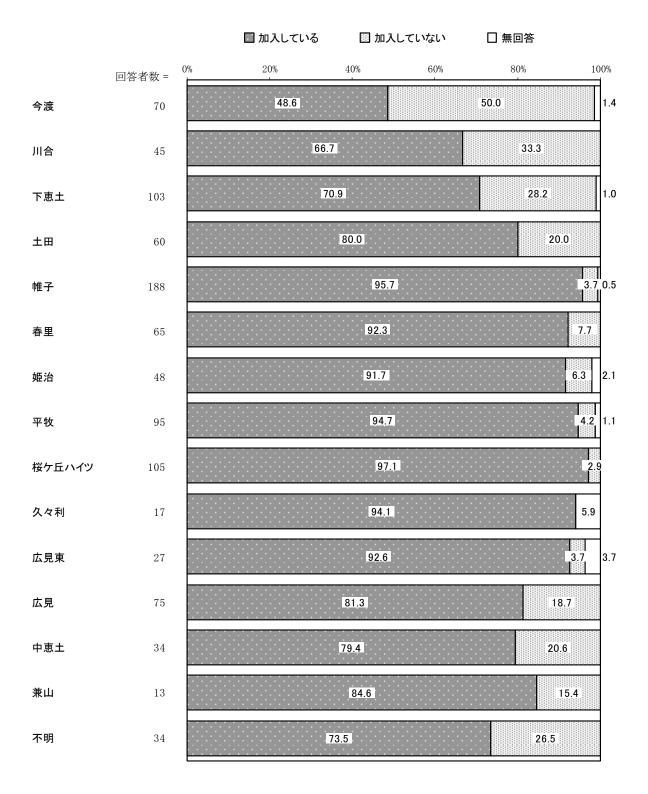


年代別でみると、30歳代以上で年齢が高くなるにつれ「加入している」の割合が高くなっており、60歳代、70歳代以上で約9割となっています。また、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で「加入していない」の割合が高く、3割を超えています。



【居住地区別】

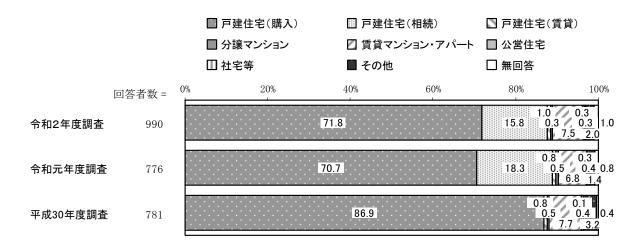
居住地区別でみると、他の地区に比べ、帷子、桜ケ丘ハイツで「加入している」の割合が高く、 9割台後半となっています。また、今渡で「加入していない」の割合が高く、5割となっていま す。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(Oは1つだけ)

「戸建住宅(購入)」の割合が 71.8% と最も高く、次いで「戸建住宅(相続)」の割合が 15.8% となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

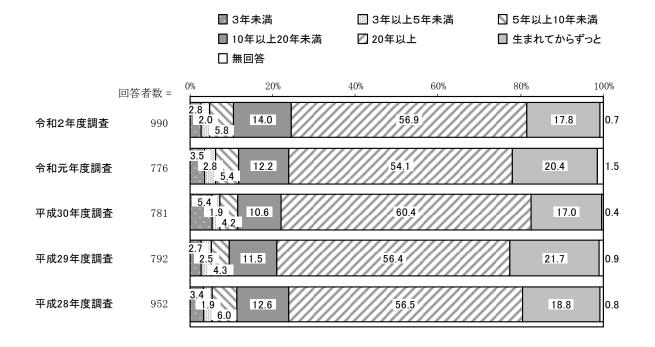


※平成30年度調査には「戸建住宅(相続)」の選択肢はありませんでした。

問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。 (〇は1つだけ)

「20 年以上」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が 17.8%、「10 年以上 20 年未満」の割合が 14.0%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「20年以上」の割合が平成30年度までは増加しているものの、以降は減少しています。



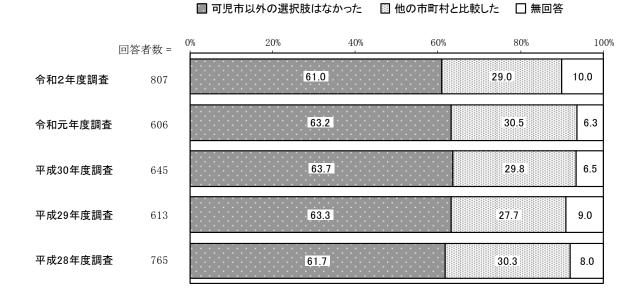
(2) 可児市への居住理由について

【問8で「3年未満」~「20年以上」を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(Oは1つだけ)

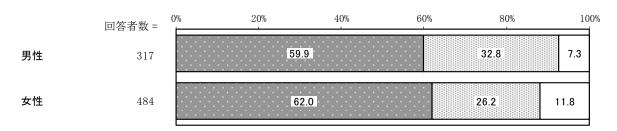
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が61.0%、「他の市町村と比較した」の割合が29.0%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

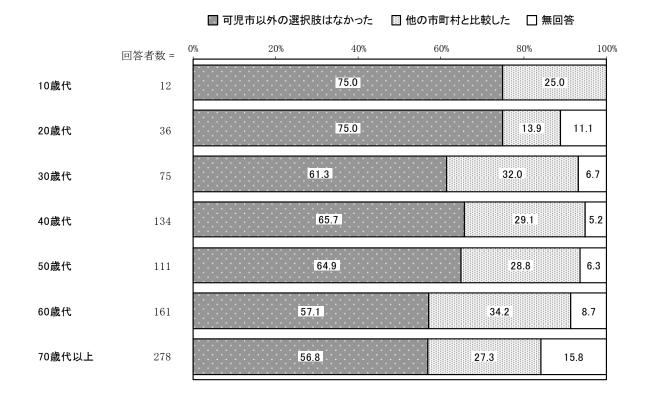


【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「他の市町村と比較した」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



年代別でみると、年代が低くなるにつれ「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなる傾向がみられ、10歳代、20歳代で7割台半ばとなっています。また、60歳代で「他の市町村と比較した」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

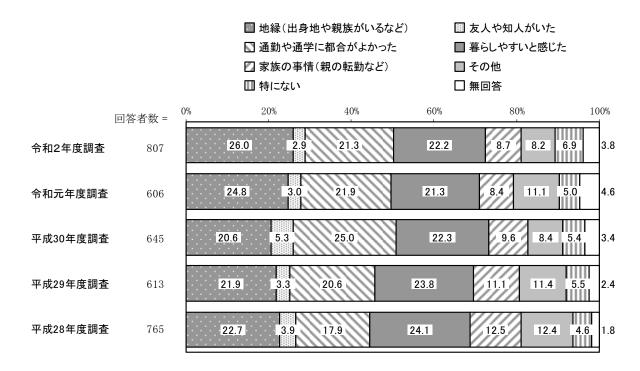


【問8で「3年未満」~「20年以上」を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

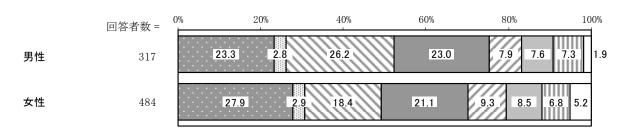
「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が26.0%と最も高く、次いで「暮らしやすいと感じた」の割合が22.2%、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が21.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が増加する傾向がみられます。

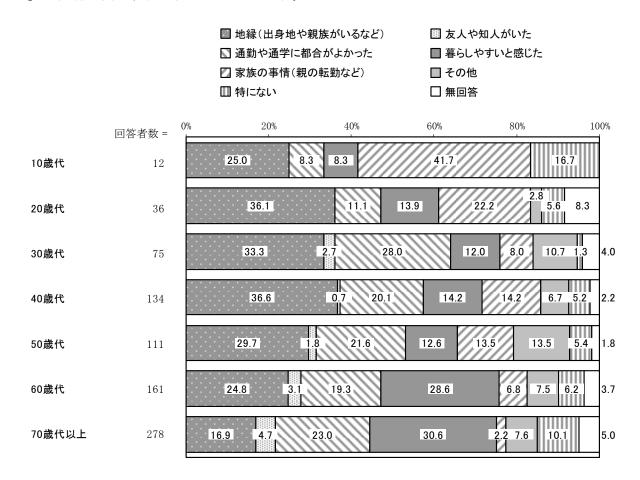


【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、2割台半ばとなっています。

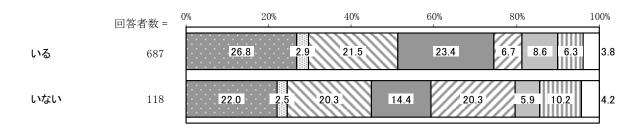


年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、40歳代で「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、60歳代、70歳代以上で「暮らしやすいと感じた」の割合が高く、約3割となっています。



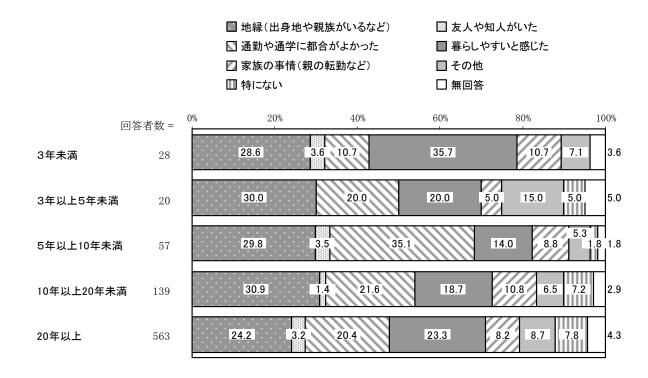
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「暮らしやすいと感じた」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情(親の転勤など)」の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

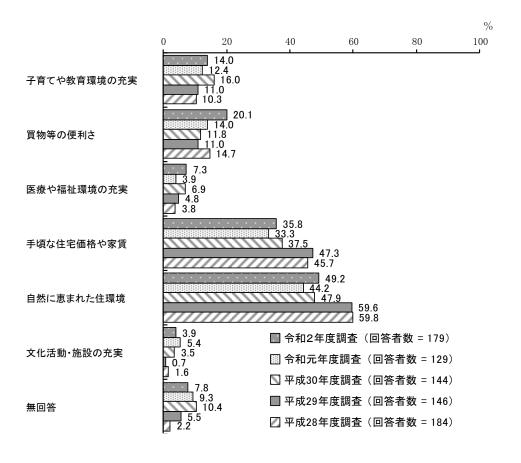
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「暮らしやすいと感じた」の割合が、5年以上10年未満で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



暮らしやすいと感じた理由

「自然に恵まれた住環境」の割合が49.2%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が35.8%、「買物等の便利さ」の割合が20.1%となっています。

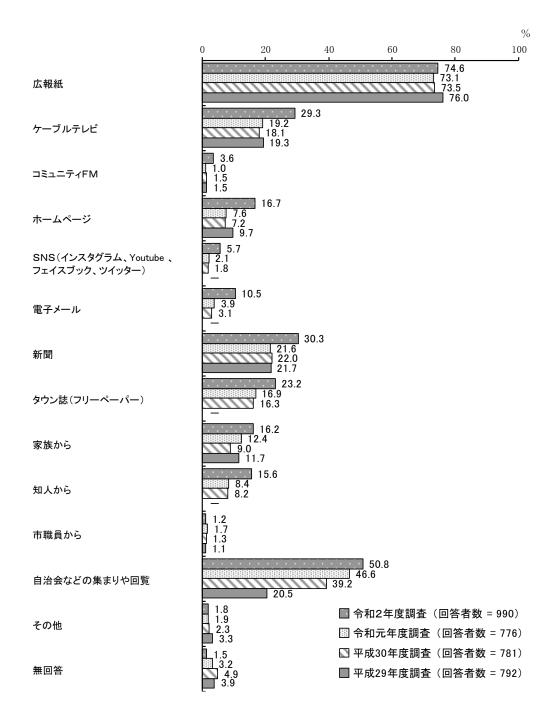
令和元年度以前の調査と比較すると、「買物等の便利さ」の割合が増加傾向にあるのに対し、「手頃な住宅価格や家賃」「自然に恵まれた住環境」の割合は減少傾向がみられます。



問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が 50.8%、「新聞」の割合が 30.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「ケーブルテレビ」「ホームページ」「電子メール」「新聞」「タウン誌(フリーペーパー)」「知人から」「自治会などの集まりや回覧」の割合が増加する傾向がみられます。



※平成29年度調査には「SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター)」「電子メール」「タウン誌(フリーペーパー)」「知人から」の選択肢はありませんでした。

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「タウン誌 (フリーペーパー)」「知人から」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	フェイスブック、ツイッター) SNS(インスタグラム、Youtube、	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	411	73. 2	29. 4	3. 6	17.8	4. 4	7.8	32. 4	20.0	16.8	12.7	2.2	47. 9	2.4	1.0
女性	570	75.8	29.3	3. 7	15.8	6. 7	12.6	29. 1	25.6	15. 6	17.9	0.5	52.8	1.4	1.8

【年代別】

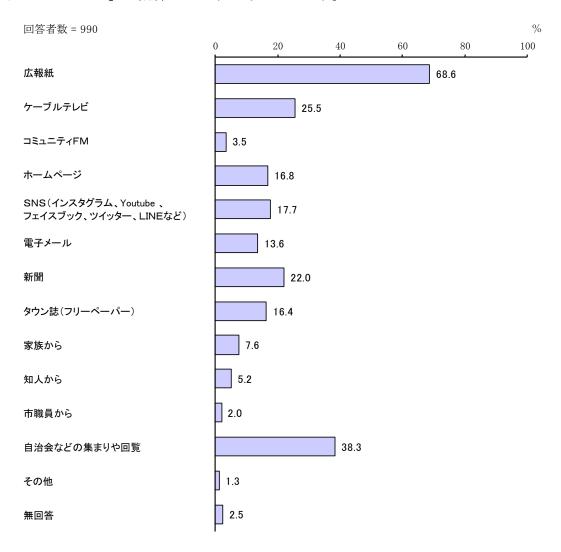
年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「広報紙」「自治会などの集まりや回覧」の割合が、年齢が低くなるにつれ「SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター)」「家族から」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、50歳代以上で「ケーブルテレビ」の割合が、40歳代、50歳代で「ホームページ」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	フェイスブック、ツイッター) SNS(インスタグラム、Youtube、	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	やの色	以
10 歳代	26	30.8	46. 2	3.8	3.8	23. 1	7. 7	15. 4	7. 7	57. 7	23. 1	ı	26. 9	3.8	_
20 歳代	61	41.0	16. 4	1.6	23. 0	18.0	6.6	1.6	14.8	44. 3	11.5	1	19. 7	1.6	1.6
30 歳代	95	64. 2	14. 7	1. 1	22. 1	16.8	28. 4	6. 3	31. 6	26. 3	28. 4	4. 2	26. 3	4. 2	_
40 歳代	166	72.3	18. 1	5. 4	28.3	8. 4	20. 5	22.3	30. 1	19.9	15. 1	1.8	51. 2	1.2	0.6
50 歳代	135	73. 3	37. 8	4. 4	23. 7	3. 7	13. 3	23. 7	32. 6	14. 1	16. 3	0.7	53. 3	2. 2	2. 2
60 歳代	186	83.9	33. 9	5. 4	13. 4	1.6	5. 4	40.9	27. 4	7. 0	12.9	1.6	60. 2	1.6	1. 1
70 歳代以上	320	84. 1	34. 4	2. 5	7.8	0.3	2.8	45.0	13. 4	8. 4	13. 4	0.3	59. 1	1.3	2. 5

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が 38.3%、「ケーブルテレビ」の割合が 25.5%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「SNS(インスタグラム、Youtube 、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)」の割合が高く、2割となっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	イスブック、ツイッター、LINEなど)SNS(インスタグラム、Youtube、フェ	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	411	68.4	25.8	3.6	18. 7	14.8	13. 1	23.6	13.9	7. 5	4.6	2. 7	38. 2	1. 9	2. 2
女性	570	68.8	25. 6	3. 5	15. 4	20.0	14. 2	21. 1	18. 2	7. 5	5.6	1.6	38. 1	0.9	2.8

【年代別】

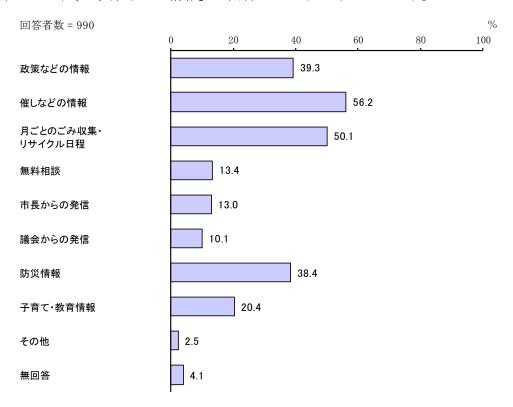
年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「広報紙」「自治会などの集まりや回覧」の割合が、年齢が低くなるにつれ「家族から」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、10歳代で「ケーブルテレビ」の割合が、20歳代で「SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	ਤੁਸਮੁਸ <i>ਾ</i> ।।।	ホームページ	イスブック、ツイッター、LINEなど)SNS(インスタグラム、Youtube、フェ	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10 歳代	26	38. 5	42. 3	3.8	7. 7	34. 6	7. 7	19. 2	3.8	34. 6	15. 4	7. 7	23. 1	1	
20 歳代	61	27. 9	14.8	_	16. 4	49. 2	6.6	4. 9	6.6	18. 0	3. 3	_	13. 1	4. 9	1. 6
30 歳代	95	48. 4	12.6	4. 2	25. 3	36.8	29. 5	4. 2	22. 1	12.6	11.6	3. 2	23. 2	1. 1	3. 2
40 歳代	166	54.8	14. 5	3.0	23. 5	30. 1	24. 1	15. 1	23.5	6.6	4.8	2. 4	27.7	1.8	3. 0
50 歳代	135	71.9	27. 4	3. 7	26. 7	20.0	20.0	17. 0	20.7	5. 2	3. 7	0.7	34.8	0.7	1. 5
60 歳代	186	80. 1	30.6	5. 9	12. 4	7. 5	10.8	30. 1	19. 4	2. 7	2.2	1.6	47.8	_	1. 1
70 歳代以上	320	84. 1	31. 9	2.8	10.0	3. 1	4. 4	31. 9	10.0	6. 3	5.3	2. 2	50.3	1.6	3.8

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

「催しなどの情報」の割合が56.2%と最も高く、次いで「月ごとのごみ収集・リサイクル日程」の割合が50.1%、「政策などの情報」の割合が39.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「政策などの情報」「議会からの発信」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「催しなどの情報」「月ごとのごみ収集・リサイクル日程」「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	政策などの情報	催しなどの情報	リサイクル日程月ごとのごみ収集・	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
男性	411	50. 4	51.6	47. 0	11. 4	13. 9	14. 6	36. 5	17. 0	2. 7	2. 4
女性	570	31. 4	60.0	52.8	14. 9	12. 3	6.7	39.8	23. 2	2. 5	5. 4

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代から40歳代で「子育て・教育情報」の割合が高く、特に30歳代で6割台半ばとなっています。また、50歳代以上で「政策などの情報」の割合が、50歳代、60歳代で「催しなどの情報」の割合が高くなっています。

単位:%

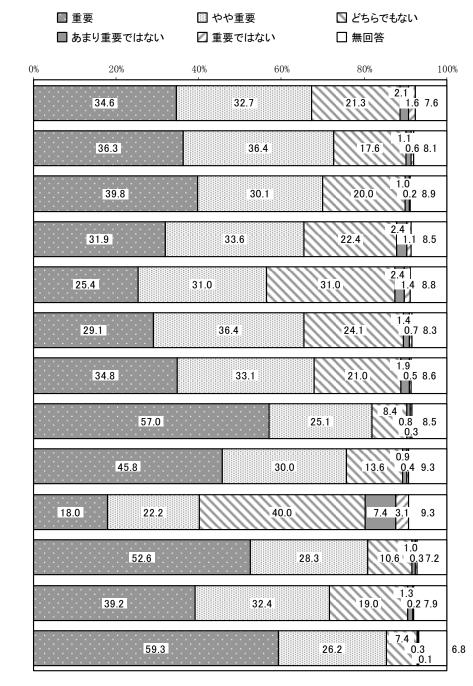
区分	回答者数(件)	政策などの情報	催しなどの情報	リサイクル日程月ごとのごみ収集・	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育で・教育情報	その他	無回答
10 歳代	26	19. 2	38. 5	19. 2	11.5	7. 7	3.8	19. 2	15. 4	15. 4	19. 2
20 歳代	61	32. 8	49. 2	37. 7	8. 2	8. 2	3. 3	29. 5	36. 1	3. 3	3. 3
30 歳代	95	30. 5	55.8	52. 6	25. 3	8. 4	5. 3	30. 5	65. 3	2. 1	2. 1
40 歳代	166	31. 3	60. 2	53. 0	14. 5	10. 2	5. 4	41.0	44.6	1. 2	1. 2
50 歳代	135	43. 7	65. 9	60. 7	16. 3	7. 4	8. 1	44. 4	11. 1	3. 7	2. 2
60 歳代	186	42. 5	65. 1	53. 2	11.8	14. 0	11.8	41. 4	8. 1	1. 6	4. 3
70 歳代以上	320	45. 3	47.8	46. 6	10.3	19. 1	15. 6	38. 1	3. 1	2. 2	5. 9

(3) 施策の重要度と満足度について

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。 5 点満点で評価し、該当する数字を1つずつ〇で囲んでください。

①重要度

『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』で「重要」と「やや重要」をあわせた"重要"の割合が高く、8割を超えています。



回答者数 = 990

(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

(2) 地域産業の活力づくり

(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築

(4) 市の魅力の向上と発信

(5) 定住・移住の促進

(6) 地域と市民の元気づくり

(7) 子どもたちのふるさとを愛する 心を育む

(8) 安心して子育てできる環境づくり

(9) 子どもの心に寄り添い、個々の 力を引き出し、伸ばす

(10)結婚への機会づくり

(11)健康で暮らせる環境づくり

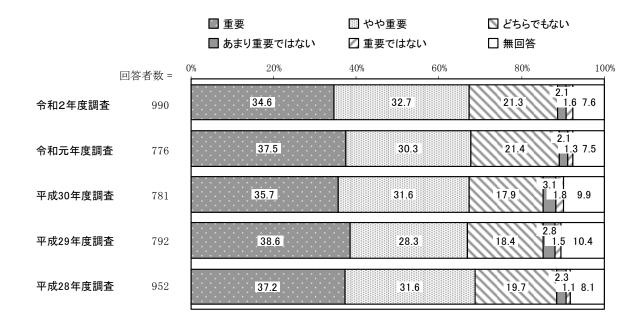
(12)支え合いにより地域で暮らせる 仕組みづくり

(13)安心して暮らせる生活環境づくり

(1)企業の誘致・拡張と活動の支援

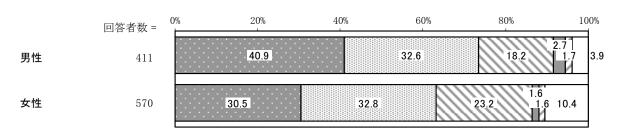
「重要」と「やや重要」をあわせた"重要"の割合が 67.3%、「どちらでもない」の割合が 21.3%、「あまり重要ではない」と「重要ではない」をあわせた"重要ではない"の割合が 3.7%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

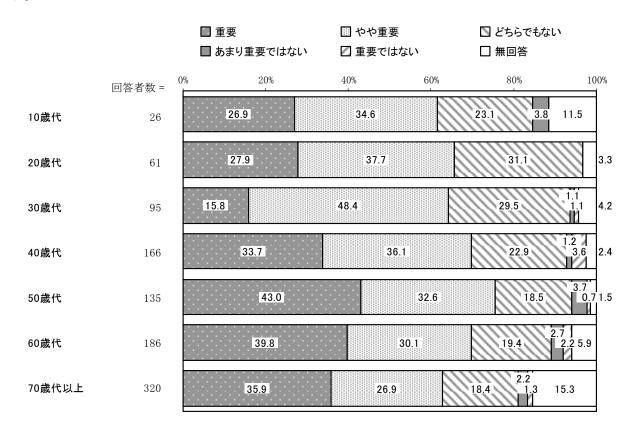


【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"重要"の割合が高く、7割台半ばとなっています。

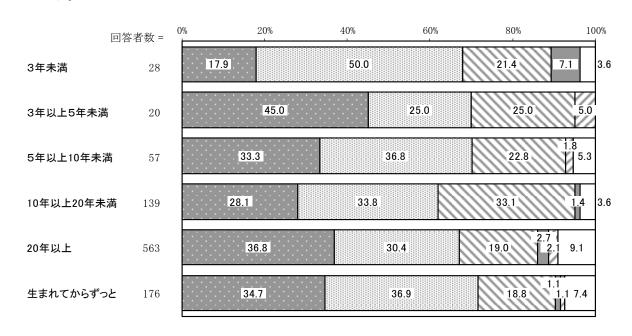


年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で"重要"の割合が高く、7割台半ばとなっています。



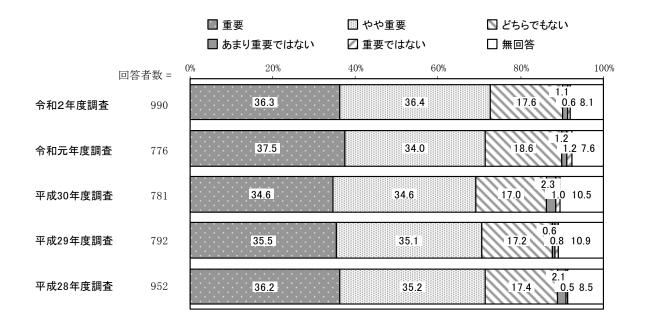
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で"重要"の割合が低く、約6割となっています。



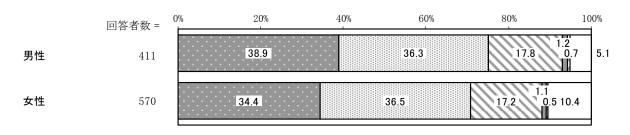
(2)地域産業の活力づくり

"重要"の割合が72.7%、"重要ではない"の割合が1.7%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

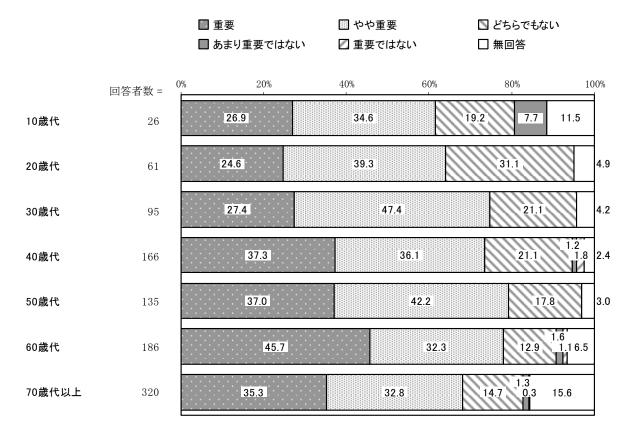


【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

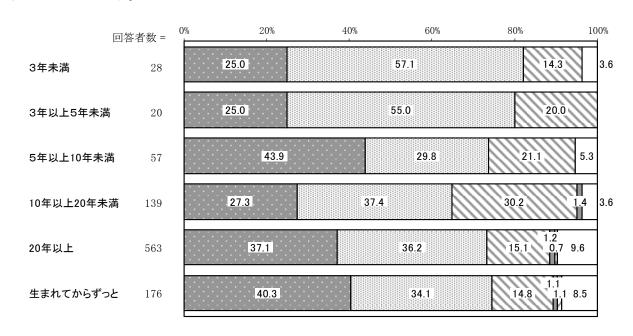


年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で"重要"の割合が高く、約8割となっています。



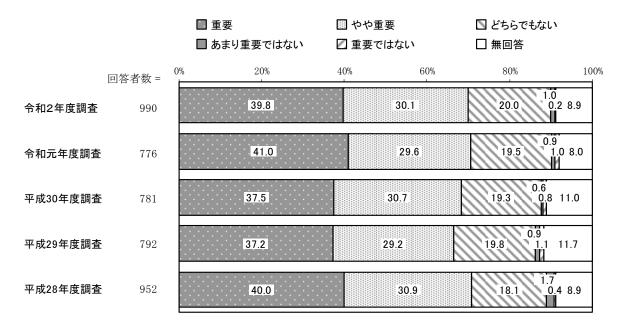
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満で"重要"の割合が高く、約8割となっています。



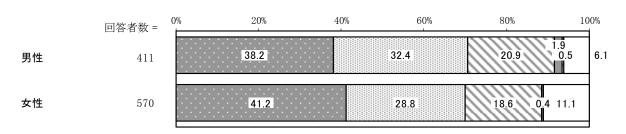
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築

"重要"の割合が69.9%、"重要ではない"の割合が1.2%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、平成29年度以降で"重要"の割合が増加しています。

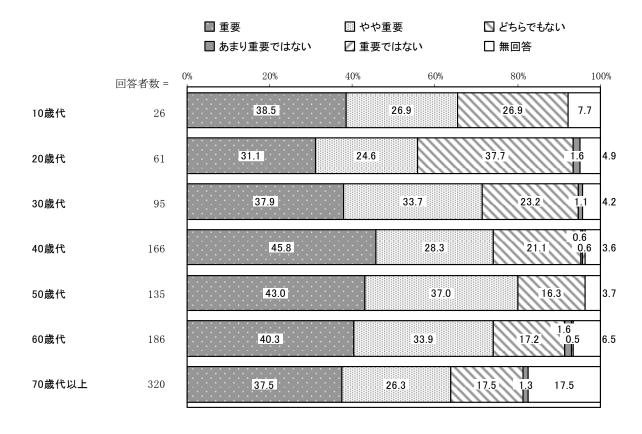


【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



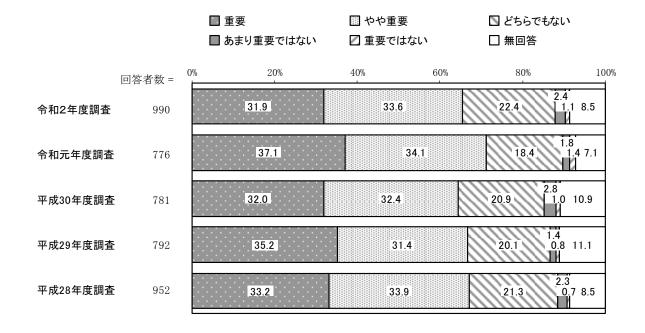
年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で"重要"の割合が高く、8割となっています。



(4) 市の魅力の向上と発信

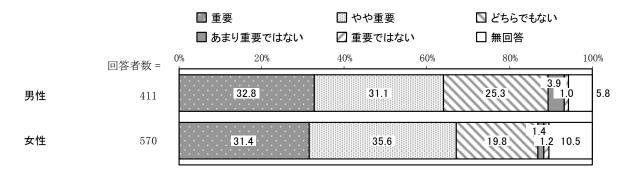
"重要"の割合が65.5%、"重要ではない"の割合が3.5%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度調査に比べ、令和2年度調査で"重要"の割合が減少しています。



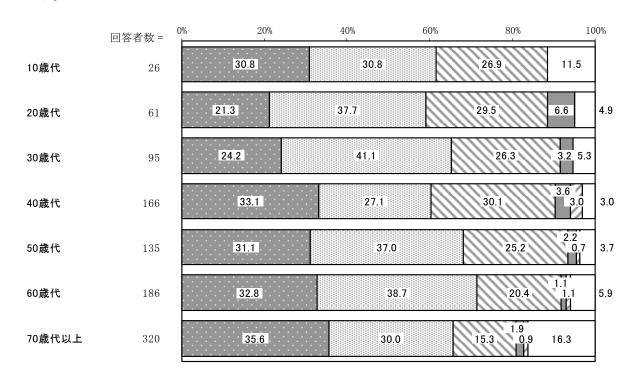
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



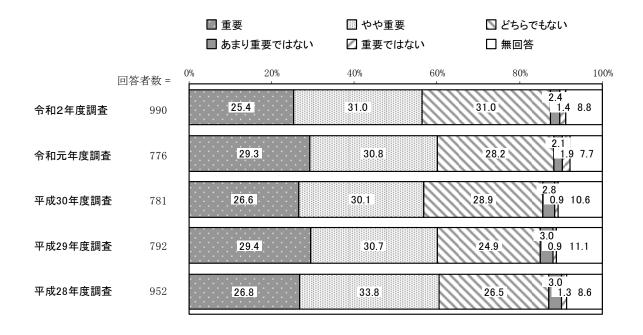
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で"重要"の割合が高く、約7割となっています。



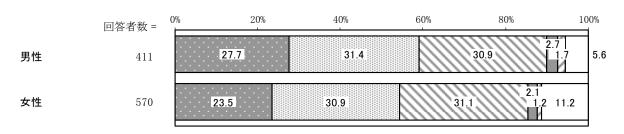
(5) 定住・移住の促進

"重要"の割合が 56.4%、"重要ではない"の割合が 3.8%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

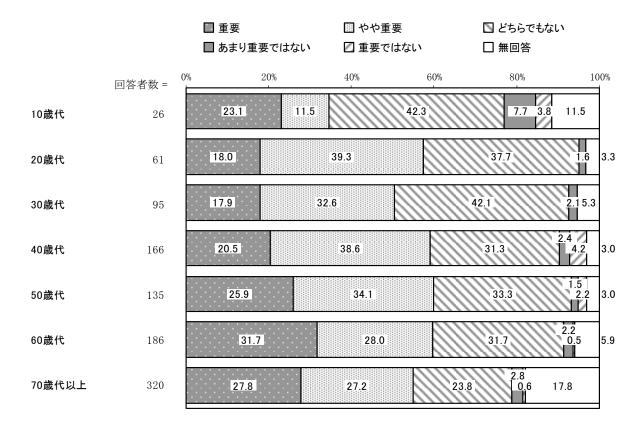


【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

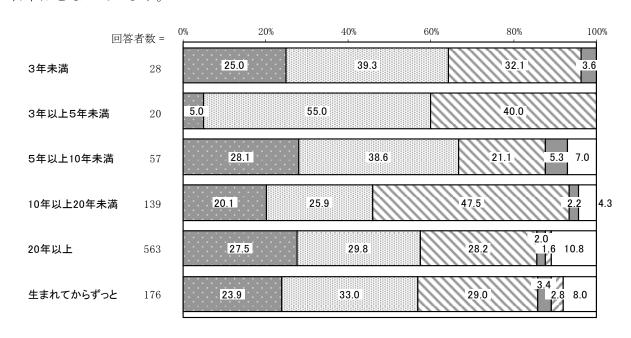


年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代から60歳代で"重要"の割合が高く、約6割となっています。また、10歳代で"重要ではない"の割合が高く、約1割となっています。



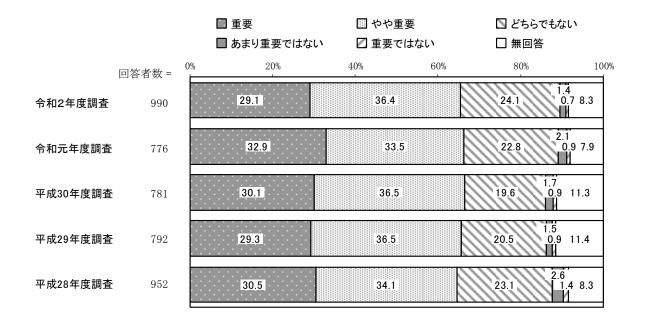
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、5年以上10年未満で"重要"の割合が高く、6割台半ばとなっています。



(6)地域と市民の元気づくり

"重要"の割合が65.5%、"重要ではない"の割合が2.1%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

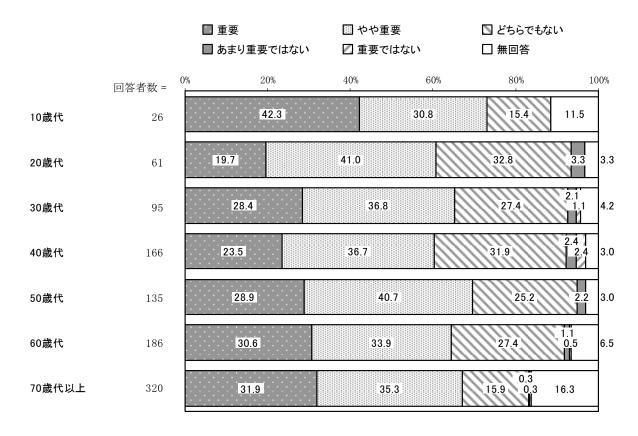


【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

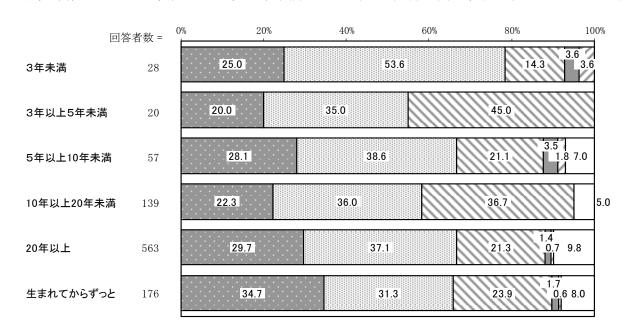


年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で"重要"の割合が高く、7割台半ばとなっています。



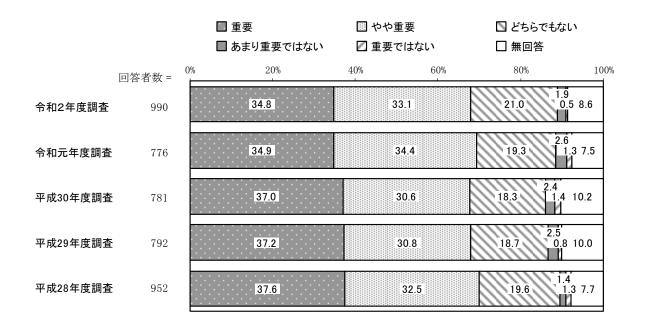
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で"重要"の割合が高く、約8割となっています。



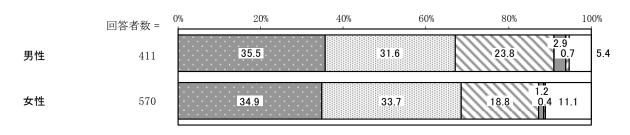
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

"重要"の割合が67.9%、"重要ではない"の割合が2.4%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

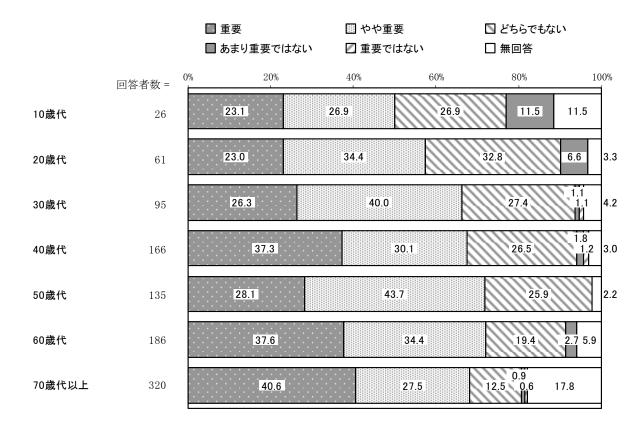


【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

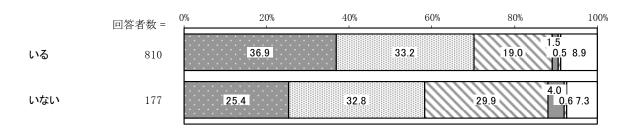


年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で"重要"の割合が高く、約7割となっています。また、10歳代で"重要ではない"の割合が高く、約1割となっています。

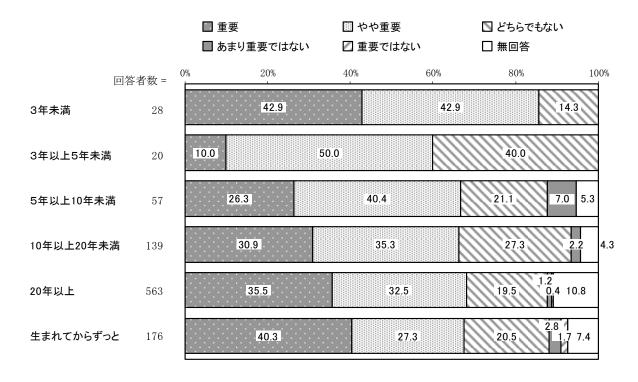


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"重要"の割合が高く、約7割となっています。

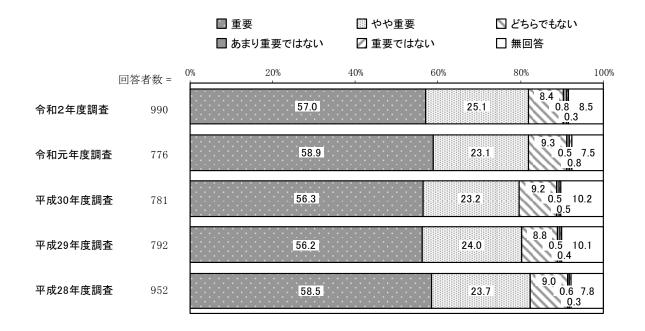


居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で"重要"の割合が高く、8割台半ばとなっています。



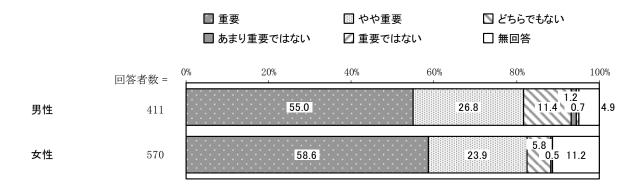
(8) 安心して子育てできる環境づくり

"重要"の割合が82.1%、"重要ではない"の割合が1.1%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



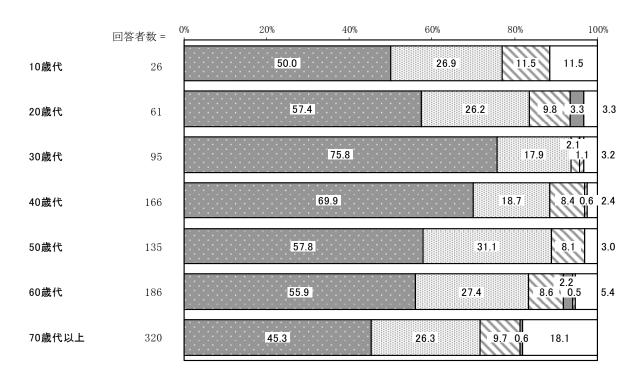
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



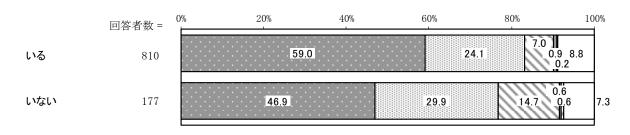
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30 歳代で"重要"の割合が高く、9割台半ばとなっています。

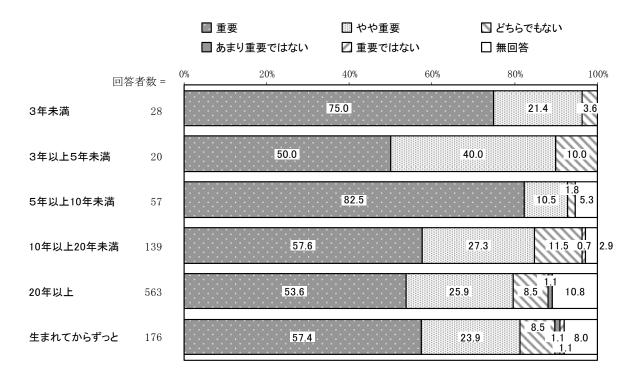


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"重要"の割合が高く、 8割台半ばとなっています。



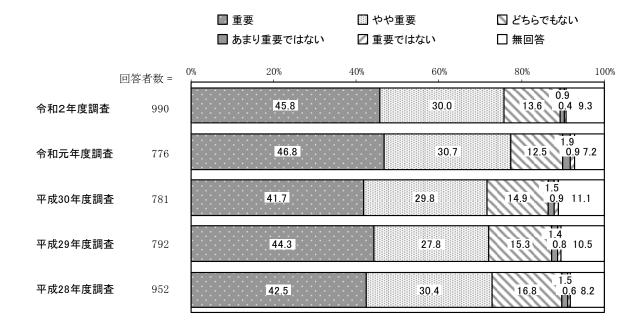
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で"重要"の割合が高く、9割台半ばとなっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

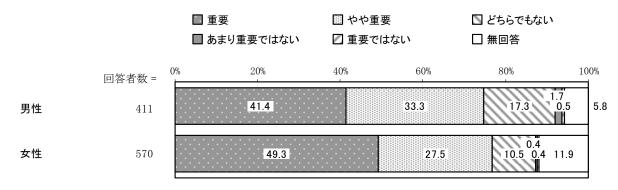
"重要"の割合が75.8%、"重要ではない"の割合が1.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度調査以前に比べ、令和元年度調査で"重要"の割合が増加しています。令和元年度調査に比べ、令和2年度調査で"重要"の割合が減少しています。



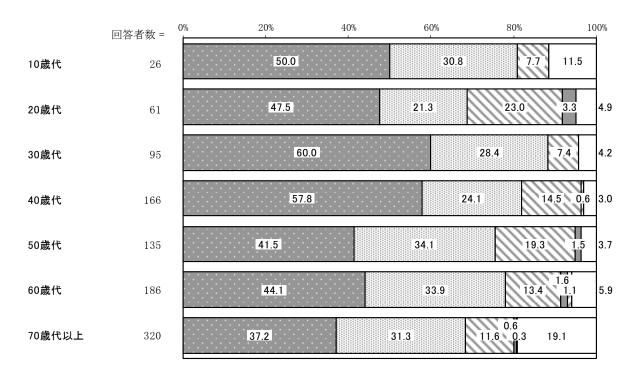
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「重要」の割合が高く、約5割となっています。



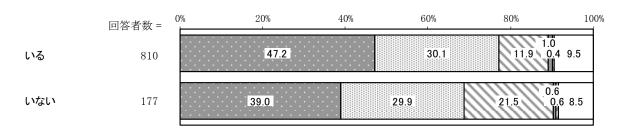
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で"重要"の割合が高く、約9割となっています。

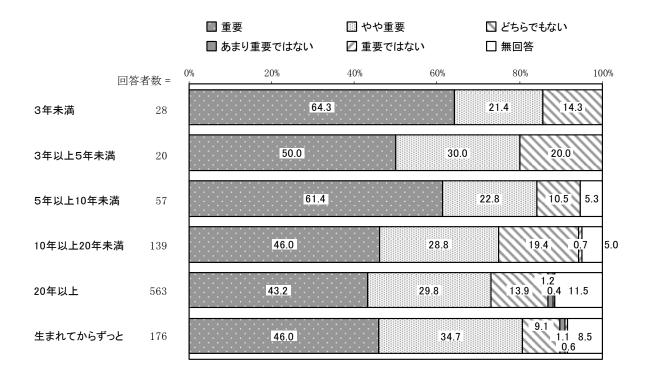


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"重要"の割合が高く、 7割台半ばとなっています。



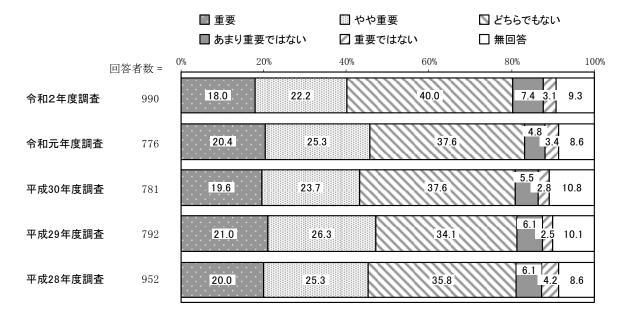
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、5年以上10年未満で"重要"の割合が高く、8割台半ばとなっています。



(10) 結婚への機会づくり

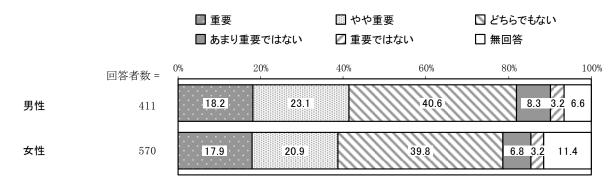
"重要"の割合が40.2%、"重要ではない"の割合が10.5%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度以前に比べ、令和2年度で"重要"の割合が減少しています。



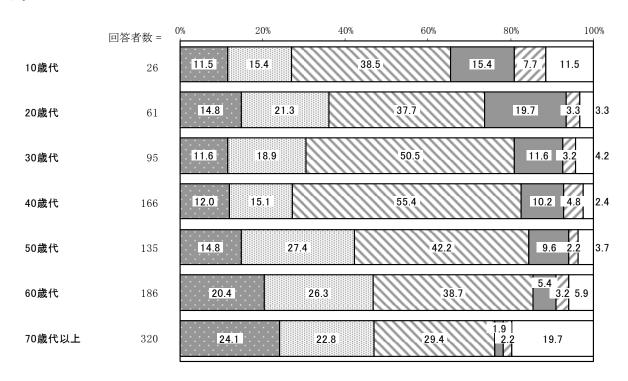
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

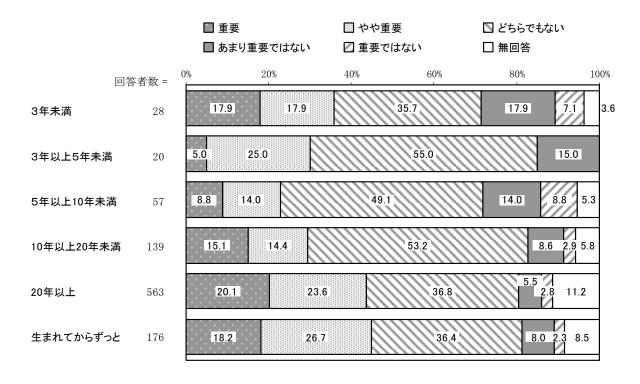


【年代別】

年代別でみると、40歳代以下に比べ、50歳代以上で"重要"の割合が高く、4割を超えています。

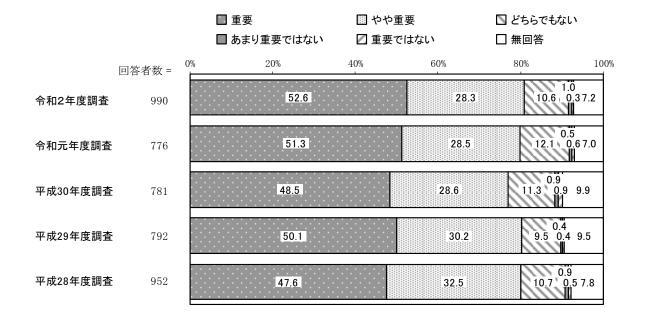


居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで"重要"の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、3年未満で"重要ではない"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



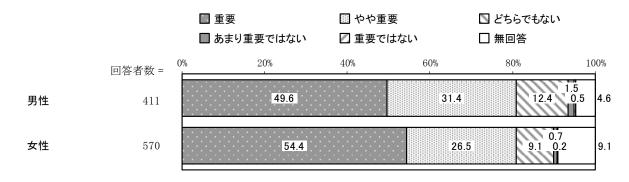
(11) 健康で暮らせる環境づくり

"重要"の割合が80.9%、"重要ではない"の割合が1.3%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、「重要」の割合が増加する傾向がみられます。



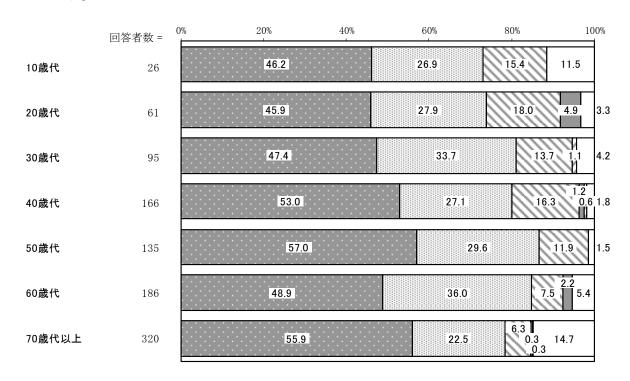
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

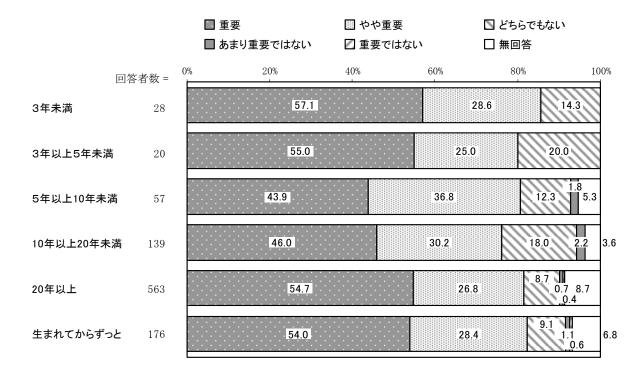


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で"重要"の割合が高く、8割台半ばとなっています。

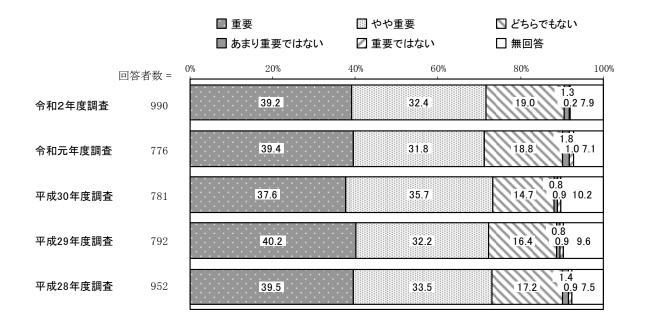


居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で"重要"の割合が高く、8割台半ばとなっています。



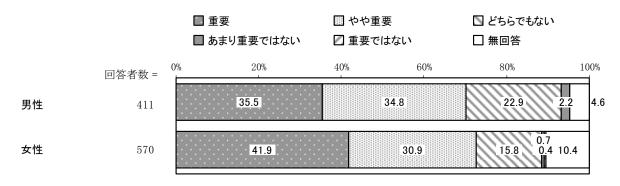
(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

"重要"の割合が71.6%、"重要ではない"の割合が1.5%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



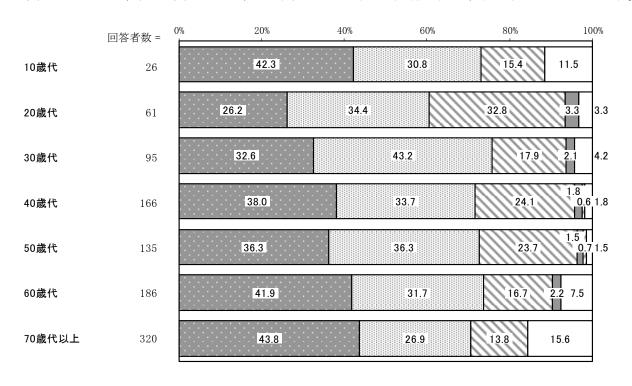
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

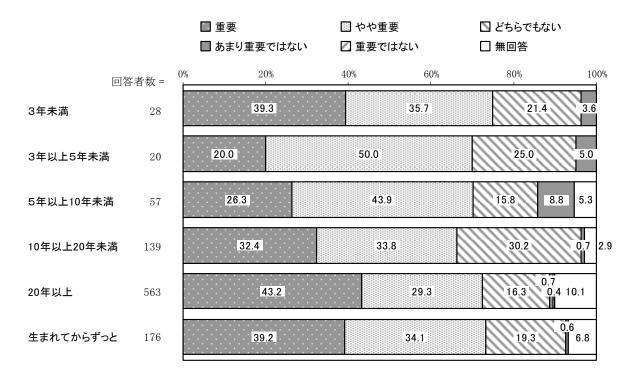


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で"重要"の割合が低く、約6割となっています。



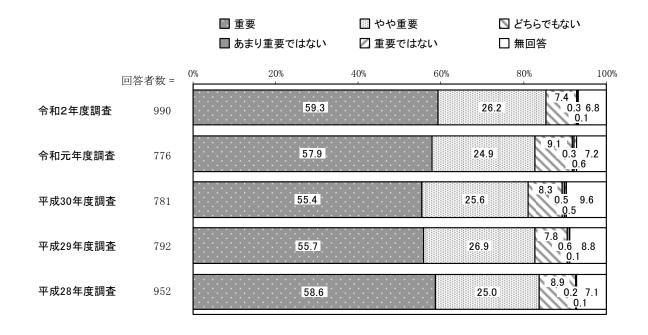
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で"重要"の割合が低く、6割台半ばとなっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

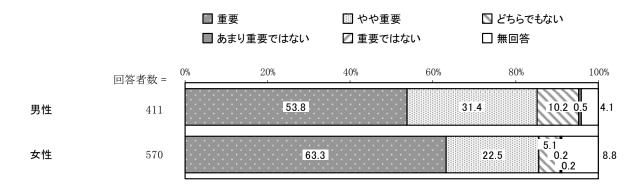
"重要"の割合が85.5%、"重要ではない"の割合が0.4%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 29 年度以降「重要」の割合が増加する傾向がみられます。



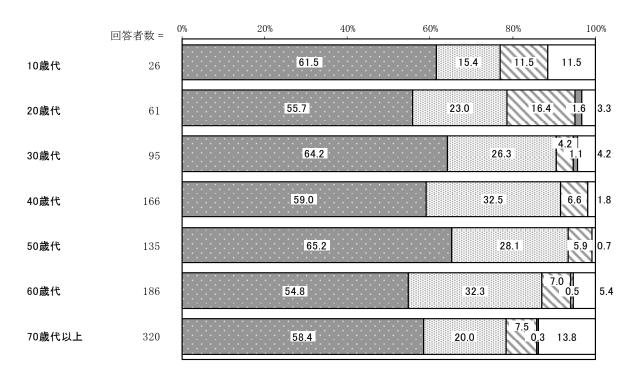
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「重要」の割合が高く、6割台半ばとなっています。

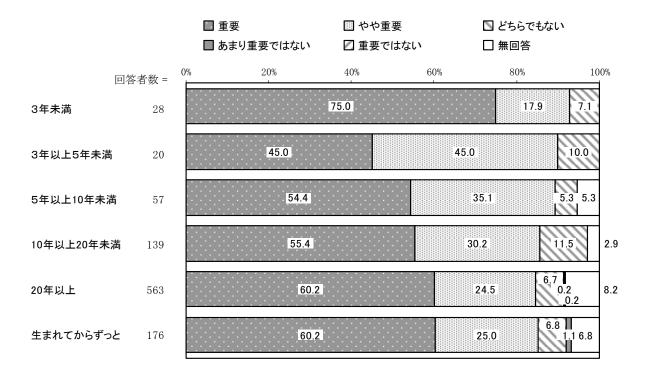


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50 歳代で"重要"の割合が高く、9割台半ばとなっています。

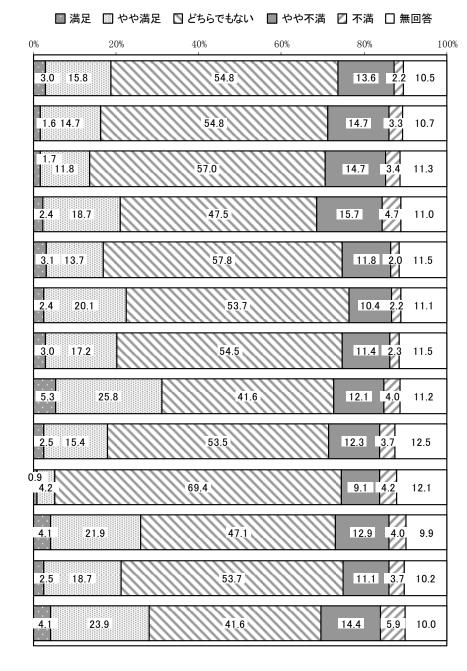


居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で"重要"の割合が高く、9割台半ばとなっています。



②満足度

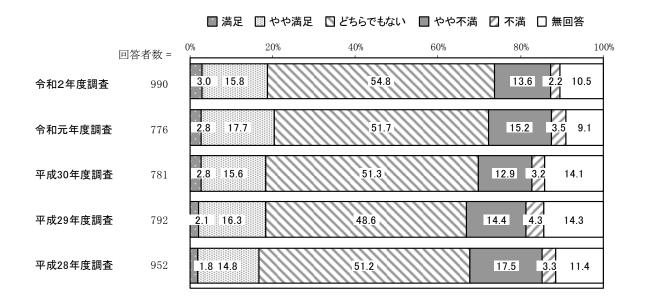
『(8) 安心して子育てできる環境づくり』『(13) 安心して暮らせる生活環境づくり』で「満足」と「やや満足」をあわせた "満足"の割合が高く、約3割となっています。一方、『(2) 地域産業の活力づくり』『(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築』『(4)市の魅力の向上と発信』『(13) 安心して暮らせる生活環境づくり』で「やや不満」と「不満」をあわせた "不満"の割合が高く、約2割となっています。



- 回答者数 = 990
- (1) 企業の誘致・拡張と活動の支援
- (2) 地域産業の活力づくり
- (3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築
- (4) 市の魅力の向上と発信
- (5) 定住・移住の促進
- (6) 地域と市民の元気づくり
- (7) 子どもたちのふるさとを愛する 心を育む
- (8) 安心して子育てできる環境づくり
- (9) 子どもの心に寄り添い、個々の 力を引き出し、伸ばす
- (10)結婚への機会づくり
- (11)健康で暮らせる環境づくり
- (12)支え合いにより地域で暮らせる 仕組みづくり
- (13)安心して暮らせる生活環境づくり

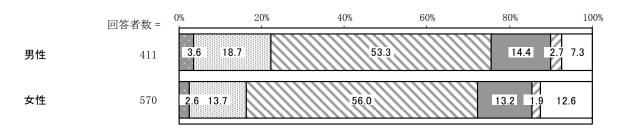
(1)企業の誘致・拡張と活動の支援

"満足"の割合が18.8%、"不満"の割合が15.8%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、"不満"の割合が減少する傾向がみられます。

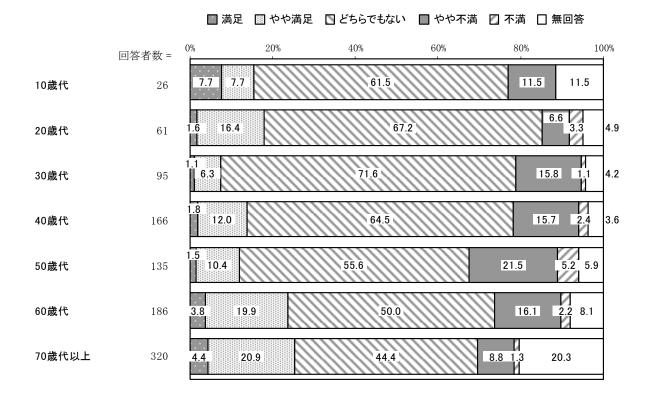


【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"満足"の割合が高く、約2割となっています。

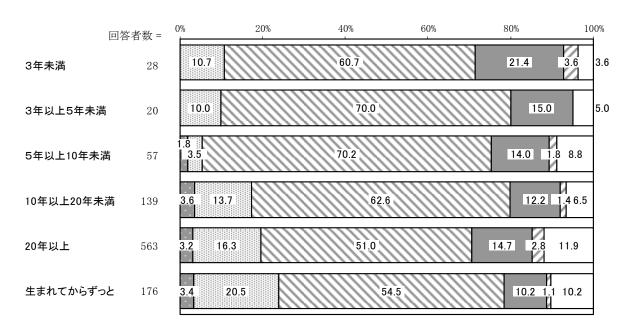


年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代、70歳代以上で"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、50歳代で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



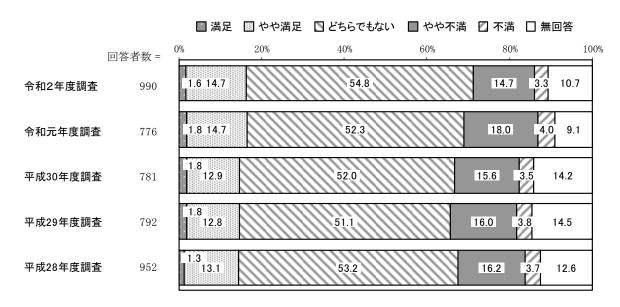
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、3年未満で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



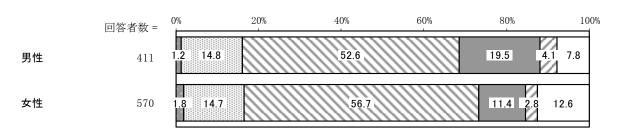
(2)地域産業の活力づくり

"満足"の割合が16.3%、"不満"の割合が18.0%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

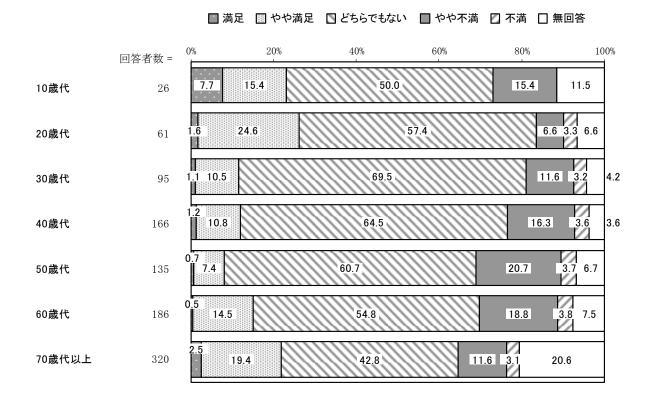


【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。

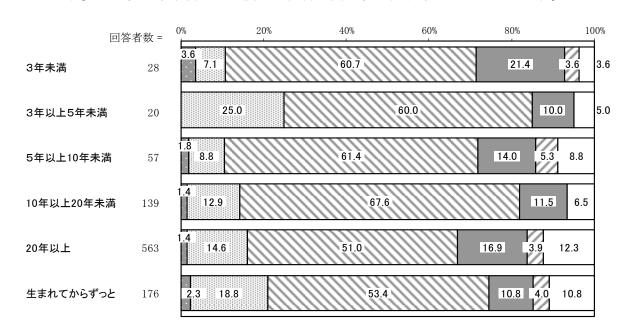


年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、50歳代で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



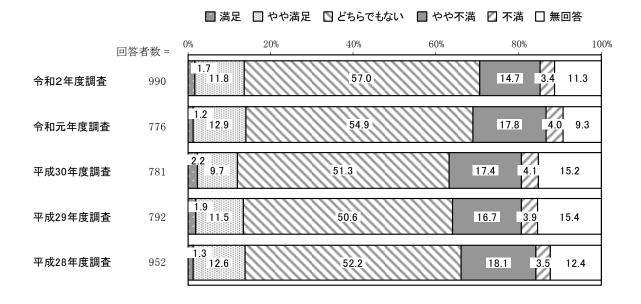
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、3年未満で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



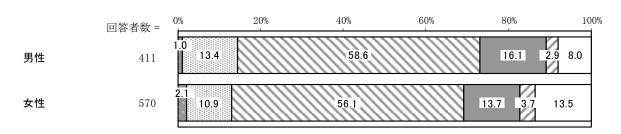
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築

"満足"の割合が13.5%、"不満"の割合が18.1%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

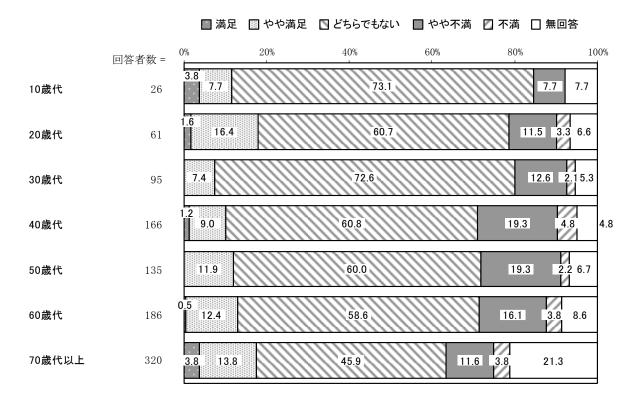


【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

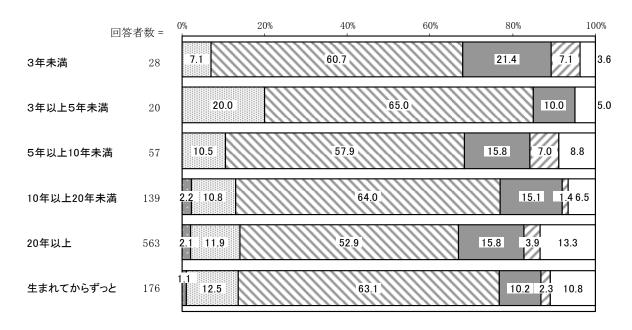


年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、70歳代以上で"満足"の割合が高く、約2割となっています。また、40歳代で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

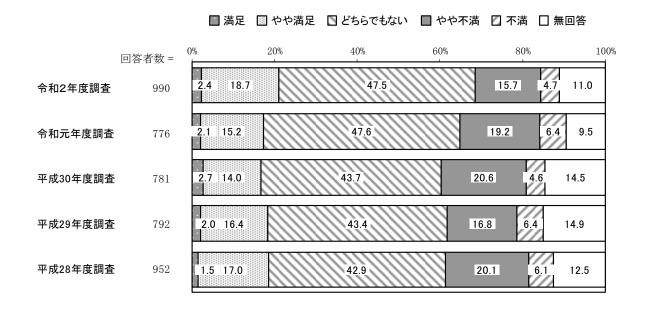
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、2割となっています。また、3年未満で"不満"の割合が高く、約3割となっています。



(4) 市の魅力の向上と発信

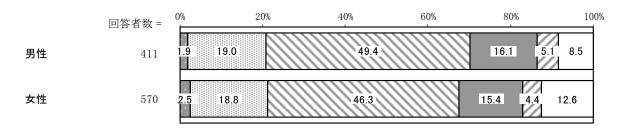
"満足"の割合が21.1%、"不満"の割合が20.4%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 30 年度調査以降 "満足"の割合が増加する傾向が みられます。

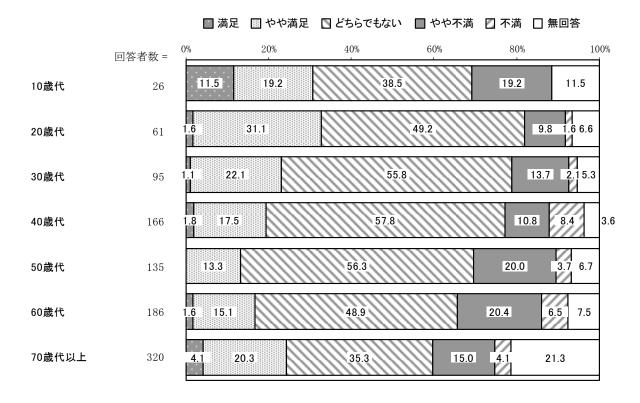


【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

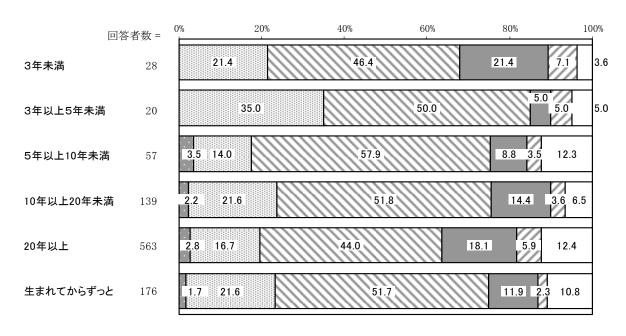


年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で"満足"の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、60歳代で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

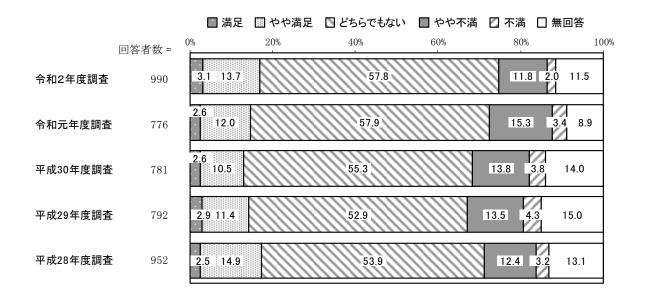
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、3年未満で"不満"の割合が高く、約3割となっています。



(5) 定住・移住の促進

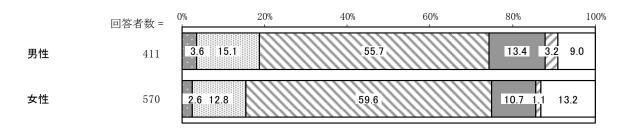
"満足"の割合が16.8%、"不満"の割合が13.8%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度以前に比べ、令和2年度調査で"不満"の割合が減少しています。

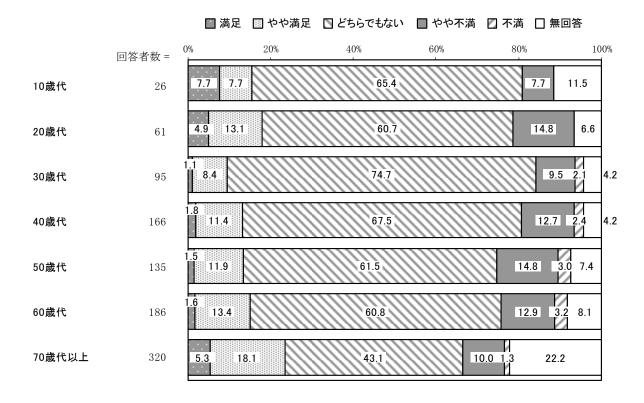


【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

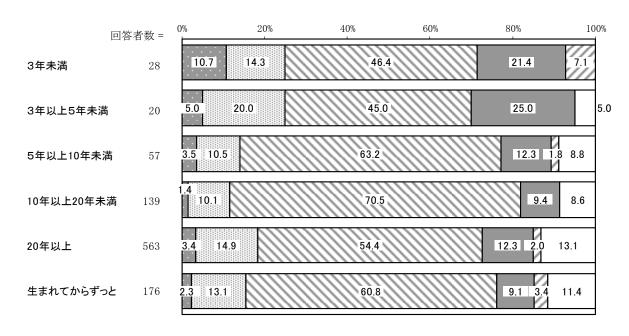


年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



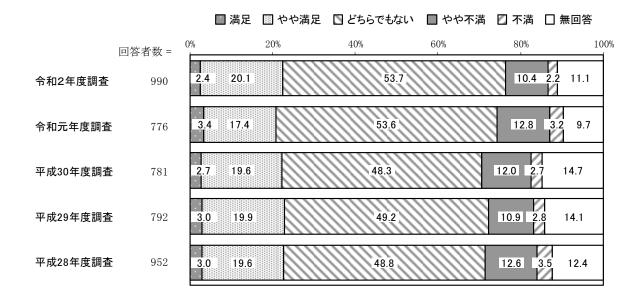
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満で"満足""不満"の割合がともに高くなっています。



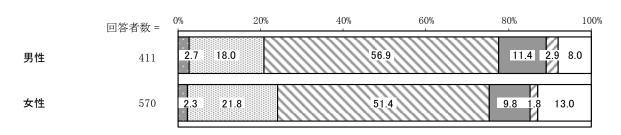
(6)地域と市民の元気づくり

"満足"の割合が22.5%、"不満"の割合が12.6%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

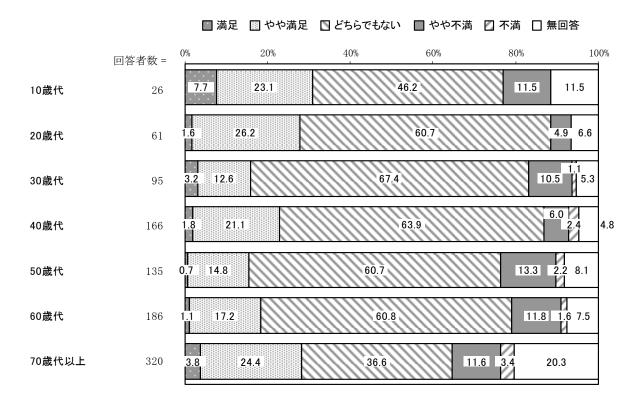


【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

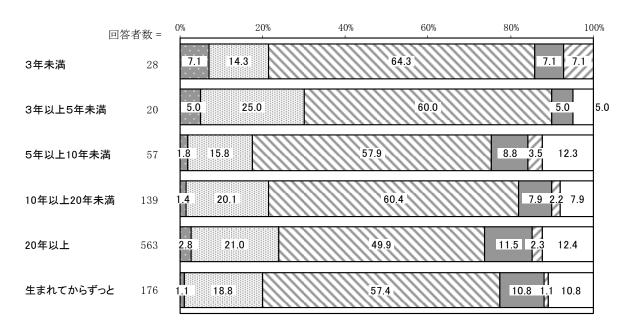


年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、20歳代、70歳代以上で"満足"の割合が高く、約3割となっています。



【居住年数別】

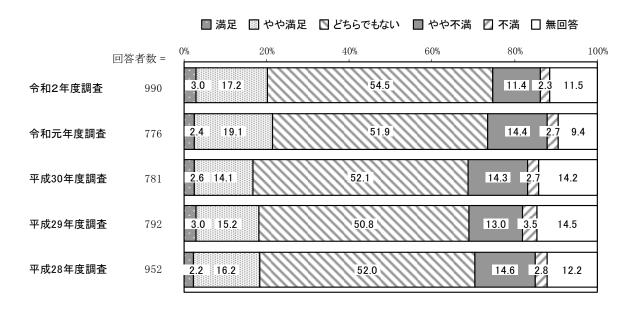
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、3割となっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

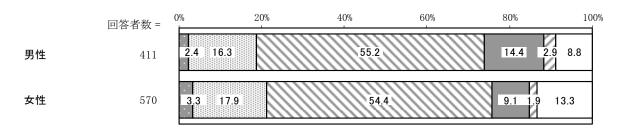
"満足"の割合が20.2%、"不満"の割合が13.7%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度以前に比べ、令和2年度調査で"不満"の割合が減少しています。

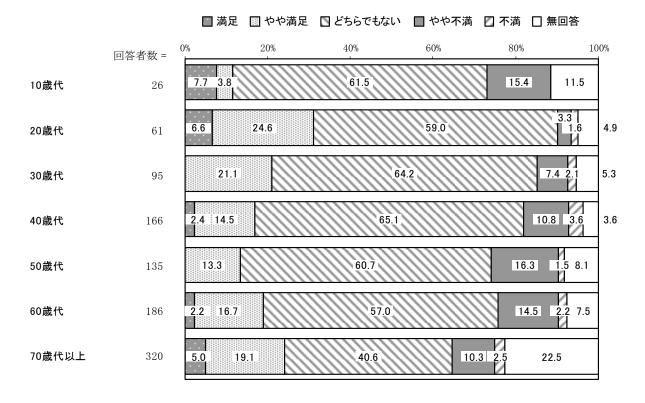


【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"不満"の割合が高く、1割台半ばとなっています。

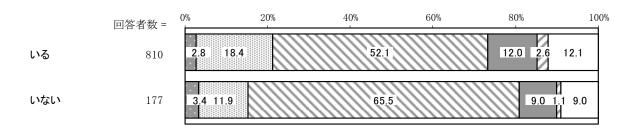


年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で"満足"の割合が高く、約3割となっています。

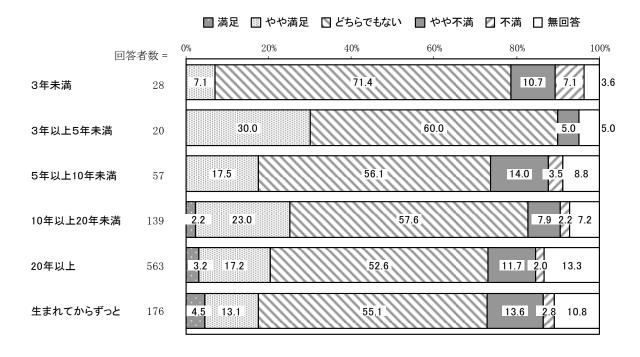


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"満足"の割合が高く、約2割となっています。



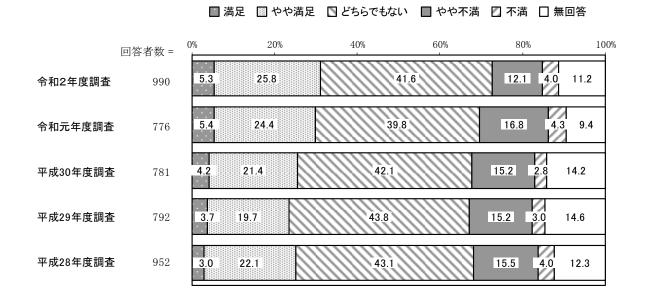
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、3割となっています。また、3年未満、5年以上10年未満で"不満"の割合が高く、約2割となっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

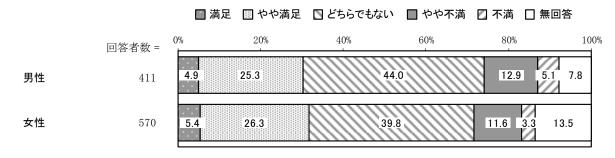
"満足"の割合が31.1%、"不満"の割合が16.1%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度調査以前に比べ、令和元年度調査以降で"満足"の割合が増加しています。



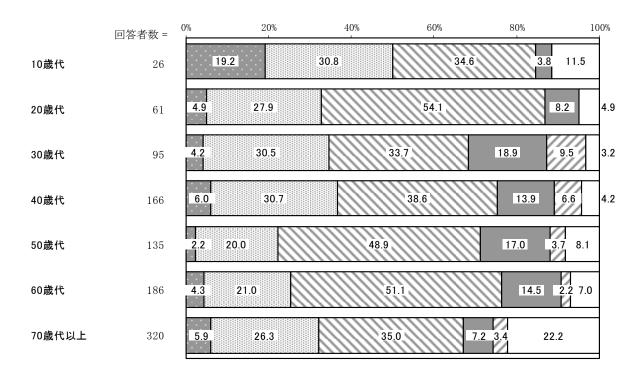
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



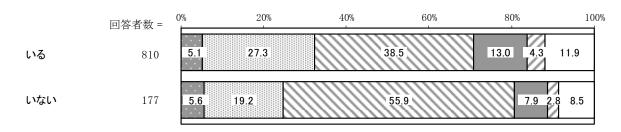
【年代別】

年代別でみると、30歳代から60歳代で"不満"の割合が高くなっており、30歳代で約3割となっています。また、他の年代に比べ、10歳代で"満足"の割合が高く、5割となっています。

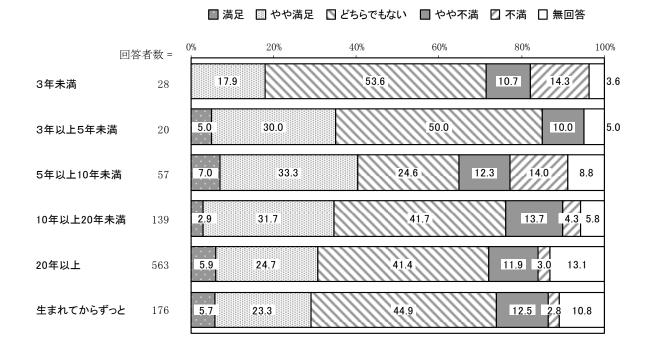


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"満足""不満"の割合がともに高くなっています。

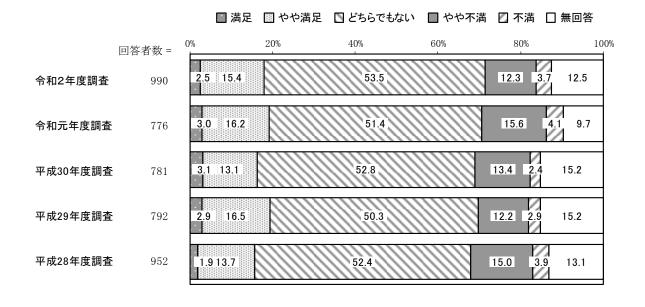


居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で"満足"の割合が高く、約4割となっています。また、3年未満、5年以上10年未満で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



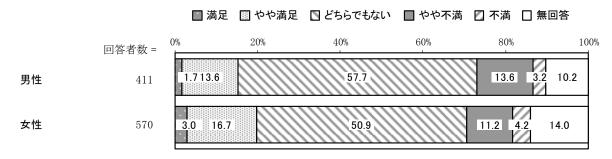
(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

"満足"の割合が17.9%、"不満"の割合が16.0%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



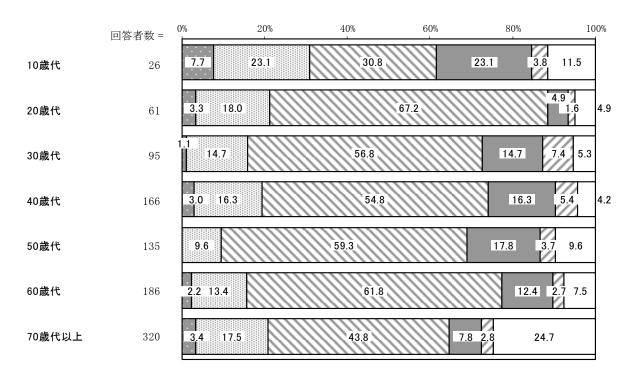
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



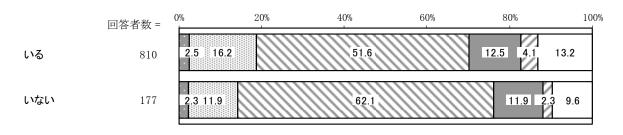
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で"満足""不満"の割合がともに高くなっています。

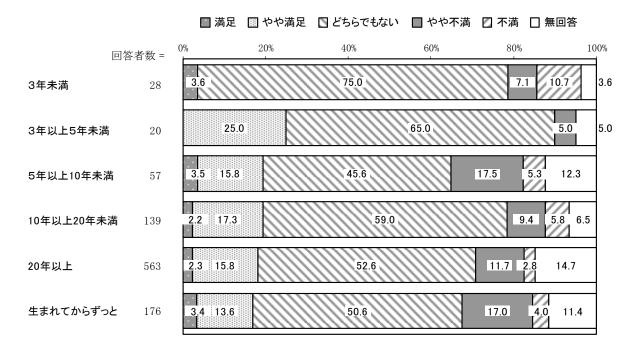


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。

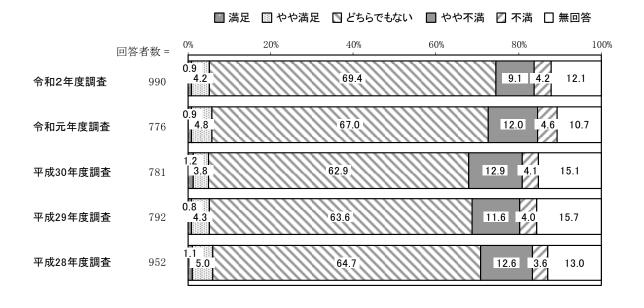


居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、5年以上10年未満で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



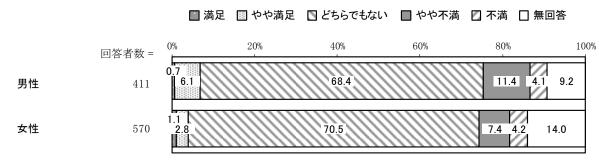
(10) 結婚への機会づくり

"満足"の割合が 5.1%、"不満"の割合が 13.3%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



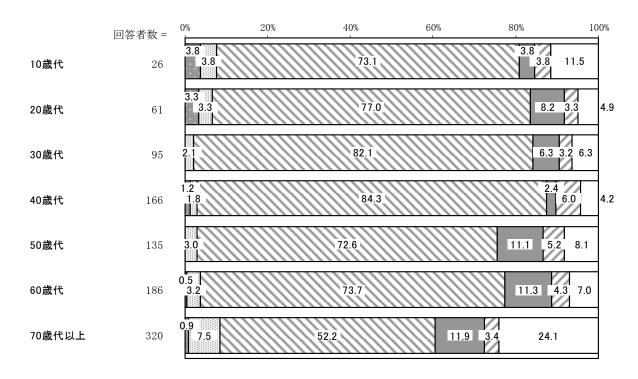
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

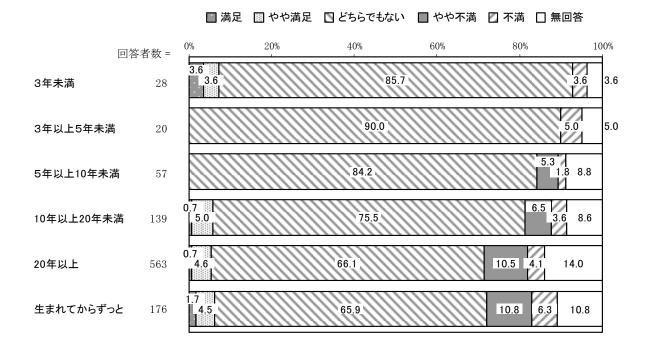


【年代別】

年代別でみると、40歳代以下に比べ、50歳代以上で"不満"の割合が高く、1割台半ばとなっています。



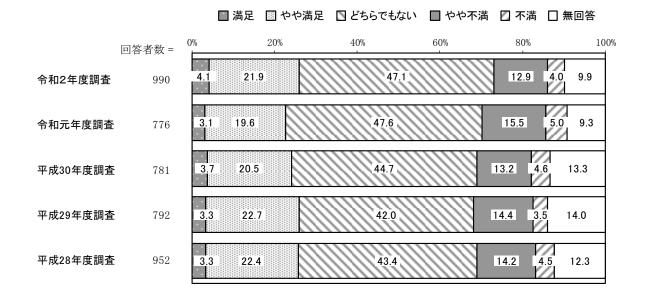
居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ"不満"の割合が高くなっており、生まれてからずっとで1割台半ばとなっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

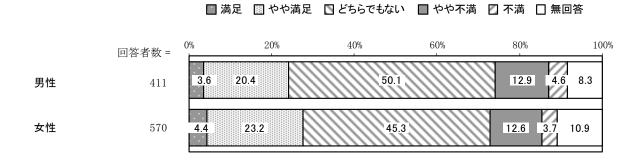
"満足"の割合が26.0%、"不満"の割合が16.9%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度調査までは"不満"の割合が増加傾向であったものの、令和2年度調査では減少しています。



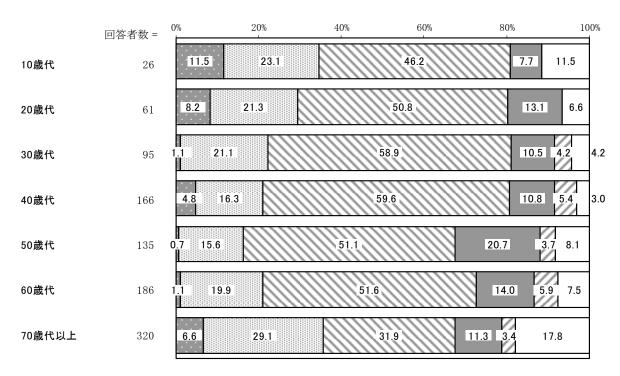
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

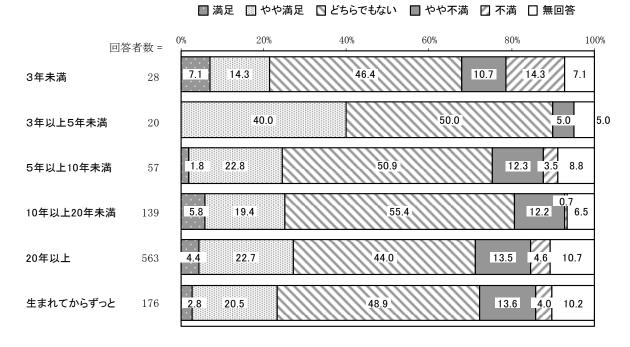


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、70歳代以上で"満足"の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、50歳代で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



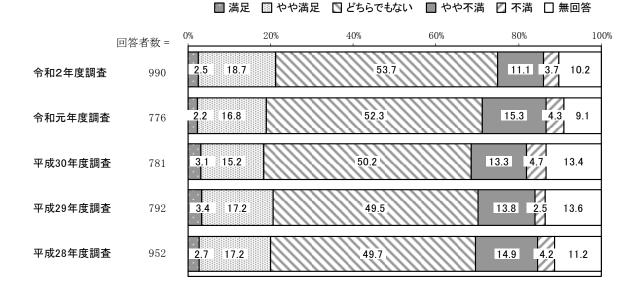
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、4割となっています。また、3年未満で"不満"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

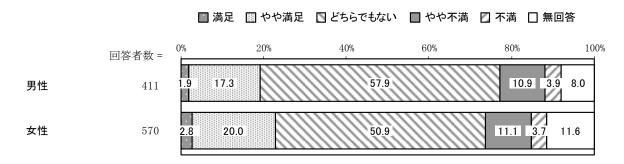
"満足"の割合が21.2%、"不満"の割合が14.8%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度以前に比べ、令和2年度調査で"不満"の割合が減少しています。



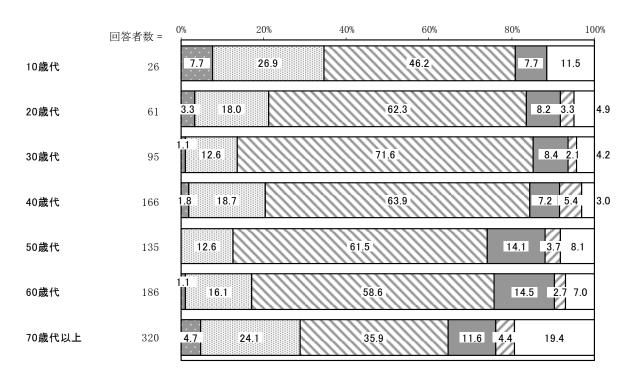
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

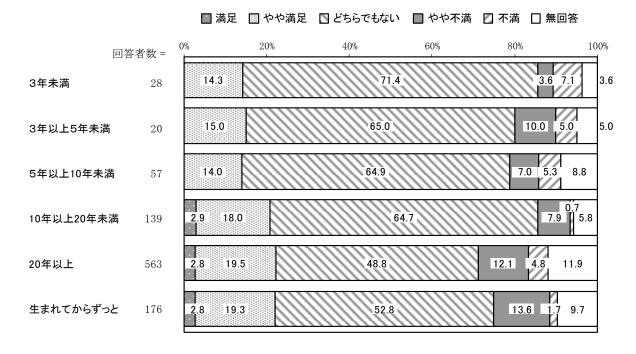


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で"満足"の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、50歳代で"不満"の割合が高く、約2割となっています。



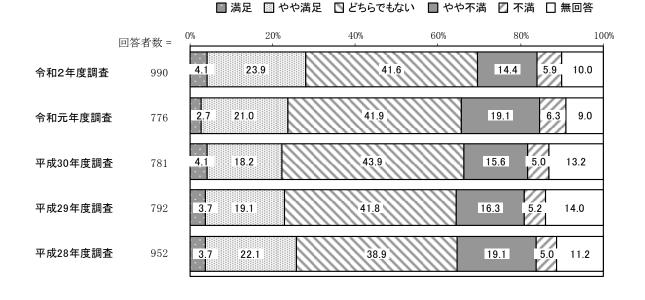
居住年数別でみると、10年未満に比べ、10年以上で"満足"の割合が高く、約2割となっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

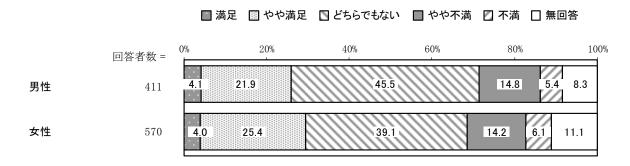
"満足"の割合が28.0%、"不満"の割合が20.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度以前に比べ、令和2年度調査で"満足"の割合が増加しています。



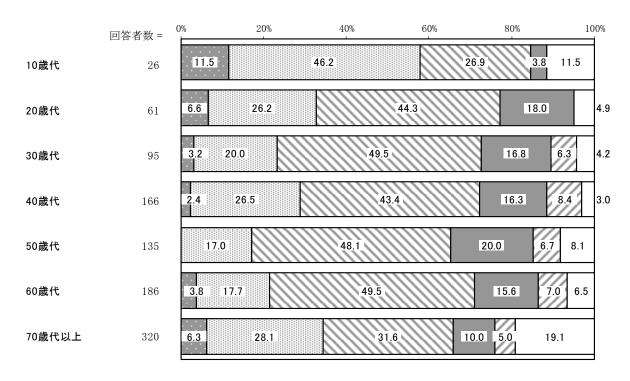
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

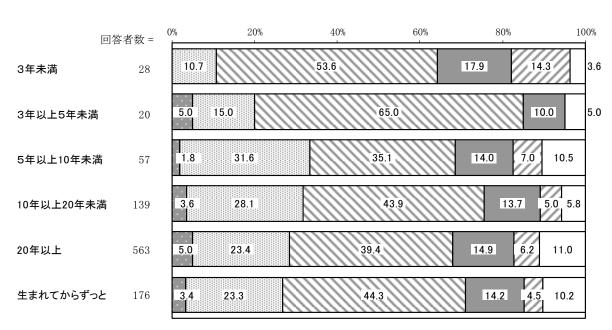


【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10歳代で"満足"の割合が高く、約6割となっています。



居住年数別でみると、他に比べ、、5年以上10年未満で"満足"の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、3年未満で"不満"の割合が高く、約3割となっています。



■満足 園 やや満足 ■ どちらでもない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答

【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

13項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度		得点
不満	\rightarrow	-2 点
やや不満	\rightarrow	-1 点
どちらでもない	\rightarrow	0 点
やや満足	\rightarrow	1 点
満足	\rightarrow	2 点
無回答	\rightarrow	計算対象外

重要度		得点
重要ではない	\rightarrow	-2 点
あまり重要ではない	\rightarrow	-1 点
どちらでもない	\rightarrow	0 点
やや重要	\rightarrow	1 点
重要	\rightarrow	2 点
無回答	\rightarrow	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数

- +1点×「やや満足(やや重要)」の回答数
 - +0点×「どちらでもない」の回答数
 - -1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数
 - -2点×「不満(重要ではない)」の回答数/無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

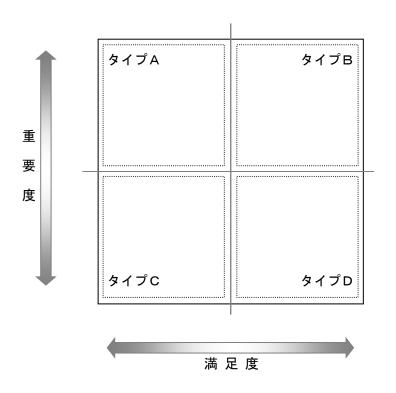
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名	行从	順位	市点	施策名
(8) 安心して子育てできる 環境づくり	0.18	第1位	1.55	(13)安心して暮らせる 生活環境づくり
(6) 地域と市民の元気 づくり	0.11	第2位	1.50	(8) 安心して子育てできる 環境づくり
(11)健康で暮らせる環境 づくり	0.10	第3位	1.42	(11)健康で暮らせる環境 づくり
(2) 地域産業の活力づくり	-0.04	第 11 位	1.00	(6) 地域と市民の元気 づくり
(3) 「ひと」と「しごと」 の好循環の構築	-0.07	第 12 位	0.84	(5) 定住・移住の促進
(10)結婚への機会づくり	-0.13	最下位	0.49	(10)結婚への機会づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、 得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性に ついて分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が 高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA 満足度は低いが、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要な タイプ。

◆タイプC 満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検 証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が 必要。

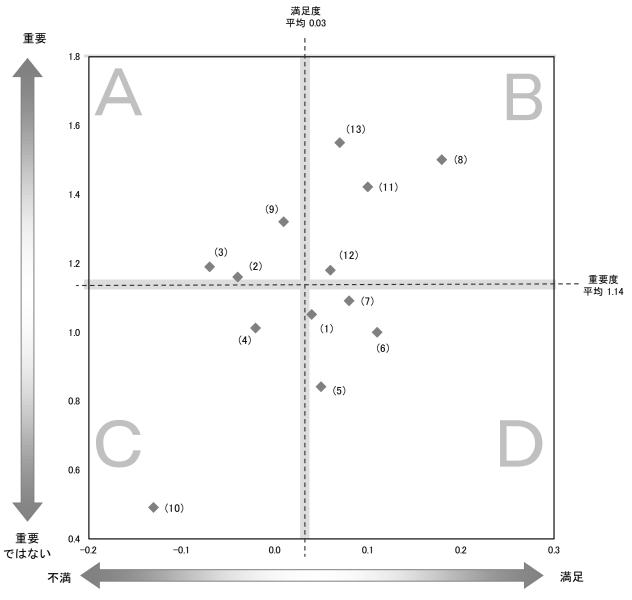
◆タイプD 満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったもの が含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰 になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析(回答者数 = 990)

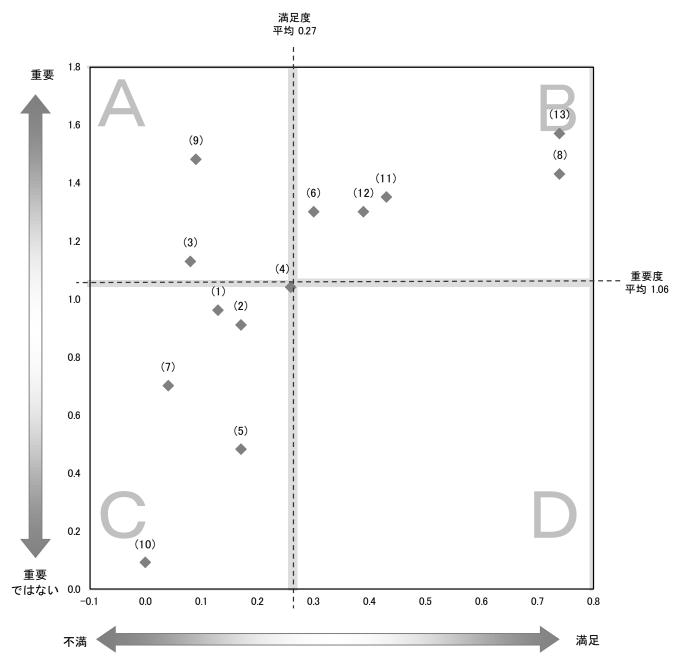
満足度が高く、重要度も高い施策 (タイプ B) は、『(8) 安心して子育てできる環境づくり』『『(11) 健康で暮らせる環境づくり』『(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13) 安心して暮らせる生活環境づくり』となっています。

各年代のポートフォリオからみると、可児市は安心してこどもを育てながら健康に暮らせる環境であると全世代が感じています。そのため、さらに幼少期にこどもの心に寄り添い個々の力を引き出す教育環境が求められています。また、大人になったときに働く環境の確立がされている中で暮らすことが求められています。



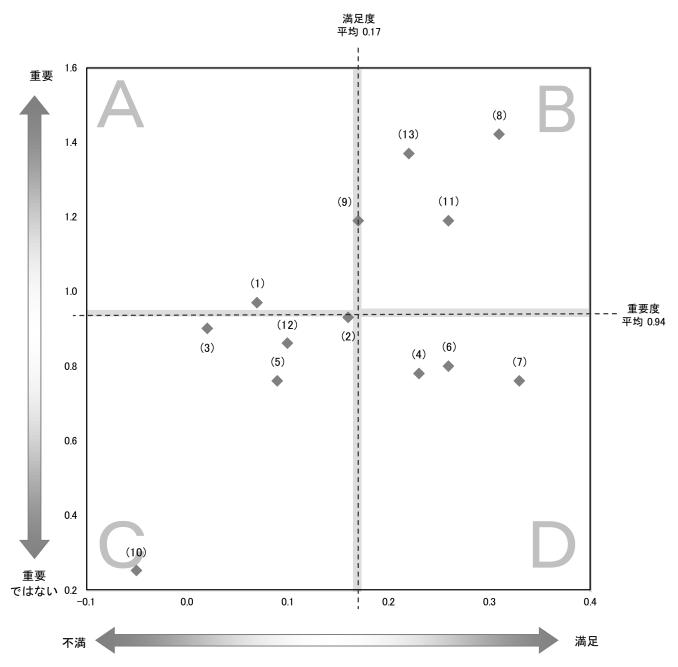
項	目
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

●施策のポートフォリオ分析(10歳代 回答者数 = 26)



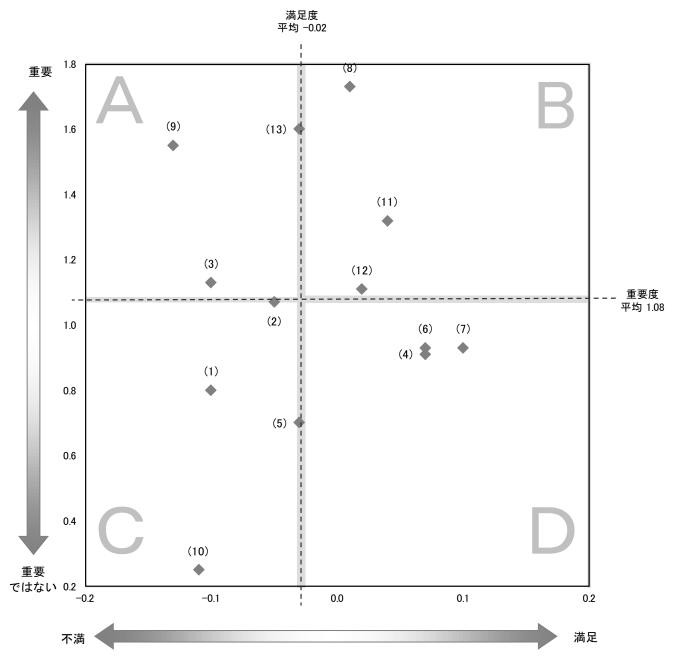
	_
填	· B
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

●施策のポートフォリオ分析(20歳代 回答者数 = 61)



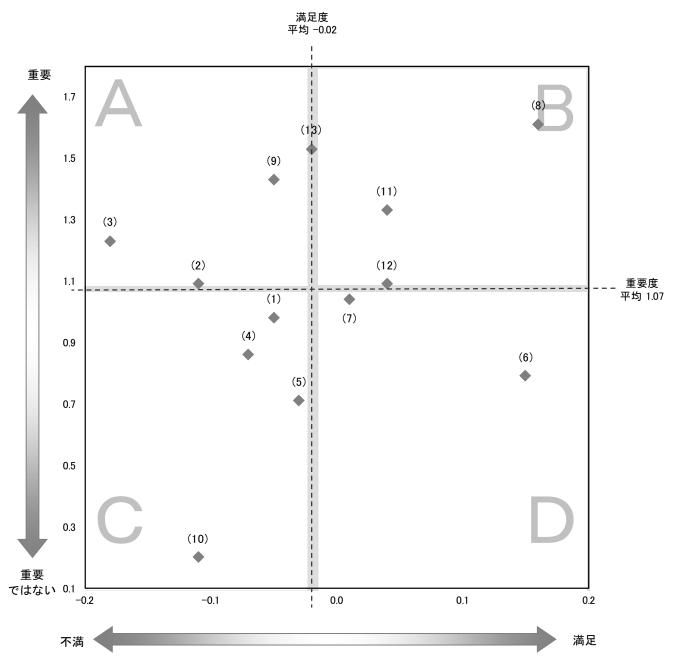
項	目
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

●施策のポートフォリオ分析(30歳代 回答者数 = 95)



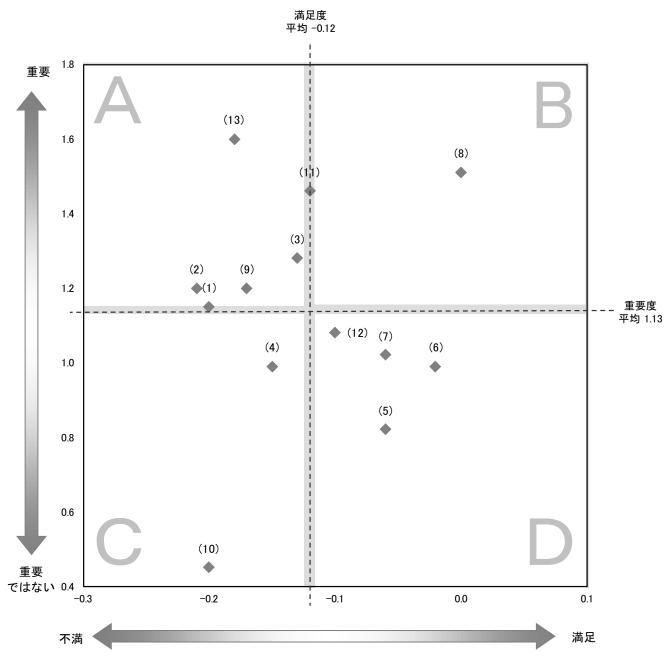
	項目
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

●施策のポートフォリオ分析(40歳代 回答者数 = 166)



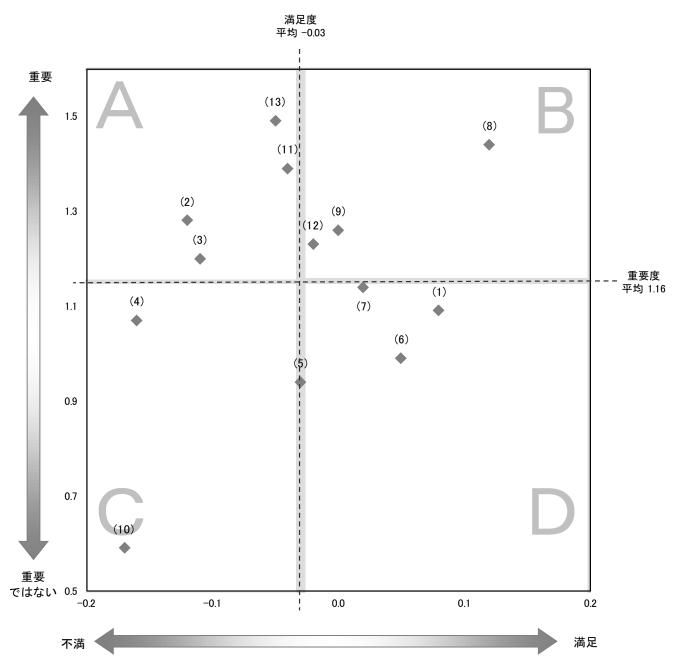
	_
填	· B
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

●施策のポートフォリオ分析(50歳代 回答者数 = 135)



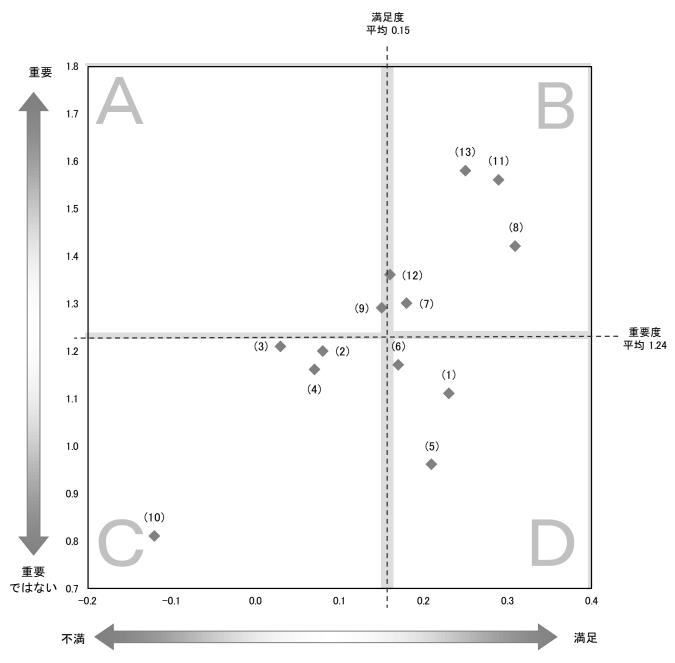
項	目
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

●施策のポートフォリオ分析(60歳代 回答者数 = 186)



	項目
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

●施策のポートフォリオ分析(70歳以上 回答者数 = 320)



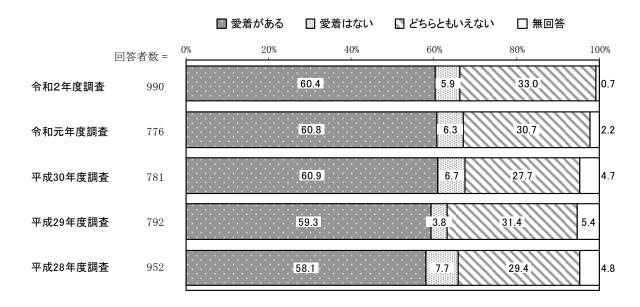
項	目
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	

(4) 可児市のイメージについて

問 15 可児市に愛着はありますか。(Oは 1 つだけ)

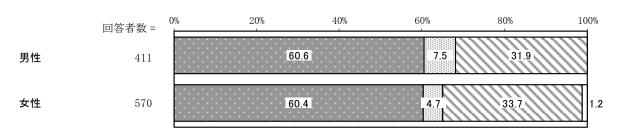
「愛着がある」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 33.0%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



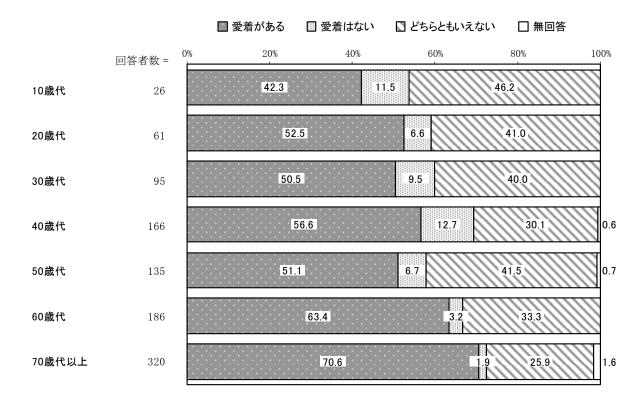
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



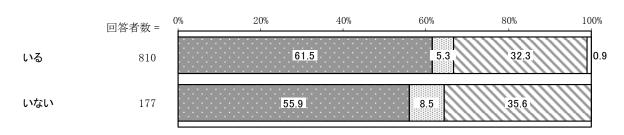
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳代以上で約7割となっています。



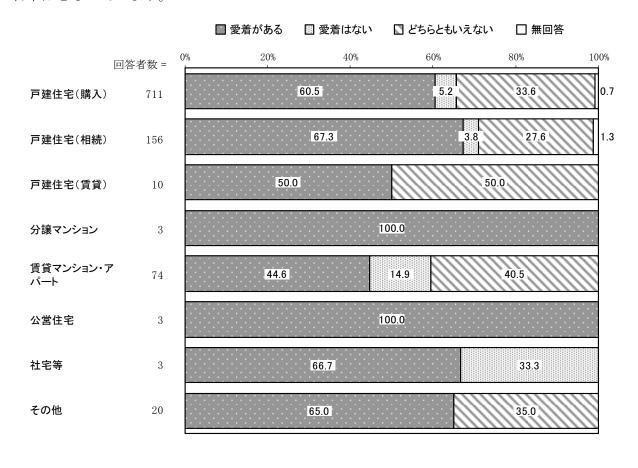
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



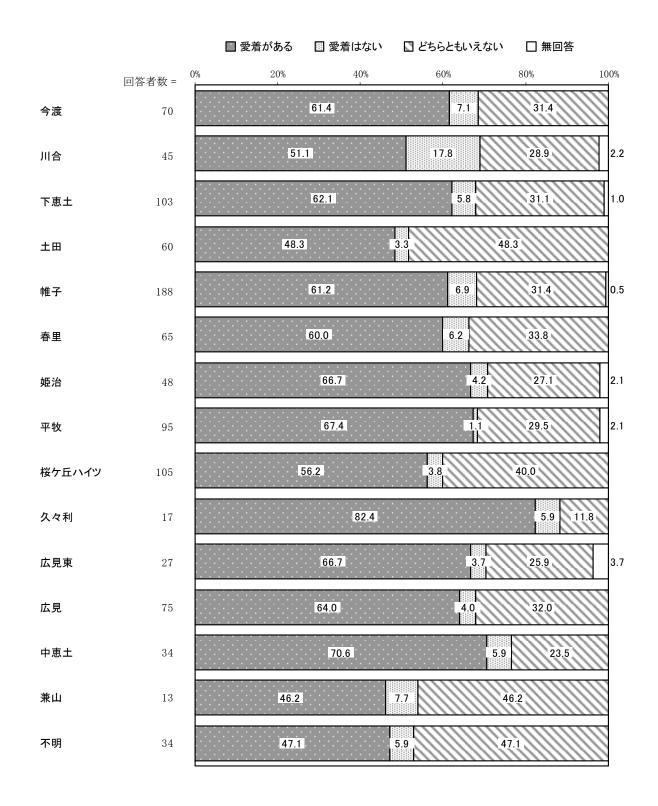
【住まいの形態別】

住まいの形態別でみると、他に比べ、戸建住宅(相続)で「愛着がある」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、賃貸マンション・アパートで「愛着はない」の割合が高く、1割台半ばとなっています。

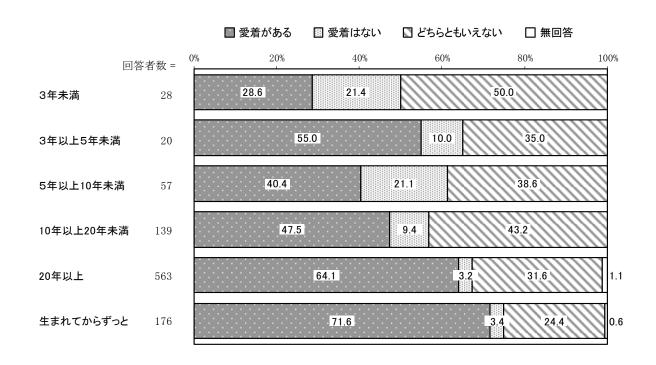


【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、久々利で「愛着がある」の割合が高く、約8割となっています。また、川合で「愛着はない」の割合が高く、約2割となっています。

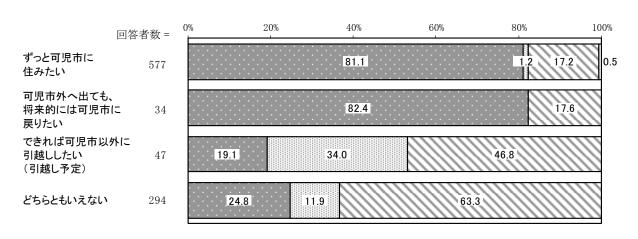


居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、生まれてからずっとで約7割となっています。また、3年未満、5年以上10年未満で「愛着はない」の割合が高く、約2割となっています。



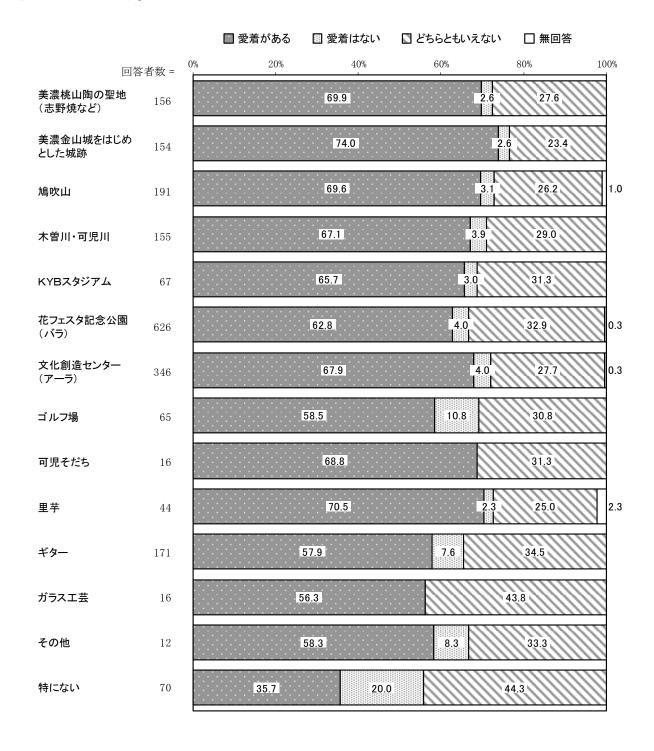
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、ずっと可児市に住みたい、可児市外へ出ても、将 来的には可児市に戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、約8割となっています。また、でき れば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)で「愛着はない」の割合が高く、3割台半ばとな っています。



【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、美濃金山城をはじめとした城跡で「愛着がある」 の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、特にないで「愛着はない」の割合が高く、2 割となっています。

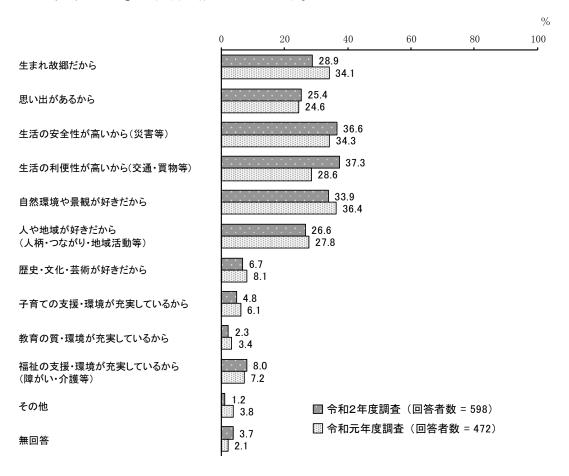


【問15で「愛着がある」を選択された方に伺います】

問 16 その理由は何ですか。(Oは3つまで)

「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が37.3%と最も高く、次いで「生活の安全性が高いから(災害等)」の割合が36.6%、「自然環境や景観が好きだから」の割合が33.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が増加し、「生まれ故郷だから」の割合が減少しています。



問 17 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(Oは1つだけ)

「ずっと可児市に住みたい」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 29.7%となっています。

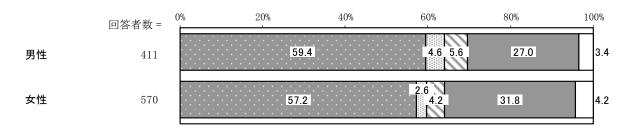
令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- ずっと可児市に住みたい
- 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい
- できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)
- どちらともいえない
- □ 無回答



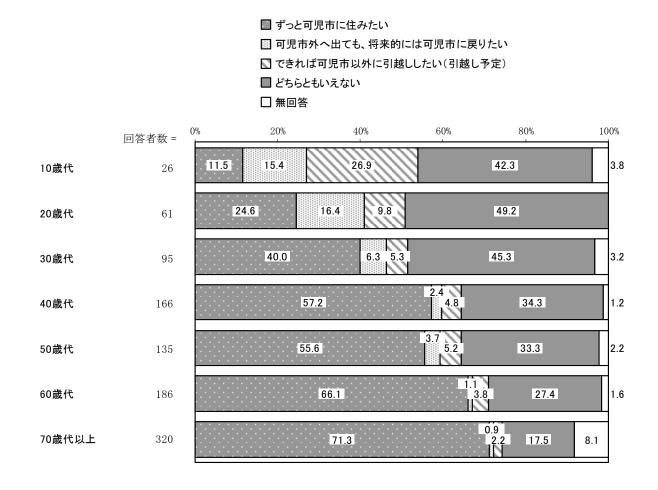
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



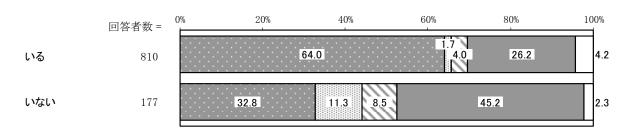
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳代以上で約7割となっています。また、他の年代に比べ、10歳代、20歳代で「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」の割合が、10歳代で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

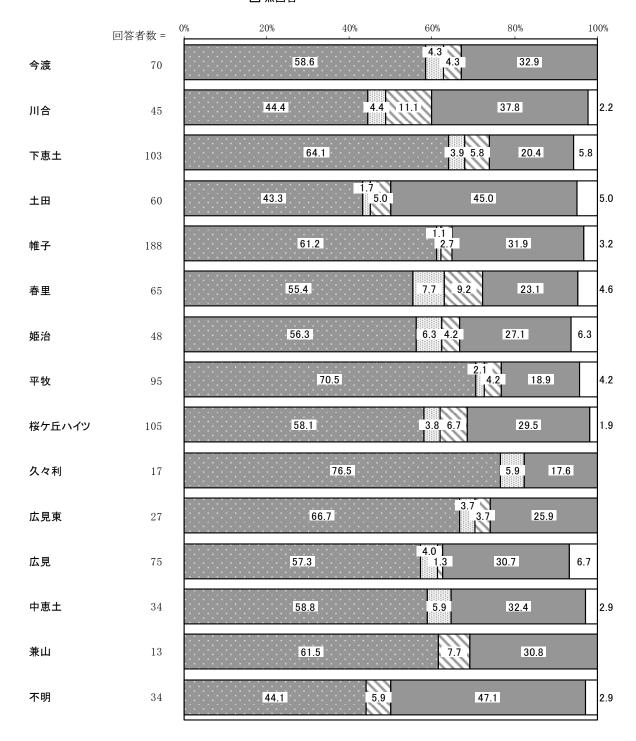
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」の割合が高く、約1割となっています。



【居住地区別】

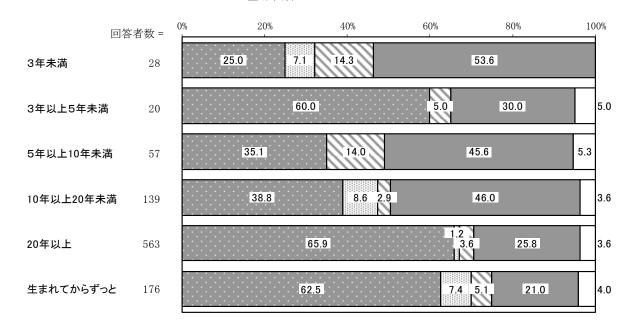
居住地区別でみると、他の地区に比べ、久々利で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、 7割台半ばとなっています。

- ずっと可児市に住みたい ■ 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい
- できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)
- どちらともいえない
- □ 無回答



居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、3年未満、5年以上10年未満で「できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)」の割合が高く、1割台半ばとなっています。

- ずっと可児市に住みたい ■ 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい
- できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)
- どちらともいえない
- □ 無回答

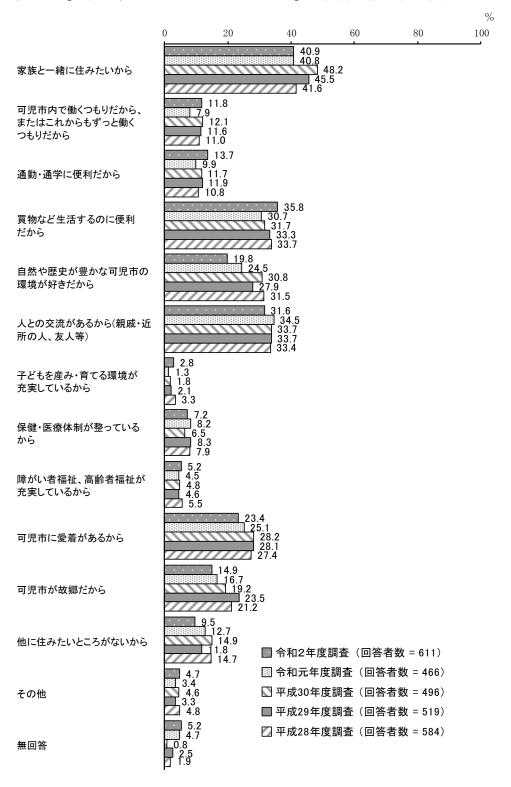


【問 17 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい)を選択された方に伺います】

問 18 その理由は何ですか。(Oは3つまで)

「家族と一緒に住みたいから」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「買物など生活するのに便利だから」の割合が 35.8%、「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が 31.6% となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「可児 市が故郷だから」「他に住みたいところがないから」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市が故郷だから」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから、または可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	環境が好きだから自然や歴史が豊かな可児市の	(親戚・近所の人、友人等)	充実しているから子どもを産み・育てる環境が	保健・医療体制が整っているから	充実しているから障がい者福祉、高齢者福祉が	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	263	39. 2	11.4	15. 2	34. 2	20.9	26. 2	1. 9	7. 2	6. 1	26. 2	18.6	9. 5	4. 9	3.8
女性	341	41.9	12.3	12. 9	37. 0	18.8	36. 4	3. 2	7.0	4. 7	21. 4	11.7	9. 7	4. 4	6. 5

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、30歳代で「通勤・通学に便利だから」の割合が、40歳代、50歳代で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」の割合が、60歳代、70歳代以上で「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから、可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	環境が好きだから自然や歴史が豊かな可児市の	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	充実しているから子どもを産み・育てる環境が	保健・医療体制が整っているから	充実しているから障がい者福祉、高齢者福祉が	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	以
10 歳代	7	57. 1	14. 3	14. 3	1	14. 3	42. 9	l	14. 3	1	14. 3	57. 1	14. 3	1	
20 歳代	25	48.0	16.0	20.0	20.0	4.0	8.0	16. 0		4.0	32. 0	24.0	4. 0	4.0	
30 歳代	44	54. 5	15. 9	36. 4	36. 4	13.6	31.8	6.8		1	13. 6	18. 2	2. 3	4. 5	4. 5
40 歳代	99	43.4	25. 3	25. 3	29.3	13. 1	22. 2	5. 1	1.0	1	24. 2	16. 2	8. 1	2.0	9. 1
50 歳代	80	43.8	25.0	27. 5	31.3	11.3	26. 3	2.5	1	2.5	17. 5	17.5	11. 3	1. 3	2. 5
60 歳代	125	43. 2	7. 2	6. 4	36.0	27. 2	32. 0	0.8	11. 2	8.8	28. 0	12.0	8. 0	6. 4	5. 6
70 歳代以上	231	33.8	2.6	3. 0	42.9	24. 7	39. 4	0.9	12. 1	7.8	23.8	12. 1	12. 1	6. 5	5. 2

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「買物など生活するのに便利だから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「通勤・通学に便利だから」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから、または可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	環境が好きだから自然や歴史が豊かな可児市の	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	充実しているから子どもを産み・育てる環境が	保健・医療体制が整っているから	充実しているから障がい者福祉、高齢者福祉が	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	532	41.4	11. 1	12. 4	36. 5	20. 1	32. 7	3. 0	7. 3	4. 9	22. 7	14. 3	9. 2	4. 9	5. 6
いない	78	38. 5	16. 7	23. 1	30.8	16. 7	24. 4	1. 3	6.4	7. 7	26. 9	19. 2	11.5	3.8	2.6

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、広見で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、久々利で「可児市が故郷だから」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

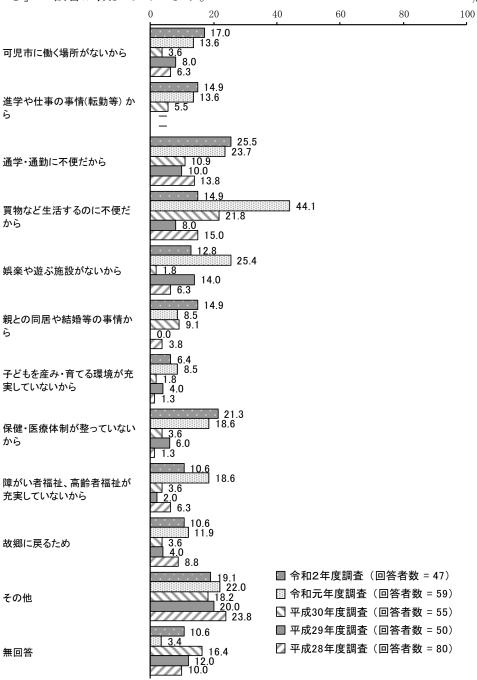
単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから、可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	充実しているから子どもを産み・育てる環境が	保健・医療体制が整っているから	充実しているから障がい者福祉、高齢者福祉が	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	44	47.7	18. 2	22. 7	38.6	11. 4	34. 1	4. 5	4. 5	6.8	18. 2	15. 9	6.8	4. 5	9. 1
川合	22	40.9	18. 2	22. 7	31.8	22. 7	18. 2	-	18. 2	4. 5	22. 7	18. 2	4. 5	4. 5	9. 1
下恵土	70	51.4	14. 3	17. 1	52.9	15. 7	34. 3	1.4	2. 9	2.9	24. 3	17. 1	10.0	2. 9	2. 9
土田	27	48. 1	18. 5	22. 2	25. 9	11. 1	25. 9	3. 7	7. 4	3. 7	7. 4	37. 0	7.4	_	3. 7
帷子	117	38. 5	9. 4	13. 7	30.8	20. 5	28. 2	0.9	6. 0	4. 3	24. 8	6. 0	14. 5	4. 3	6.0
春里	41	43.9	22. 0	7. 3	19.5	29. 3	26.8	2.4	4. 9	4. 9	24. 4	14. 6	9.8	4. 9	4. 9
姫治	30	46. 7	6. 7	10.0	30.0	13. 3	36. 7	10.0	6. 7	3. 3	26. 7	13. 3	10.0	6. 7	3. 3
平牧	69	44. 9	11.6	8. 7	31. 9	17. 4	39. 1	_	11.6	4. 3	27. 5	7. 2	5.8	5.8	7. 2
桜ケ丘ハイツ	65	27.7	_	10.8	29. 2	35. 4	35. 4	10.8	4. 6	12.3	24. 6	9. 2	10.8	6. 2	1. 5
久々利	14	50.0	21. 4	35. 7	21.4	14. 3	42.9	_	_	_	7. 1	42. 9	14. 3	7. 1	
広見東	19	21. 1	5. 3	_	36.8	10. 5	36.8	_	15.8	_	10.5	31. 6	5. 3	5. 3	15.8
広見	46	37.0	8. 7	15. 2	63.0	13. 0	32.6	2. 2	13. 0	4. 3	19. 6	19. 6	10.9	6. 5	_
中恵土	22	40.9	18. 2	9. 1	50.0	31.8	31.8	_	_	4. 5	36. 4	27. 3	4. 5	_	4. 5
兼山	8	37. 5	12. 5	_	12.5	37. 5	12.5	_	25. 0	25. 0	37. 5	_	_	12. 5	12. 5
不明	15	33. 3	13. 3	6. 7	40.0	13. 3	13.3	_	6. 7	6. 7	33. 3	13. 3	6. 7	6. 7	13. 3

【問17で3(できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定))を選択された方に伺います】

問 19 その理由は何ですか。(Oは3つまで)

「通学・通勤に不便だから」の割合が25.5%と最も高く、次いで「保健・医療体制が整っていないから」の割合が21.3%、「可児市に働く場所がないから」の割合が17.0%となっています。令和元年度調査と比較すると、「親との同居や結婚等の事情から」の割合が増加し、「買物など生活するのに不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」「障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから」の割合が減少しています。



※平成30年度以前の調査は単数回答でした。

※「進学や仕事の事情(転勤等)から」の選択肢は平成29年度調査、平成28年度調査にはありませんでした。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「通学・通勤に不便だから」「買物など生活するのに不便だから」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	だから買物など生活するのに不便	娯楽や遊ぶ施設がないから	から親との同居や結婚等の事情	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから 障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
男性	23	21.7	21.7	8.7	4.3	21.7	13.0	l	21. 7	13.0	4.3	21.7	13. 0
女性	24	12. 5	8.3	41.7	25.0	4. 2	16. 7	12.5	20.8	8.3	16.7	16.7	8.3

【年代別】

年代別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	だから買物など生活するのに不便	娯楽や遊ぶ施設がないから	から親との同居や結婚等の事情	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
10 歳代	7	57. 1	71.4	42.9	1	28.6	_	_	1			-	_
20 歳代	6	16. 7	16. 7		33. 3		l	16. 7	16. 7	16. 7	33. 3		16. 7
30 歳代	5	_		20.0	20.0	20.0	60.0	1	20.0	1	20.0	20.0	_
40 歳代	8	12. 5	12. 5	37. 5	12. 5		37. 5	25. 0	25. 0	12.5		25. 0	_
50 歳代	7	_	_	14. 3	14. 3	28.6	14. 3	l	28. 6	14. 3	28. 6	14. 3	_
60 歳代	7		_	28.6	14. 3			l	14. 3	14. 3		42. 9	28. 6
70 歳代以上	7	28. 6	_	28.6	14. 3	14. 3	_	-	42. 9	14. 3	_	28.6	28. 6

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「保健・医療体制が整っていないから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「親との同居や結婚等の事情から」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	だから買物など生活するのに不便	娯楽や遊ぶ施設がないから	から親との同居や結婚等の事情	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから 障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
いる	32	6.3	3. 1	25.0	15.6	12.5	9.4	6.3	25.0	9.4	6.3	28. 1	15. 6
いない	15	40.0	40.0	26. 7	13. 3	13.3	26. 7	6. 7	13. 3	13. 3	20.0	1	

【居住地区別】

居住地区別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

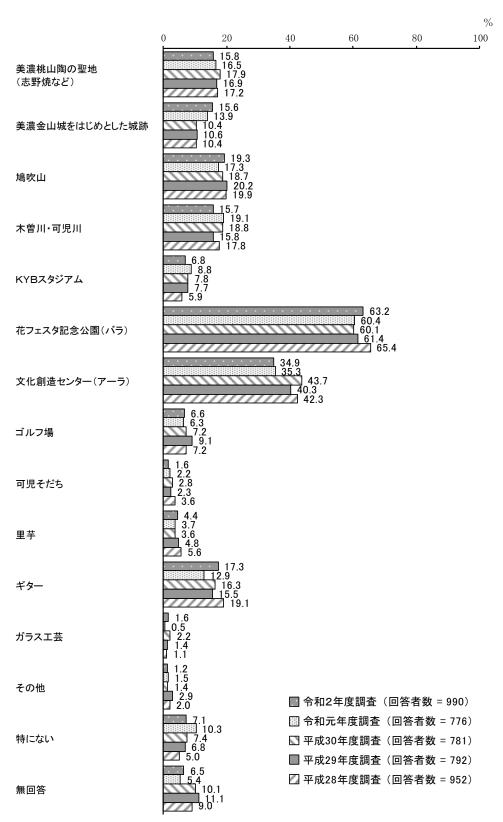
単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	だから買物など生活するのに不便	娯楽や遊ぶ施設がないから	から親との同居や結婚等の事情	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
今渡	3	_	_	_	33. 3	_	66. 7	33. 3	33. 3	_	_	_	_
川合	5	_	_	20.0	20.0	20.0	40.0		20.0	_	40.0	20.0	_
下恵土	6	16. 7	33. 3	16. 7	_	1	16. 7	16. 7	16. 7	16. 7	33. 3	16. 7	_
土田	3	_	1	33. 3	_		1	33. 3	66. 7	33. 3	1	66. 7	_
帷子	5	40.0	20.0	40.0	_	1	1	1	-	20.0	1	20.0	20.0
春里	6	16. 7	_	33. 3	_	16. 7		_	16. 7	_		16. 7	16. 7
姫治	2	50.0	100.0	50.0	_	50.0	_	_	_	_	_	_	_
平牧	4	_	25. 0	25.0	50.0	_	25.0	_	25. 0	_	25.0	25.0	_
桜ケ丘ハイツ	7	_	_	28.6	28.6	14. 3	_	_	28. 6	14. 3	_	14. 3	28.6
久々利	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
広見東	1	100.0	_	100.0	_	_	100.0	_	_	_	_	_	_
広見	1	100.0	_	_	100.0	_	_	_	_	100.0	_	_	_
中恵土	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
兼山	1	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_		100.0
不明	2	50.0	50.0	_	_	50.0		_		_	_	50.0	_

問 20 可児市の自慢できる地域資源(観光施設・特産品など)はどれだと思いますか。 (〇は3つまで)

「花フェスタ記念公園 (バラ)」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「文化創造センター (アーラ)」の割合が 34.9%、「鳩吹山」の割合が 19.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が増加する傾向がみられます。一方、平成30年度以前に比べ、令和元年度調査以降で「文化創造センター(アーラ)」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「木曽川・可児川」「ゴルフ場」「特にない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園 (バラ)」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	城跡美濃金山城をはじめとした	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園(バラ)	文化創造センター(アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
男性	411	18. 5	17. 0	19. 2	18.7	7. 3	56. 0	33. 6	10. 2	1. 2	3.9	14.8	0.7	1.2	10.7	5. 4
女性	570	14. 0	14. 4	19.5	13. 2	6.3	68. 4	36. 1	3. 7	1. 9	4.9	19.3	2. 3	1. 1	4.4	7. 4

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「花フェスタ記念公園 (バラ)」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、10歳代で「文化創造センター (アーラ)」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	城跡美濃金山城をはじめとした	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園(バラ)	文化創造センター(アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	沝回 浦
10 歳代	26	11.5	7. 7	3.8	7. 7	11.5	57. 7	53.8	ı	7. 7	3.8	23. 1	3.8	ı	11.5	3.8
20 歳代	61	9.8	6.6	8.2	13. 1	4. 9	73.8	47. 5	6.6	l	3.3	19. 7	l	1.6	ı	1.6
30 歳代	95	6. 3	15.8	18.9	13. 7	12.6	67. 4	30. 5	5. 3		4. 2	17. 9	1. 1	4. 2	8. 4	4. 2
40 歳代	166	9. 6	12.7	18. 1	9.6	12.0	59.6	28. 3	3.6	1	4.8	19. 3	2.4	ı	13. 3	8. 4
50 歳代	135	11. 1	14.8	17.0	9.6	5. 2	57.0	31. 1	6. 7	1.5	2.2	24. 4	3. 7	3.0	10.4	7. 4
60 歳代	186	20. 4	20.4	13. 4	18.3	3.8	64. 5	30.6	8.6	1.6	5.9	20. 4	1. 1	0.5	5.9	7. 5
70 歳代以上	320	22. 5	16.9	27.8	21.6	4. 7	64. 1	40.0	7.8	2.8	4.7	10. 3	0.9	0.6	3.8	6. 3

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、広見東で「花フェスタ記念公園 (バラ)」の割合が高く、約8割となっています。また、兼山で「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が、久々利で「美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園(バラ)	文化創造センター(アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
今渡	70	10.0	12.9	12.9	24. 3	2.9	57. 1	44. 3	_	_	4. 3	21. 4	1. 4	4. 3	11.4	5. 7
川合	45	8.9	4. 4	26. 7	15.6	6.7	68. 9	37.8	8. 9	_	8.9	33. 3	2. 2	6.7	6.7	6. 7
下恵土	103	17.5	19.4	20.4	12.6	14.6	64. 1	33. 0	8. 7	2. 9	4.9	16. 5	_	1.0	5.8	5.8
土田	60	11.7	10.0	46.7	31. 7	6.7	46. 7	21. 7	6. 7	_	8.3	18. 3	5.0	_	10.0	5. 0
帷子	188	14.9	13. 3	31.9	23. 4	5.9	58. 0	35. 6	6. 4	1. 1	1. 1	13. 3	0.5	1. 1	5.9	6. 9
春里	65	16.9	9.2	12.3	10.8	21.5	61.5	36. 9	6. 2	1. 5	4.6	20.0	3. 1	_	7. 7	4. 6
姫治	48	6.3	10.4	14.6	2. 1	8.3	56. 3	27. 1	2. 1	-	8.3	12.5	-	_	12.5	14. 6
平牧	95	23. 2	16.8	14. 7	11.6	4. 2	69. 5	33. 7	7.4	1. 1	6.3	21. 1	2. 1	_	6.3	8. 4
桜ケ丘ハイツ	105	17. 1	15. 2	4.8	16. 2	2.9	73. 3	42.9	8.6	1. 9	4.8	15. 2	2.9	_	5. 7	4.8
久々利	17	52.9	29.4	5.9	l	_	76. 5	41.2	23. 5	5. 9	5.9		-	_	_	
広見東	27	22. 2	25. 9	11. 1	11. 1	7.4	81. 5	29. 6	7. 4	_		14.8	_	3. 7	3. 7	3. 7
広見	75	9.3	20.0	21.3	10.7	2.7	66. 7	42.7	6. 7	2. 7	2.7	13. 3	2.7	2.7	4.0	5. 3
中恵土	34	29. 4	26. 5	5. 9	5. 9	5. 9	61.8	32. 4	2. 9	2. 9	8.8	35. 3	2.9	_	8.8	_
兼山	13	7.7	61.5	_	23. 1	_	61.5	46. 2	_	7. 7	_	15. 4	_	_	15. 4	_
不明	34	14. 7	11.8	14. 7	8.8	2.9	61.8	11.8	8.8	2. 9	2.9	11.8	_	_	2.9	17. 6

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「花フェスタ記念公園 (バラ)」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、20年以上で「美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)」の割合が高く、約2割となっています。

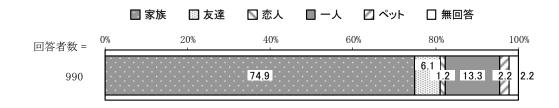
単位:%

区分	回答者数(件)	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園(バラ)	文化創造センター(アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
3年未満	28	14. 3	21.4	17. 9	10.7	3. 6	75. 0	35. 7	10.7	ĺ	7. 1	10.7	_	3. 6	7. 1	_
3年以上5年未満	20	5. 0	20.0	15. 0	25. 0	-	60.0	20.0	5.0	1	1	10.0		5. 0	15. 0	_
5年以上 10 年未満	57	3. 5	8.8	14. 0	17.5	12. 3	63. 2	40. 4	7.0	1.8	1.8	21. 1		1.8	8.8	3. 5
10 年以上 20 年未満	139	7. 2	17. 3	16. 5	15.8	10. 1	70. 5	31. 7	2.9	0.7	2.9	15.8	0.7	0.7	7. 9	7. 9
20 年以上	563	19. 0	15. 5	20. 6	16. 5	5. 7	64. 1	35. 0	7. 1	1. 6	4.8	17. 6	2. 5	1. 1	5. 5	6. 7
生まれてからずっと	176	17. 6	15. 9	18.8	12.5	6.8	52.8	38. 1	7.4	2.8	4. 5	17. 6	0.6	1. 1	10.2	6.8

(5) 余暇の過ごし方について

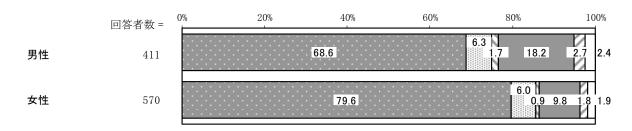
問 21 あなたは、休日(余暇)を誰と過ごすことが多いですか。(Oは1つだけ)

「家族」の割合が74.9%と最も高く、次いで「一人」の割合が13.3%となっています。



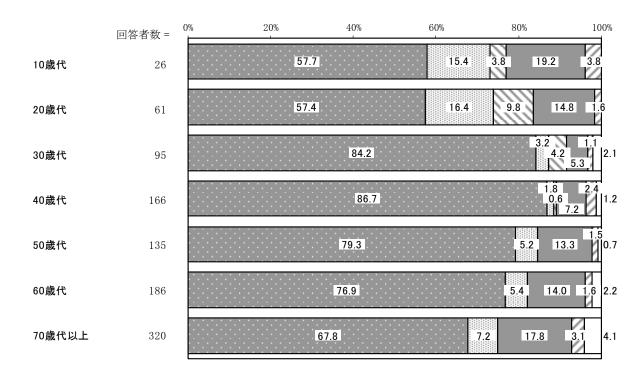
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「一人」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「家族」の割合が高く、約8割となっています。



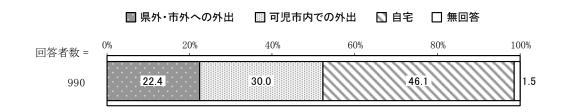
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「家族」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、10歳代、70歳代以上で「一人」の割合が高く、約2割となっています。



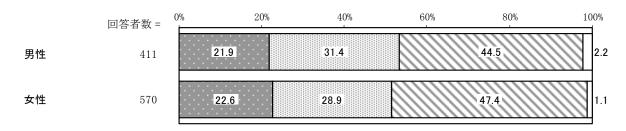
問 22 あなたは、休日(余暇)をどこで過ごすことが多いですか。(Oは1つだけ)

「自宅」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「可児市内での外出」の割合が 30.0%、「県外・市外への外出」の割合が 22.4%となっています。



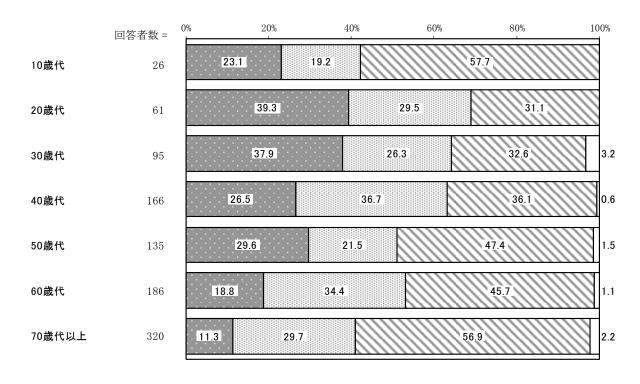
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



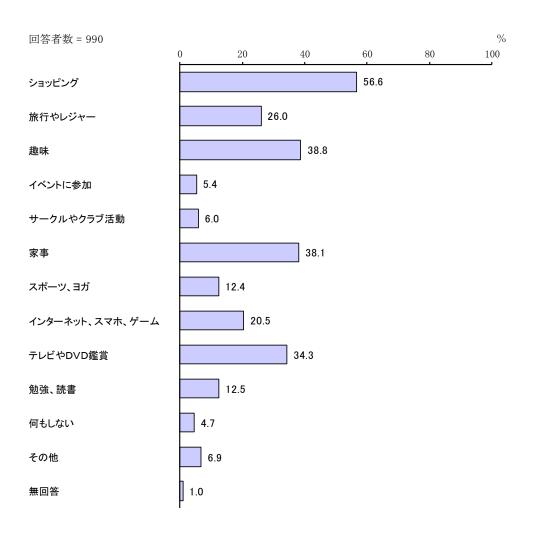
【年代別】

年代別でみると、20歳代から50歳代で「県外・市外への外出」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代、30歳代で約4割となっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「自宅」の割合が高く、約6割となっています。



問23 あなたは、休日(余暇)に何をして過ごしますか。(回答複数可)

「ショッピング」の割合が 56.6% と最も高く、次いで「趣味」の割合が 38.8%、「家事」の割合が 38.1% となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「趣味」「スポーツ、ヨガ」「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ショッピング」「家事」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	ショッピング	旅行 やレジャー	趣味	イベントに参加	クラブ活動サークルや	家事	スポーツ、ヨガ	スマホ、ゲームインターネット、	テレビやロ>ロ鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
男性	411	46. 5	24.8	44.8	3. 9	5.6	18. 7	16.5	24. 3	33. 6	14.6	6. 3	8.5	1. 2
女性	570	63. 9	26.8	34. 7	6. 1	6. 1	52. 3	9.3	17. 9	35. 4	11.2	3. 5	5.6	0. 9

【年代別】

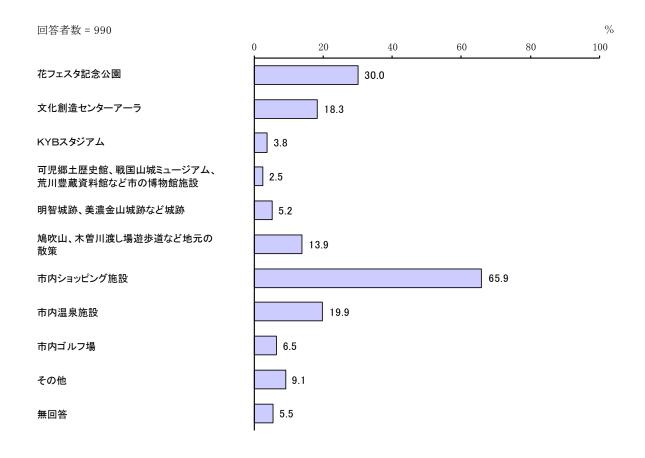
年代別でみると、年代が下がるにつれ「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が高くなる傾向がみられ、10歳代、20歳代で約6割となっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「趣味」「勉強、読書」「何もしない」の割合が、30歳代で「ショッピング」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	クラブ活動サークルや	家事	スポーツ、ヨガ	スマホ、ゲームインターネット、	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
10 歳代	26	42. 3	3.8	57. 7	_	7. 7	3.8	11.5	57. 7	30.8	46. 2	15. 4	3.8	_
20 歳代	61	63. 9	39. 3	34. 4	9.8	1.6	32.8	11.5	60. 7	41.0	16. 4	4. 9	3.3	_
30 歳代	95	71. 6	40.0	30. 5	10. 5	2. 1	48. 4	11.6	27. 4	34. 7	10.5	5. 3	9.5	
40 歳代	166	65. 1	22. 9	30. 1	4. 2	4.8	41.6	11.4	30. 1	28. 3	9.0	3. 6	3.0	0.6
50 歳代	135	60.0	30.4	43.0	5. 2	3.0	46. 7	15.6	20.0	40.0	13.3	3. 7	5.9	0.7
60 歳代	186	53. 2	29.0	44. 1	4. 3	4.8	41. 4	17. 2	11.8	40. 9	11.3	3.8	5.9	_
70 歳代以上	320	47.8	18.8	40.3	4. 4	10.3	31.6	9. 1	7.8	30. 3	11.9	5. 3	10.0	2. 5

問24 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

「市内ショッピング施設」の割合が65.9%と最も高く、次いで「花フェスタ記念公園」の割合が30.0%、「市内温泉施設」の割合が19.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「市内ゴルフ場」の割合が高く、約1割となっています。 また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位·%

区分	回答者数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センターアーラ	KYBスタジアム	荒川豊蔵資料館など市の博物館施設可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	地元の散策鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
男性	411	26.8	17. 3	4. 9	2. 7	4. 9	16. 1	63. 3	19.5	12.2	11. 7	5. 1
女性	570	32.8	19. 1	3. 2	2. 5	5. 3	12. 6	68. 2	20.0	2. 1	7. 2	5. 6

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50 歳代、60 歳代で「市内ショッピング施設」の割合が高く、約7割となっています。また、70 歳代以上で「花フェスタ記念公園」「文化創造センターアーラ」の割合が高くなっています。

単位:%

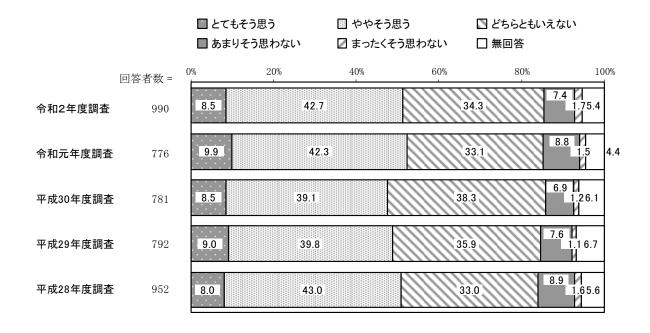
区分	回答者数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センターアーラ	KYBスタジアム	荒川豊蔵資料館など市の博物館施設可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	地元の散策 鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
10 歳代	26	11.5	19. 2	11.5	1	3.8	19. 2	50. 0	3.8	_	23. 1	3.8
20 歳代	61	27. 9	8. 2	6.6	1	-	4. 9	60. 7	29.5	3. 3	16. 4	1.6
30 歳代	95	32. 6	7. 4	3. 2	2. 1	5.3	11.6	56. 8	20.0	5. 3	18. 9	4. 2
40 歳代	166	25. 9	15. 1	8.4	2. 4	1.8	13. 3	65. 1	20.5	3.6	8. 4	6. 6
50 歳代	135	17.8	15. 6	3.0	3. 7	4. 4	14. 1	70. 4	17.0	6. 7	7. 4	3. 0
60 歳代	186	33. 9	16. 7	0.5	3.8	8. 1	12. 4	71. 0	18.8	11.3	6. 5	5. 4
70 歳代以上	320	36. 3	27. 2	2.8	2. 2	6.6	17. 2	66. 3	20.9	6.6	6. 3	7. 2

(6)子育て環境について

問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(Oは 1 つだけ)

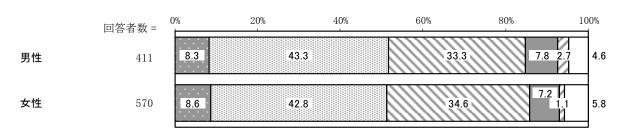
「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた"そう思う"の割合が 51.2%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた"そう思わない"の割合が 9.1%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



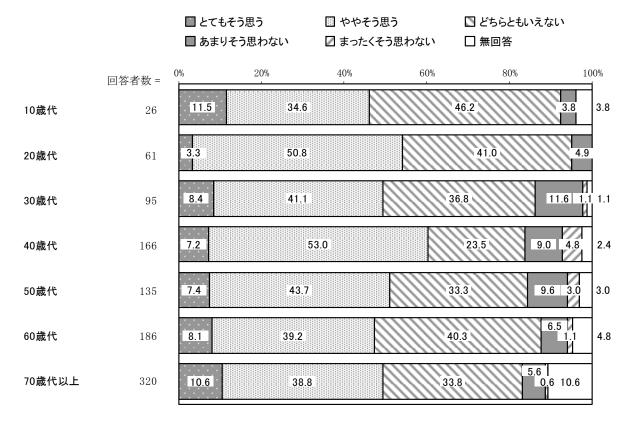
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



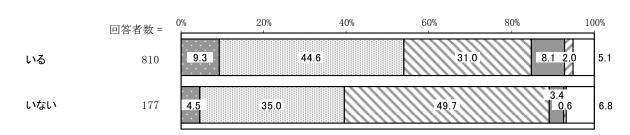
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で"そう思う"の割合が高く、約6割となっています。また、30歳代から50歳代で"そう思わない"の割合が高く、1割を超えています。



【子どもの有無別】

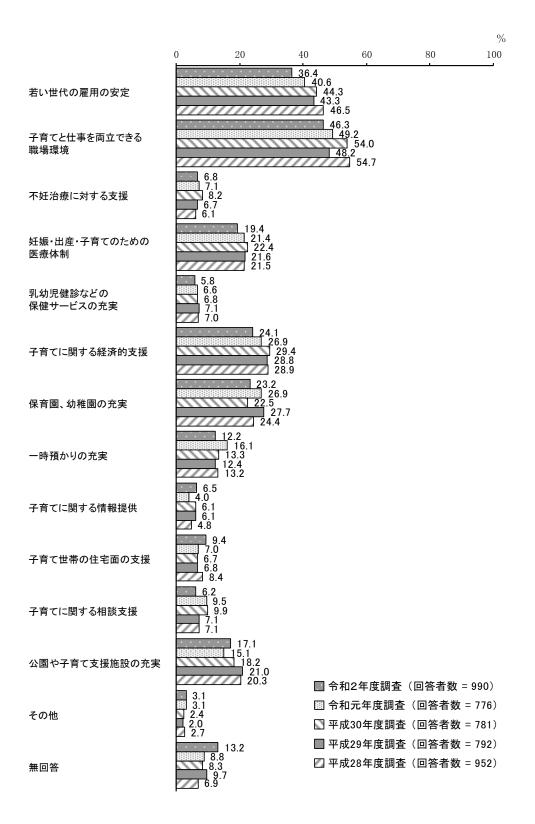
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"そう思う"の割合が高く、約5割となっています。



問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り 組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が46.3%と最も高く、次いで「若い世代の雇用の安定」の割合が36.4%、「子育てに関する経済的支援」の割合が24.1%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「若い世代の雇用の安定」「子育てと仕事を両立できる職場環境」「子育てに関する経済的支援」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	411	41.4	44. 3	5.4	22.4	6.8	26.5	23. 4	10.5	6.6	11. 2	5. 1	16. 3	4. 4	10. 5
女性	570	32.5	47. 9	7. 7	17.0	5. 1	22.6	23. 0	13. 5	6.5	8. 1	7. 0	17. 4	2. 3	15. 3

【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で年代が下がるにつれ「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代で約5割となっています。また、70歳代以上で「若い世代の雇用の安定」の割合が、20歳代で「保育園、幼稚園の充実」の割合が、30歳代で「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10 歳代	26	26. 9	50.0	l	15. 4	l	34. 6	7. 7	11. 5	15. 4	19. 2	7. 7	23. 1		15. 4
20 歳代	61	31. 1	41.0	4. 9	23.0	11. 5	50.8	34. 4	8. 2	8. 2	23. 0	4. 9	9.8	6. 6	3. 3
30 歳代	95	15.8	41. 1	14. 7	21. 1	8. 4	33. 7	29. 5	13. 7	6. 3	14. 7	5. 3	27.4	4. 2	15.8
40 歳代	166	27. 1	42.8	9.0	18. 1	5. 4	38. 0	18. 1	15. 7	7.8	12. 7	7. 2	20.5	3. 0	9. 0
50 歳代	135	33. 3	54. 8	8.9	18.5	4. 4	20.7	26. 7	13. 3	7. 4	8. 9	7. 4	16. 3	4. 4	6. 7
60 歳代	186	40.9	49. 5	6. 5	26. 3	7. 5	15. 1	26. 9	15. 1	8. 1	4. 3	5. 9	17. 7	2. 2	9. 1
70 歳代以上	320	47.8	45. 0	3. 1	15. 3	4. 1	14. 7	19. 7	8.8	3. 4	5. 9	5. 6	13. 1	2. 5	21.6

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「若い世代の雇用の安定」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、いない人で「不妊治療に対する支援」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	810	37. 7	46.8	5. 7	18. 5	5. 4	22.8	23. 3	11.7	6.0	9. 0	6.0	18. 3	2.8	13. 5
いない	177	31. 1	44. 1	11. 3	23. 2	7. 3	29. 9	23. 2	14. 7	8. 5	10. 7	6.8	11. 3	4. 5	12. 4

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、アルバイト・パートで「子育てと仕事を両立できる職場環境」の 割合が高く、5割台半ばとなっています。また、学生で「子育てに関する経済的支援」「子育て世 帯の住宅面の支援」の割合が高くなっています。

単位:%

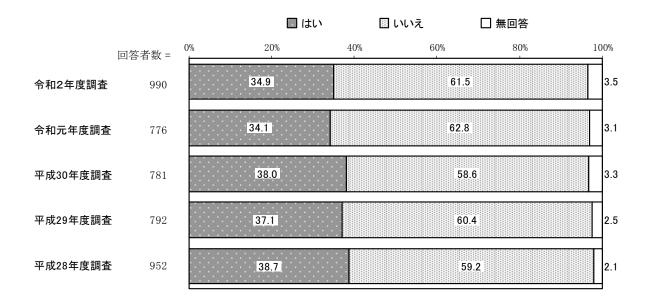
区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員·正職員	251	29. 9	45.8	7. 6	22. 7	5. 6	31. 5	25.9	17. 1	8.0	13. 9	5. 2	18. 3	4. 4	7. 6
アルバイト・パート	181	34. 3	54. 1	8.8	18. 2	5. 5	27. 6	23. 2	11.0	6. 1	8. 3	7. 2	22. 7	2.8	8. 3
派遣社員	8	62.5	12. 5	25. 0	25. 0	_	25. 0	_	12.5	12.5	12. 5	25. 0	_	12. 5	12. 5
嘱託·契約社員	32	34. 4	43.8	3. 1	18.8	3. 1	21. 9	18.8	3. 1	6.3	12. 5	6.3	25. 0	_	12. 5
自営業主 家族従業員	52	25.0	44. 2	9.6	21. 2	11.5	17. 3	26.9	13.5	1.9	7. 7	_	13. 5	5.8	19. 2
内職	4	25.0	75. 0	_	25. 0	_	25. 0	25.0	_	_	25. 0	_	50.0	_	_
家事専業	141	42.6	47. 5	5. 7	12.8	5. 7	21. 3	23. 4	9.2	6.4	9. 2	9. 2	15. 6	1.4	14. 9
学生	38	34. 2	42. 1	_	23. 7	5. 3	39. 5	15.8	7. 9	13. 2	18. 4	7. 9	15.8	2.6	10.5
無職	255	42.4	42.0	5. 1	20. 4	5. 9	15. 7	23.5	11.0	5. 5	4. 3	4. 7	12. 5	2. 7	20. 4
その他	22	40.9	50.0	9. 1	9. 1	_	22. 7	4. 5	9. 1	4. 5	9. 1	13.6	18. 2	4. 5	22. 7

(7) 運動の推進について

問 27 可児市では、1回 30 分週 2 回のウオーキングを推奨する歩こう可児 302 運動や 1人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民ースポーツを推進しています。あなたは、30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けていますか。 (〇は1つだけ)

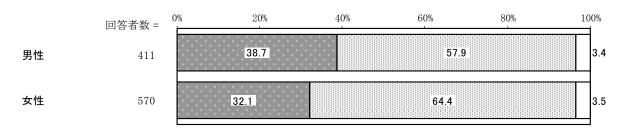
「はい」の割合が34.9%、「いいえ」の割合が61.5%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以前に比べ、令和元年度以降「はい」の割合 が減少しています。



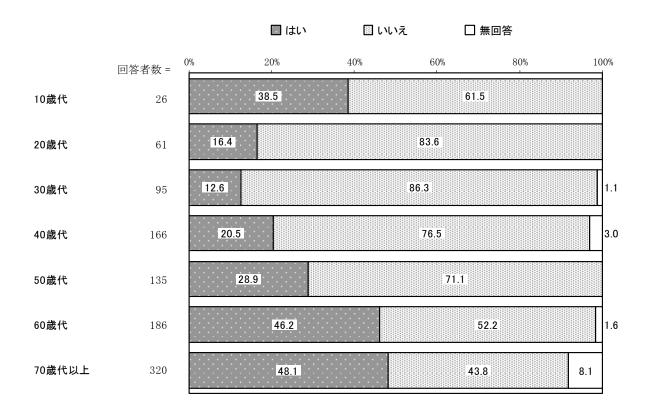
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、約4割となっています。



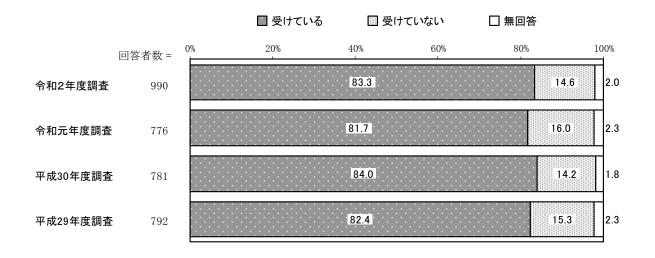
【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で年代が下がるにつれ「いいえ」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代、30歳代で8割を超えています。



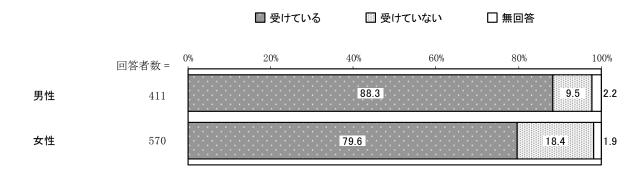
問 28 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。(Oは 1 つだけ)

「受けている」の割合が83.3%、「受けていない」の割合が14.6%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



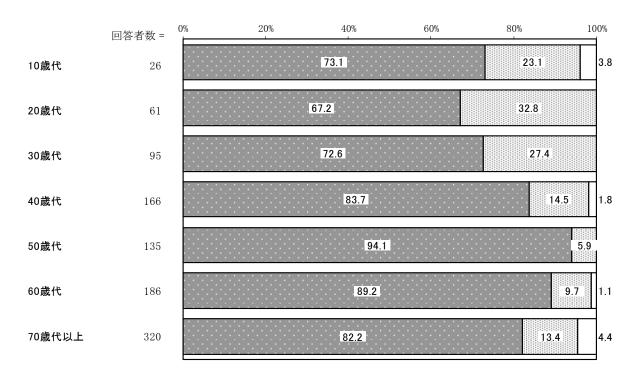
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けている」の割合が高く、約9割となっています。



【年代別】

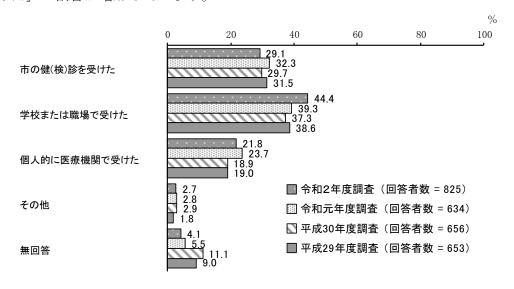
年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で「受けている」の割合が高く、9割台半ばとなっています。また、20歳代で「受けていない」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



受診場所

「学校または職場で受けた」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「市の健(検)診を受けた」の割合が 29.1%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が 21.8%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度以前に比べ、令和2年度で「学校または職場で受けた」の割合が増加しています。



※平成29年度調査、30年度調査では単数回答でした。

【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で「市の健(検)診を受けた」の割合が高く、約3割となっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	受けた (検)診を	受けた	で受けたで受けた	その他	無回 緧
男性	363	25. 3	51. 2	19. 3	1. 4	3. 9
女性	454	32. 4	39. 4	23. 1	3. 7	4. 2

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「市の健(検)診を受けた」「個人的に医療機関で受けた」の割合が高く、年代が下がるにつれ「学校または職場で受けた」の割合が高くなる傾向がみられます。

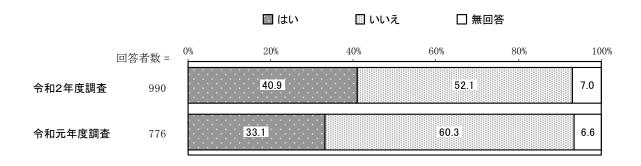
単位:%

区分	回答者数(件)	受けた (検)診を	受けた学校または職場で	で受けた個人的に医療機関	その他	無回答
10 歳代	19		100.0	1	1	
20 歳代	41	4.9	82. 9	7. 3	2. 4	2. 4
30 歳代	69	14. 5	81. 2	5.8	1. 4	1. 4
40 歳代	139	17. 3	66. 9	8.6	4. 3	2. 9
50 歳代	127	11.8	69. 3	14. 2	3. 9	2. 4
60 歳代	166	34. 3	37. 3	24. 7	3. 0	3. 0
70 歳代以上	263	50. 2	5. 3	38. 4	1. 5	7. 6

(8) 教育や学習に関する施策について

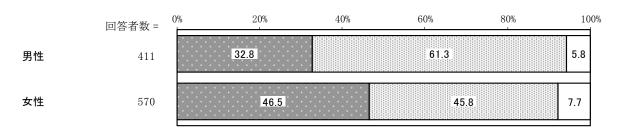
問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。(〇は1つだけ)

「はい」の割合が 40.9%、「いいえ」の割合が 52.1% となっています。 令和元年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



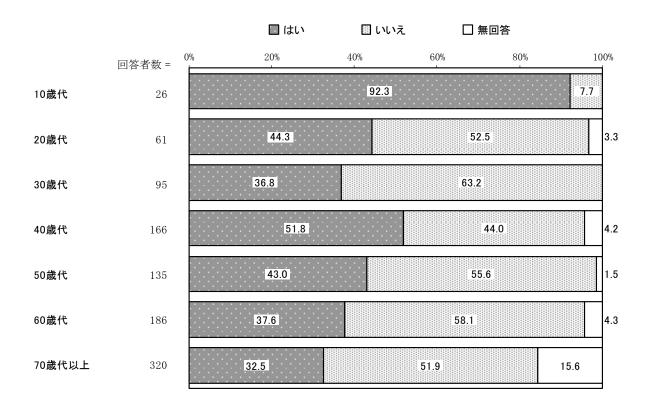
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高く、約6割となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「はい」の割合が高く、約9割となっています。 また、30歳代で「いいえ」の割合が高く、6割台半ばとなっています。



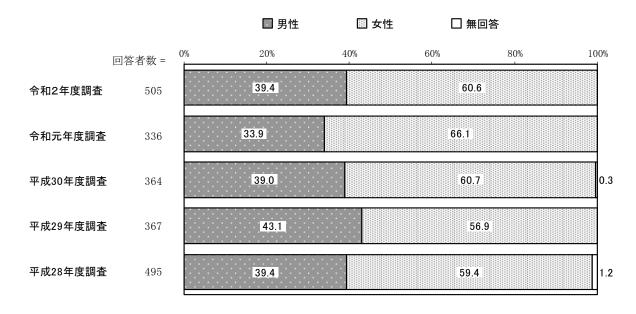
2 若年層

(1)回答者属性

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

「男性」の割合が39.4%、「女性」の割合が60.6%となっています。

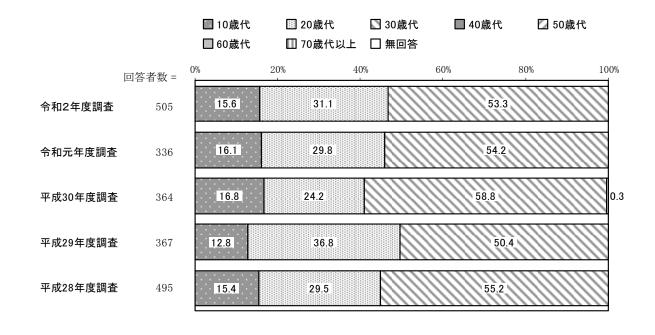
令和元年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの「男性」に比べ「女性」の割合が高い傾向が続いています。



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「30 歳代」の割合が53.3%と最も高く、次いで「20 歳代」の割合が31.1%、「10 歳代」の割合が15.6%となっています。

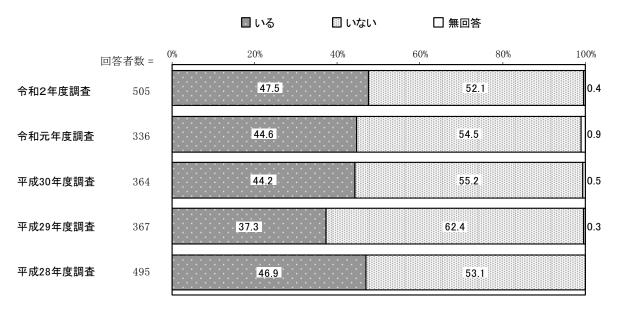
令和元年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの「30 歳代」の割合が最も高い傾向が続いています。



問3 あなたには、子どもはいますか。(〇は1つだけ)

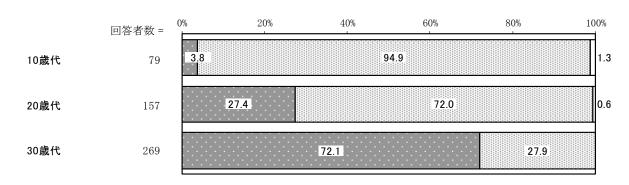
「いる」の割合が47.5%、「いない」の割合が52.1%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 29 年度以降「いる」の割合が増加する傾向がみられます。



【年代別】

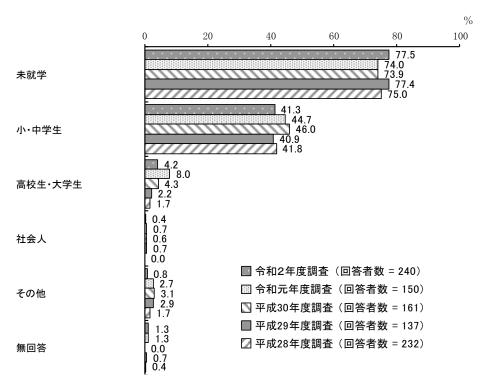
年代別でみると、、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなっており、30歳代で約7割となっています。



子どもの世代

「未就学」の割合が 77.5% と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が 41.3% となっています。

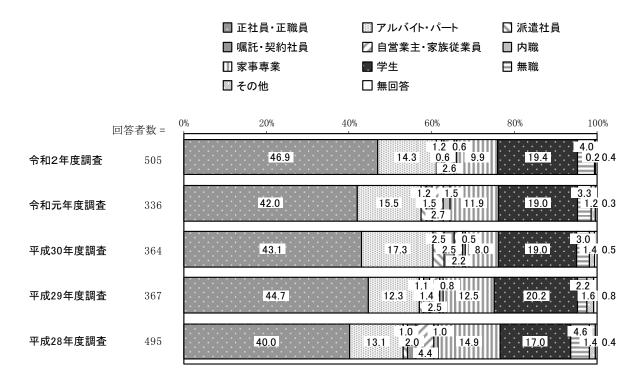
令和元年度以前の調査と比較すると、平成 30 年度以降「小・中学生」の割合が減少しています。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

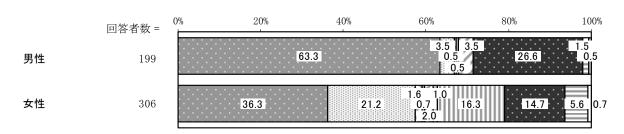
「正社員・正職員」の割合が 46.9% と最も高く、次いで「学生」の割合が 19.4%、「アルバイト・パート」の割合が 14.3% となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和2年度にかけて「正社員・正職員」 の割合が増加しています。また、「家事専業」の割合が減少する傾向がみられます。



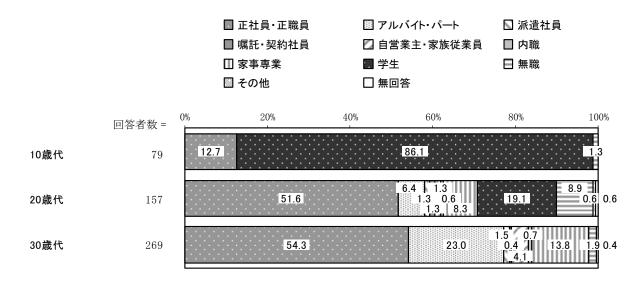
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「学生」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



【年代別】

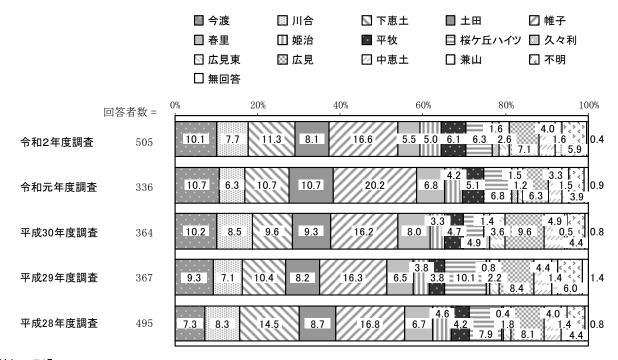
年代別でみると、10歳代に比べ、20歳代、30歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、5割を超えています。また、30歳代で「アルバイト・パート」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

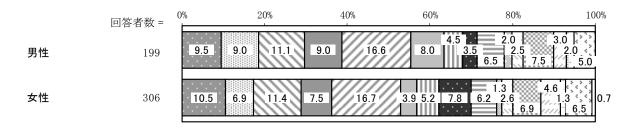
「帷子」の割合が 16.6% と最も高く、次いで「下恵土」の割合が 11.3%、「今渡」の割合が 10.1% となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



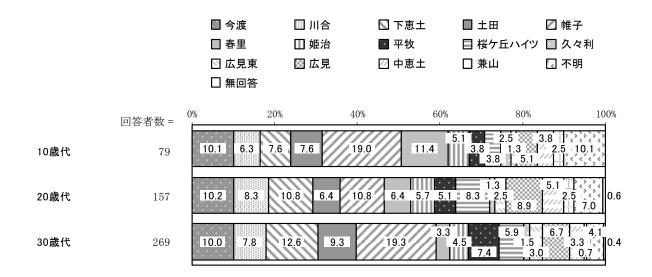
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



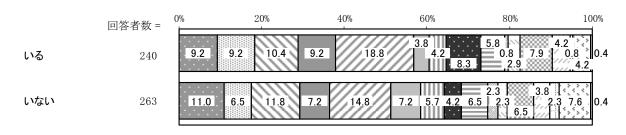
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「春里」の割合が高く、約1割となっています。



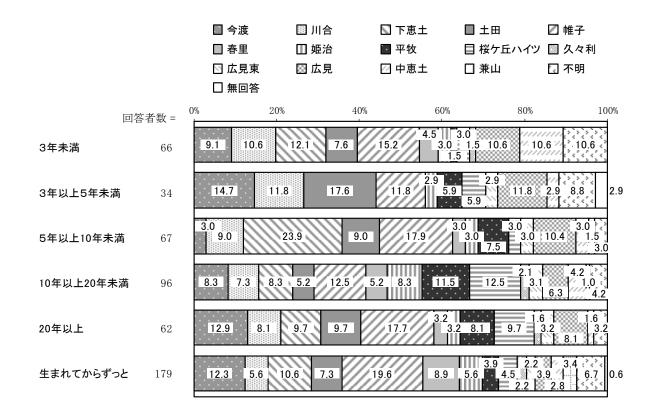
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



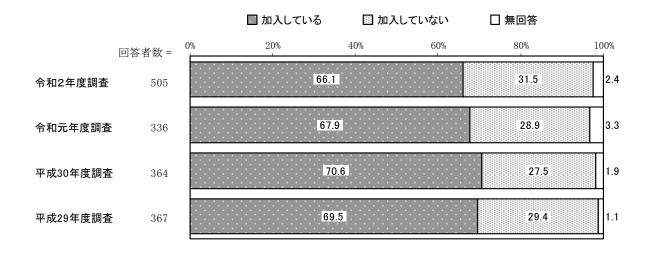
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で「下恵土」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、3年未満で「中恵土」の割合が、10年以上20年未満、20年以上で「平牧」「桜ケ丘ハイツ」の割合が高くなっています。



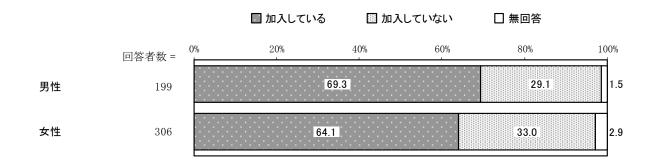
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。(Oは1つだけ)

「加入している」の割合が 66.1%、「加入していない」の割合が 31.5%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



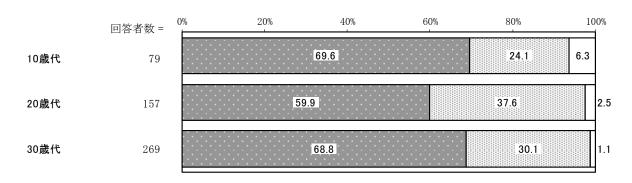
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「加入している」の割合が高く、約7割となっています。



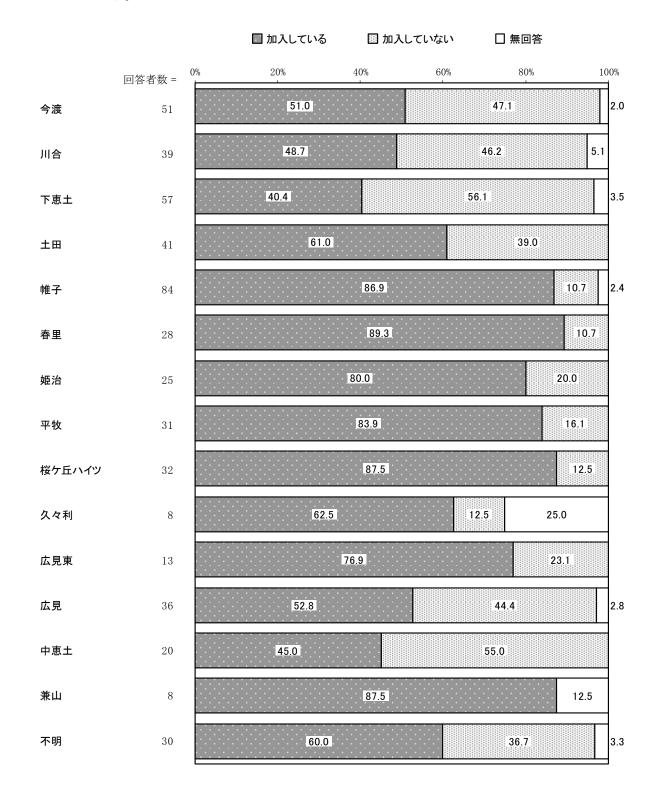
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「加入していない」の割合が高く、約4割となっています。



【居住地区別】

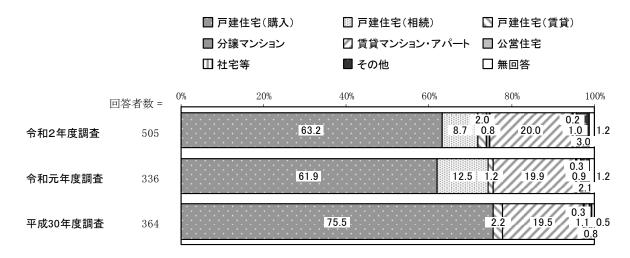
居住地区別でみると、他の地区に比べ、春里、桜ケ丘ハイツで「加入している」の割合が高く、 約9割となっています。また、下恵土、中恵土で「加入していない」の割合が高く、5割台半ば となっています。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(Oは1つだけ)

「戸建住宅(購入)」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」の割合が 20.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

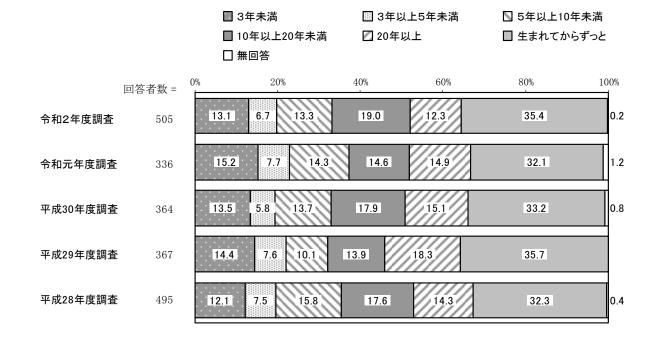


※平成30年度調査には「戸建住宅(相続)」の選択肢はありませんでした。

問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。 (〇は1つだけ)

「生まれてからずっと」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」の割合が 19.0%、「5 年以上 10 年未満」の割合が 13.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成29年度以降「20年以上」の割合が減少しています。



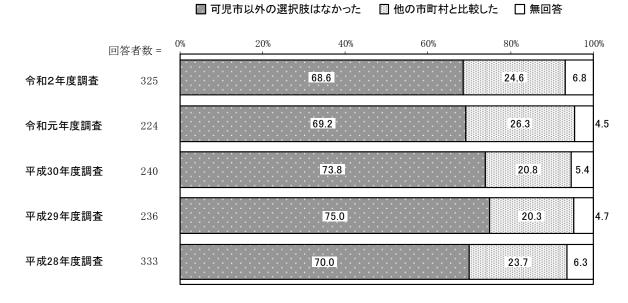
(2) 可児市への居住理由について

【問8で「3年未満」~「20年以上」を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(Oは1つだけ)

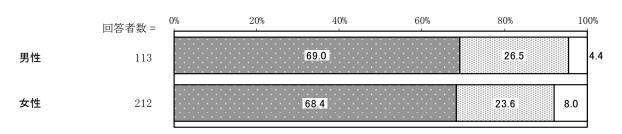
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が 68.6%、「他の市町村と比較した」の割合が 24.6% となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 29 年度以降「可児市以外の選択肢はなかった」の 割合が減少する傾向がみられます。



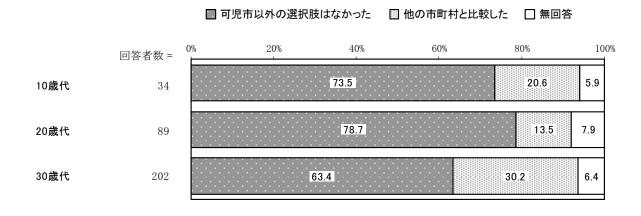
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高く、約8割となっています。また、30歳代で「他の市町村と比較した」の割合が高く、約3割となっています。

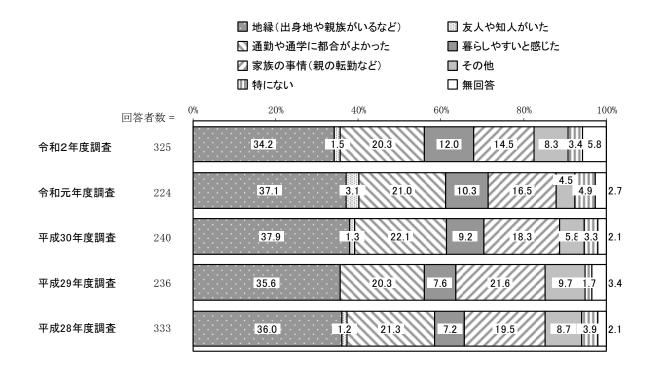


【問8で「3年未満」~「20年以上」を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

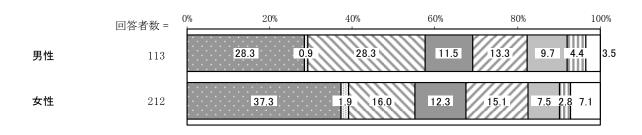
「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が34.2%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が20.3%、「家族の事情(親の転勤など)」の割合が14.5%となっています。令和元年度以前の調査と比較すると、「暮らしやすいと感じた」の割合が増加し、「家族の事情

(親の転勤など)」の割合が減少する傾向がみられます。



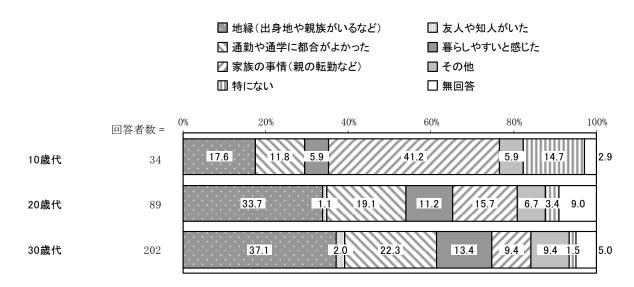
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



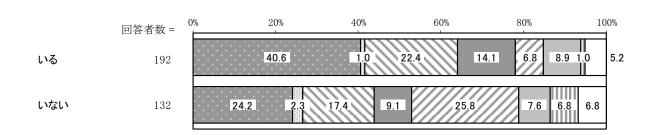
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が、年代が下がるにつれ「家族の事情(親の転勤など)」「特にない」の割合が高くなっています。



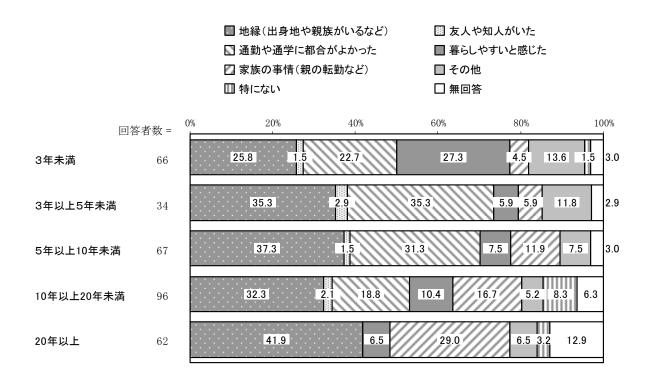
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「地縁(出身地や親族がいるなど)」「通勤や通学に都合がよかった」「暮らしやすいと感じた」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、いない人で「家族の事情(親の転勤など)」「特にない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

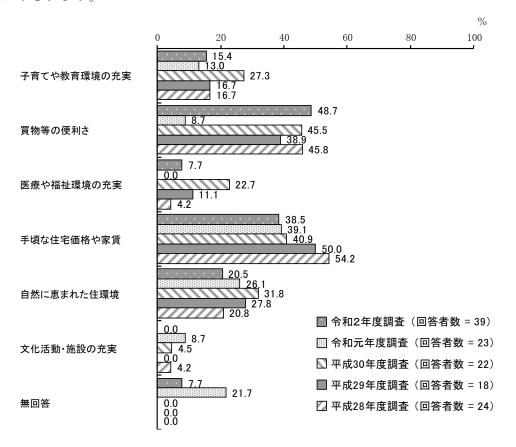
居住年数別でみると、他に比べ、居住年数が長くなるにつれ「家族の事情(親の転勤など)」の割合が高く、20年以上で約3割となっています。また、他に比べ、20年以上で「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が、3年以上5年未満で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が、3年未満で「暮らしやすいと感じた」の割合が高くなっています。



暮らしやすいと感じた理由

「買物等の便利さ」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 38.5%、「自然に恵まれた住環境」の割合が 20.5%となっています。

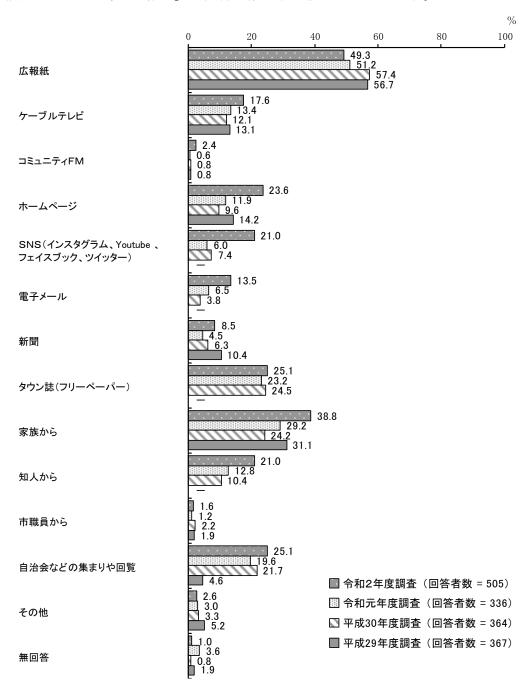
令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和2年度にかけて「買物等の便利さ」の割合が増加しています。また、「手頃な住宅価格や家賃」「自然に恵まれた住環境」の割合は減少傾向がみられます。



問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が49.3%と最も高く、次いで「家族から」の割合が38.8%、「タウン誌(フリーペーパー)」「自治会などの集まりや回覧」の割合が25.1%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「ホームページ」「SNS(インスタグラム、Youtube 、フェイスブック、ツイッター)」「家族から」「知人から」「自治会などの集まりや回覧」の割合が増加傾向にある一方、「広報紙」の割合は減少する傾向がみられます。



※平成29年度調査には「SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター)」「電子メール」「タウン誌(フリーペーパー)」「知人から」の選択肢はありませんでした。

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ホームページ」「SNS (インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター)」「電子メール」「タウン誌 (フリーペーパー)」「知人から」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	占報紙	ケーブルテレビ	⊓ <i>┉</i> ᅥ│トヾヒ≥	ホームページ	フェイスブック、ツイッター) SNS(インスタグラム、Youtube、	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	199	46. 7	18.6	3. 0	19. 1	16.6	7. 5	10. 1	16.6	39. 2	16. 1	2.5	24. 1	4. 0	1. 0
女性	306	51.0	17.0	2. 0	26. 5	23. 9	17. 3	7. 5	30. 7	38.6	24. 2	1.0	25.8	1.6	1. 0

【年代別】

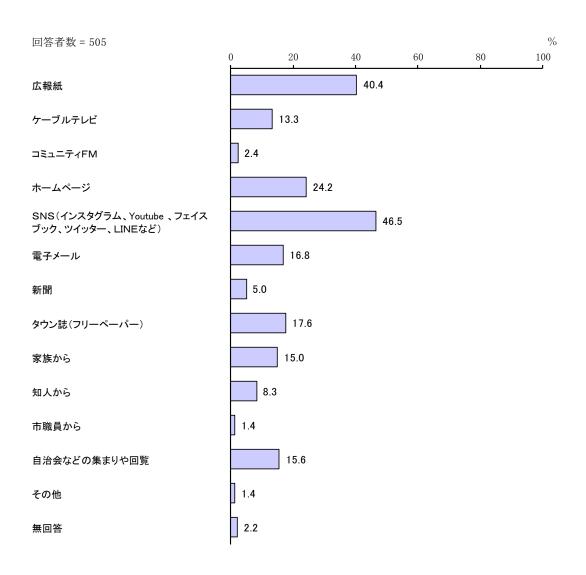
年代別でみると、年齢が上がるにつれ「広報紙」「ホームページ」「電子メール」「タウン誌(フリーペーパー)」「知人から」の割合が高くなっています。また、年齢が下がるにつれ「家族から」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	フェイスブック、ツイッター) SNS(インスタグラム、Youtube、	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10 歳代	79	34. 2	27.8	2. 5	6. 3	27.8	2. 5	15. 2	11.4	55. 7	13. 9	_	17. 7	3.8	_
20 歳代	157	38. 2	15. 3	1. 3	22. 9	19. 1	7. 0	5. 1	23.6	45. 2	16. 6	1. 3	14. 0	1. 3	2. 5
30 歳代	269	60. 2	16.0	3. 0	29. 0	20. 1	20. 4	8.6	30. 1	30. 1	25. 7	2. 2	33. 8	3.0	0.4

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

「SNS (インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「広報紙」の割合が 40.4%、「ホームページ」の割合が 24.2%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ホームページ」「SNS (インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)」「タウン誌 (フリーペーパー)」「知人から」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	ℿ <i>┉</i> ᅥⅡ胩矢ᡅᢓ	ホームページ	イスブック、ツイッター、LINEなど)SNS(インスタグラム、Youtube、フェ	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	199	39. 2	14.6	2. 5	21. 1	42. 7	15. 1	4. 5	11. 1	13.6	3. 5	3. 0	16.6	2. 0	2.0
女性	306	41.2	12. 4	2. 3	26. 1	49. 0	18. 0	5. 2	21.9	16.0	11. 4	0.3	15. 0	1.0	2. 3

【年代別】

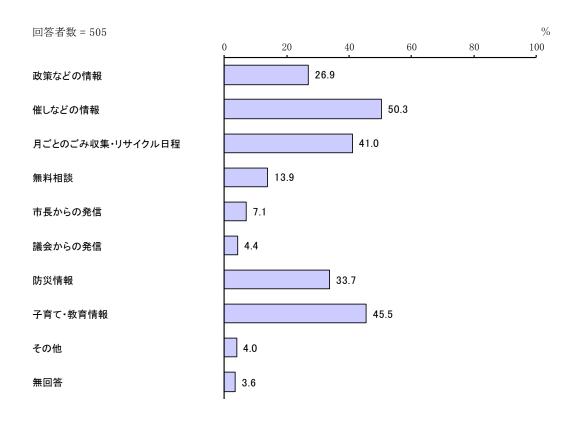
年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「ホームページ」「電子メール」の割合が、年齢が下がるにつれ「家族から」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「ケーブルテレビ」の割合が、30歳代で「自治会などの集まりや回覧」の割合が高く、約2割となっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	ロミュニティFM	ホームページ	イスブック、ツイッター、LINEなど)SNS(インスタグラム、Youtube、フェ	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10 歳代	79	31.6	22.8	2. 5	11. 4	48. 1	6. 3	10. 1	7.6	27.8	8. 9	2. 5	13. 9	_	1. 3
20 歳代	157	30.6	9.6	0.6	22. 3	52. 9	8. 9	3.8	14.0	16.6	6. 4	0.6	8. 3	3. 2	2. 5
30 歳代	269	48.7	12.6	3. 3	29. 0	42. 4	24. 5	4. 1	22. 7	10. 4	9. 3	1. 5	20. 4	0. 7	2. 2

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

「催しなどの情報」の割合が50.3%と最も高く、次いで「子育て・教育情報」の割合が45.5%、「月ごとのごみ収集・リサイクル日程」の割合が41.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「政策などの情報」「市長からの発信」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「催しなどの情報」「月ごとのごみ収集・リサイクル日程」「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	政策などの情報	催しなどの情報	リサイクル日程月ごとのごみ収集・	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育で・教育情報	その他	無回答
男性	199	40. 7	44. 2	37. 7	12. 1	10.6	7. 0	36. 2	35. 2	5. 5	3. 5
女性	306	18. 0	54. 2	43. 1	15. 0	4. 9	2. 6	32. 0	52. 3	2. 9	3. 6

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「政策などの情報」「催しなどの情報」「月ごとのごみ収集・リサイクル日程」「無料相談」「防災情報」「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。

単位:%

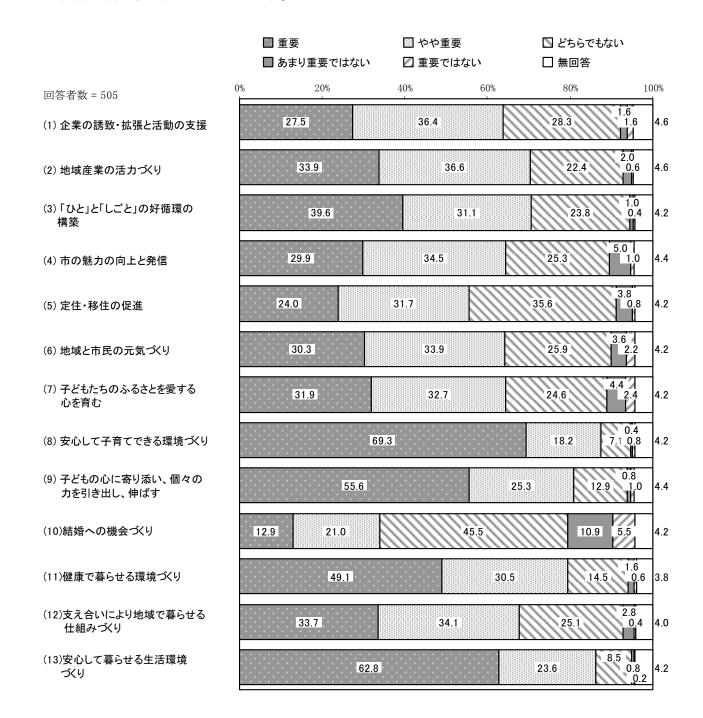
区分	回答者数(件)	政策などの情報	催しなどの情報	リサイクル日程月ごとのごみ収集・	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育で・教育情報	その他	無回答
10 歳代	79	20. 3	45. 6	19. 0	7. 6	5. 1	3.8	27.8	10. 1	12. 7	8.9
20 歳代	157	25. 5	47.8	38. 2	10.8	6. 4	5. 1	31. 2	34. 4	3. 8	3.8
30 歳代	269	29. 7	53. 2	49. 1	17. 5	8. 2	4. 1	36. 8	62. 5	1. 5	1. 9

(3) 施策の重要度と満足度について

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。 5 点満点で評価し、該当する数字を1つずつ〇で囲んでください。

①重要度

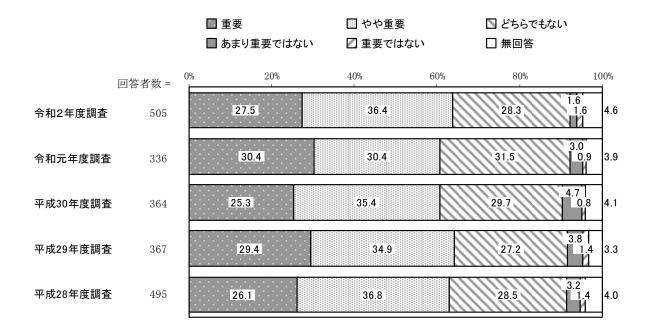
『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』で「重要」と「やや重要」をあわせた"重要"の割合が高く、8割を超えています。



(1)企業の誘致・拡張と活動の支援

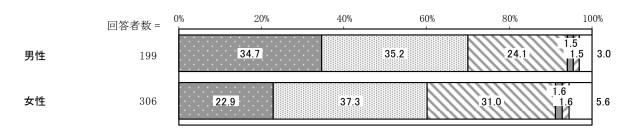
「重要」と「やや重要」をあわせた"重要"の割合が 63.9%、「あまり重要ではない」と「重要ではない」をあわせた"重要ではない"の割合が 3.2%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



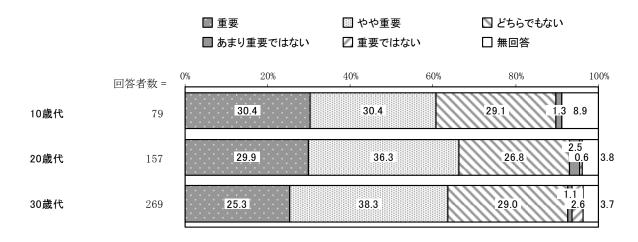
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"重要"の割合が高く、約7割となっています。



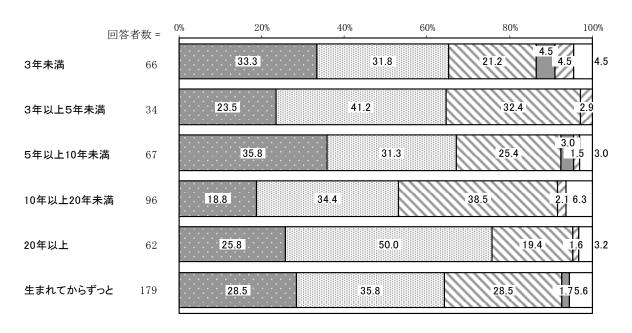
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で"重要"の割合が高く、6割台半ばとなっています。



【居住年数別】

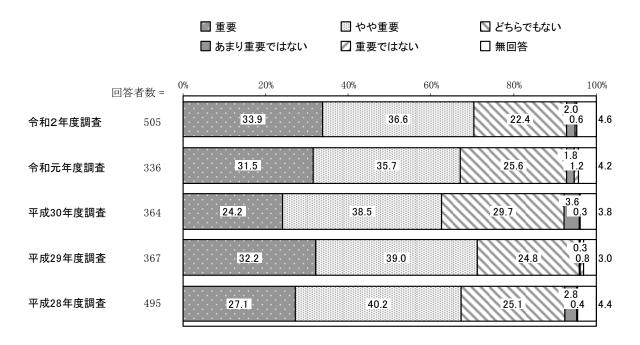
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で"重要"の割合が高く、7割台半ばとなっています。



(2)地域産業の活力づくり

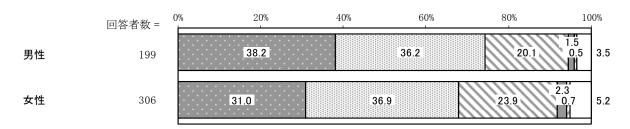
"重要"の割合が70.5%、"重要ではない"の割合が2.6%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 30 年度以降"重要"の割合が増加する傾向がみられます。



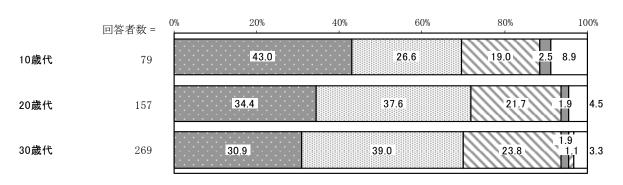
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"重要"の割合が高く、7割台半ばとなっています。



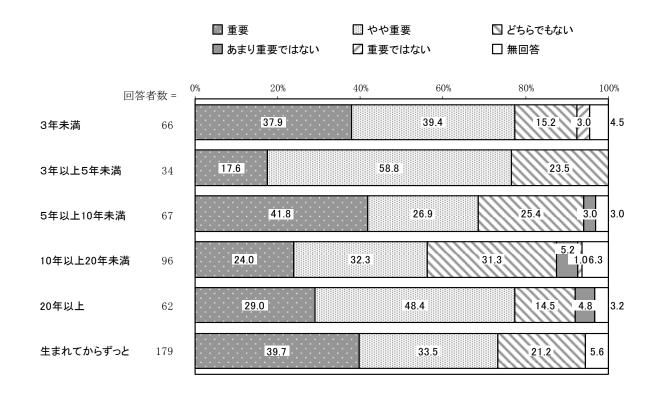
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

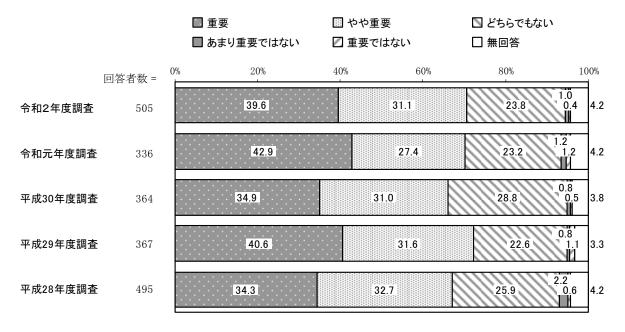
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、20年以上で"重要"の割合が高く、約8割となっています。また、10年以上20年未満で"重要ではない"の割合が高くなっています。



(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築

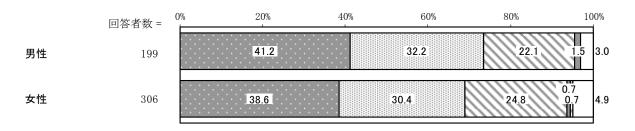
"重要"の割合が70.7%、"重要ではない"の割合が1.4%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度に"重要"の割合が減少したものの、その後は約7割となっています。



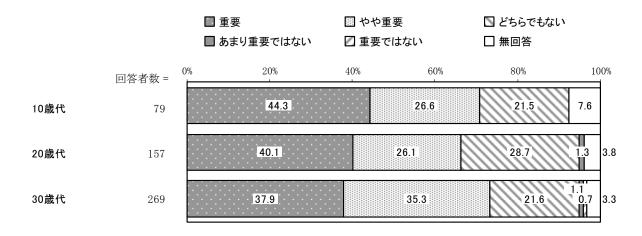
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



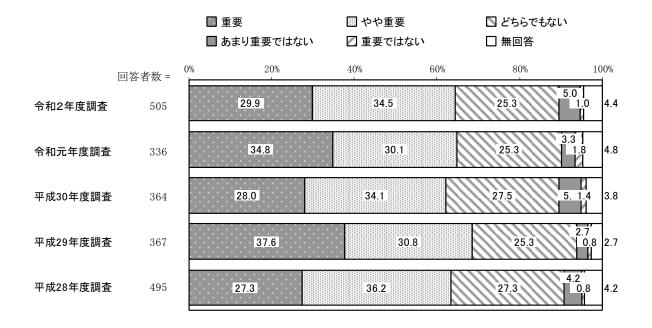
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で"重要"の割合が低く、6割台半ばとなっています。



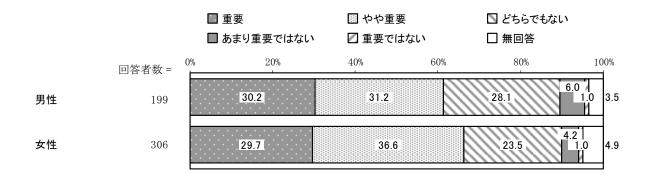
(4) 市の魅力の向上と発信

"重要"の割合が64.4%、"重要ではない"の割合が6.0%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



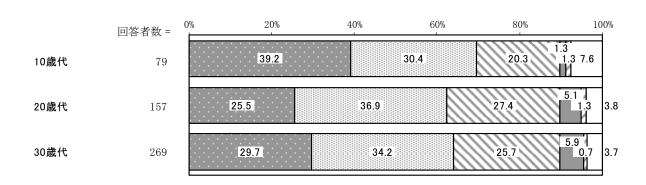
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



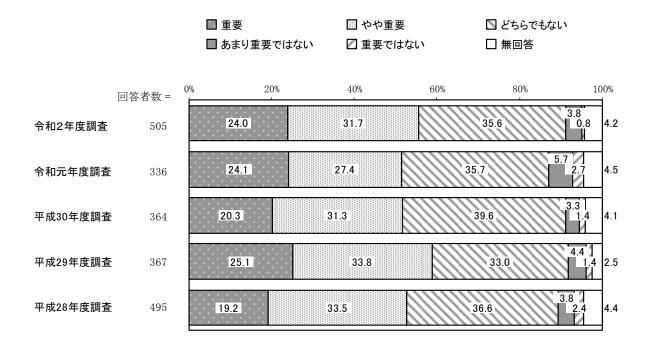
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で"重要"の割合が高く、約7割となっています。



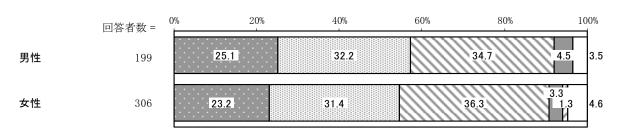
(5) 定住・移住の促進

"重要"の割合が55.7%、"重要ではない"の割合が4.6%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



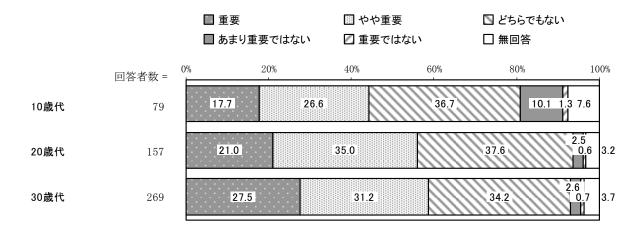
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



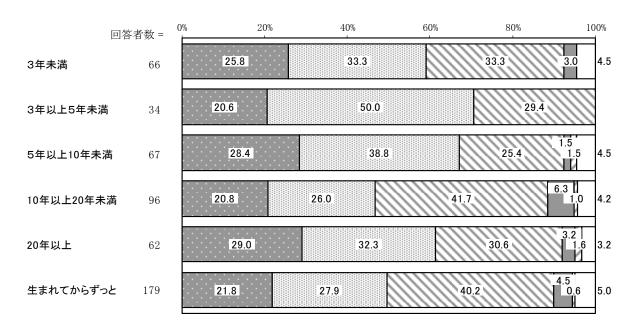
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ"重要"の割合が高くなっており、30歳代で約6割となっています。



【居住年数別】

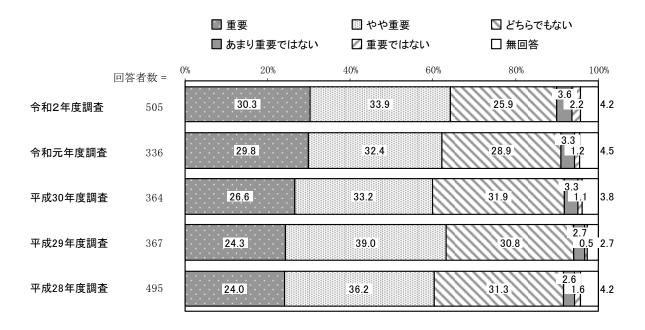
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"重要"の割合が高く、約7割となっています。



(6)地域と市民の元気づくり

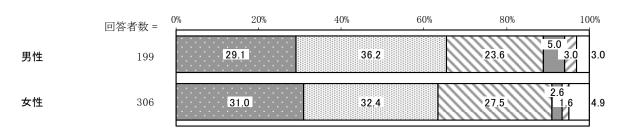
"重要"の割合が64.2%、"重要ではない"の割合が5.8%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 30 年度以降"重要"の割合が増加する傾向がみられます。



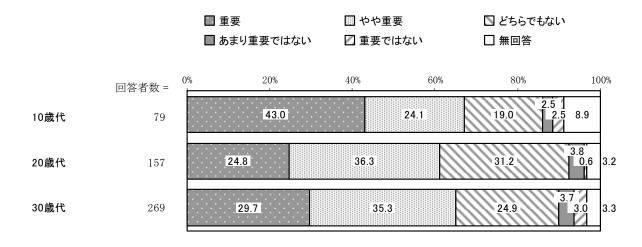
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



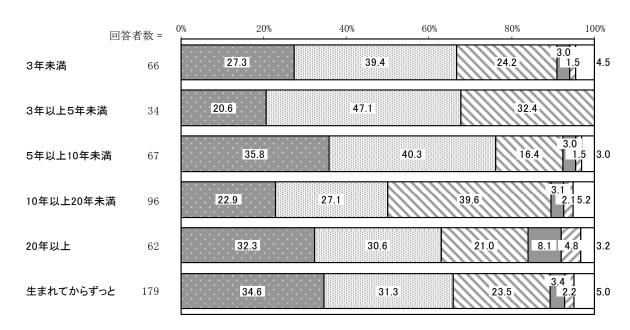
【年代別】

年代別でみると、10歳代、30歳代で"重要"の割合が高くなっており、6割台半ばとなっています。



【居住年数別】

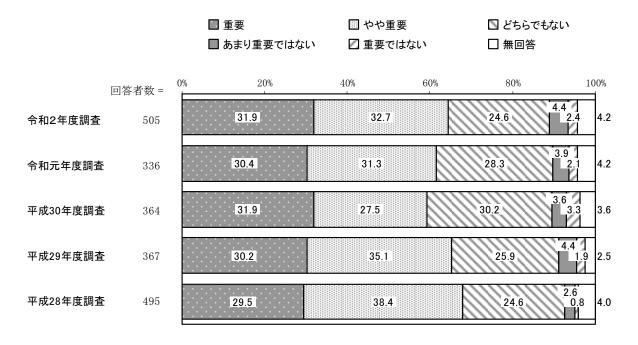
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で"重要"の割合が高く、7割台半ばとなっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

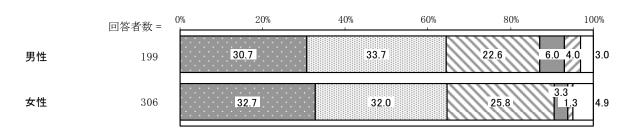
"重要"の割合が64.6%、"重要ではない"の割合が6.8%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度まで"重要"の傾向が減少する傾向にありましたが、以降は増加する傾向がみられます。



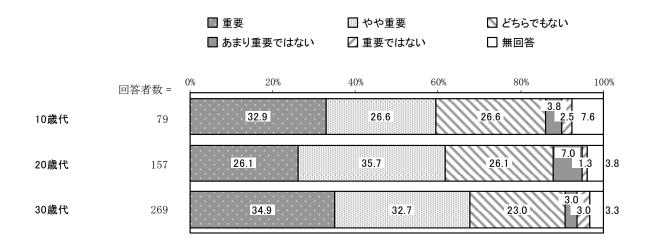
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"重要ではない"の割合が高く、1割となっています。



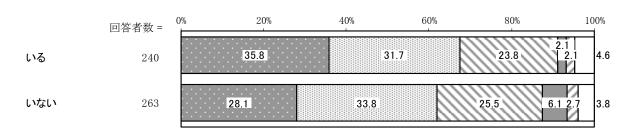
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ"重要"の割合が高くなっており、30歳代で約7割となっています。



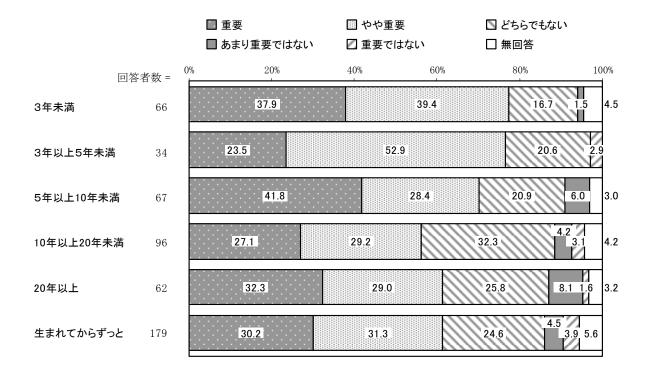
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"重要"の割合が高く、約7割となっています。



【居住年数別】

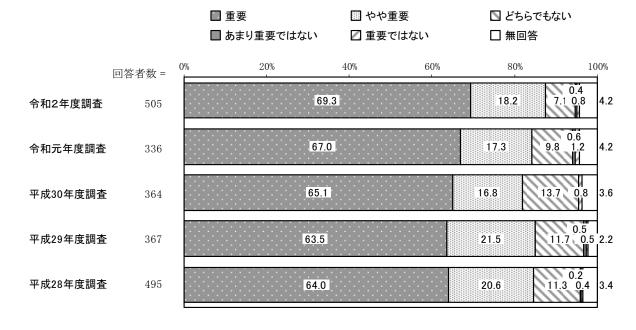
居住年数別でみると、居住年数が短くなるにつれ"重要"の割合が高くなる傾向がみられ、3年未満で7割台半ばとなっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

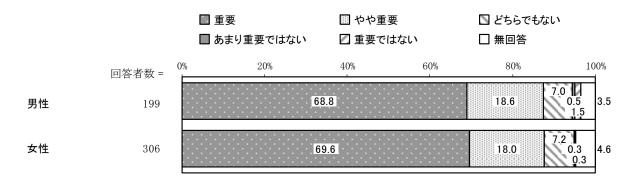
"重要"の割合が87.5%、"重要ではない"の割合が1.2%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降"重要"の割合が増加する傾向がみられます。



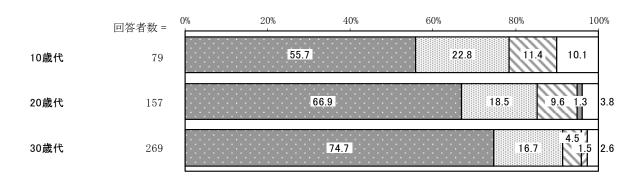
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



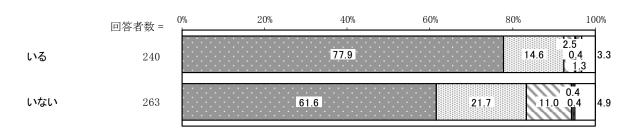
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ"重要"の割合が高くなっており、30歳代で約9割となっています。



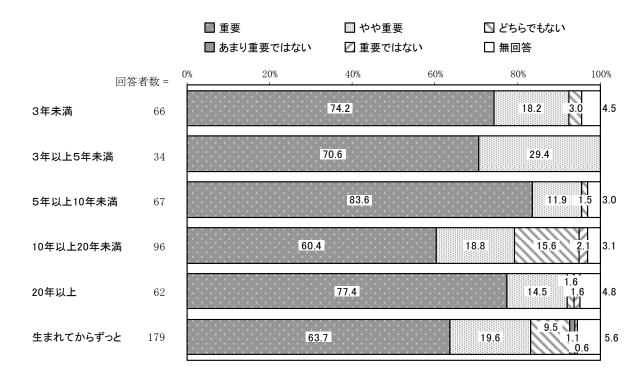
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"重要"の割合が高く、 9割台半ばとなっています。



【居住年数別】

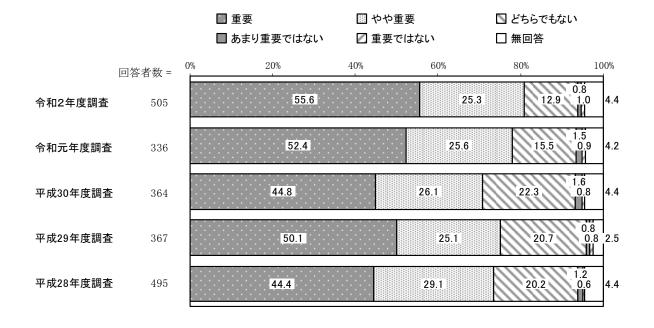
居住年数別でみると、10年以上に比べ、10年未満で"重要"の割合が高く、特に3年以上5年 未満では100.0%となっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

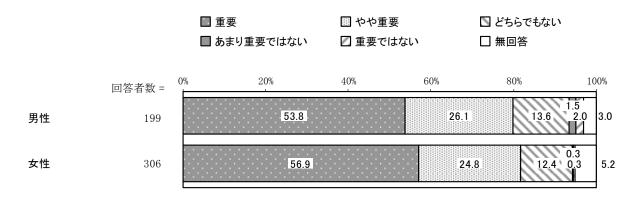
"重要"の割合が80.9%、"重要ではない"の割合が1.8%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 30 年度調査以降"重要"の割合が増加する傾向が みられます。



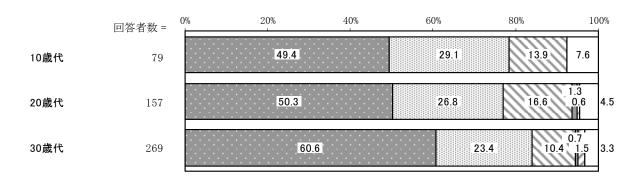
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



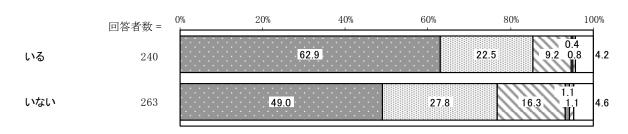
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で"重要"の割合が高く、8割台半ばとなっています。



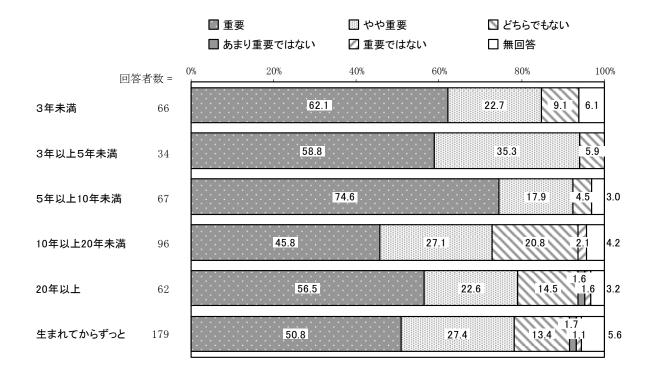
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"重要"の割合が高く、 8割台半ばとなっています。



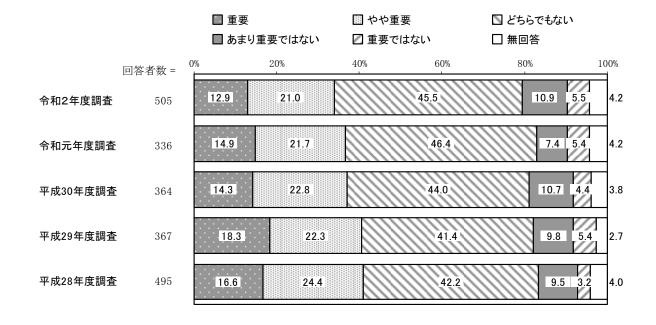
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、5年以上10年未満で"重要"の割合が高く、9割を超えています。



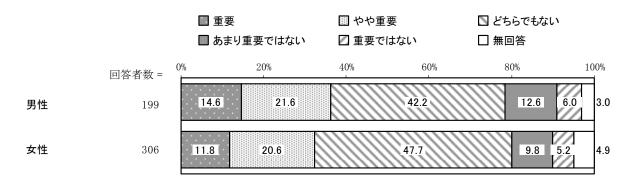
(10) 結婚への機会づくり

"重要"の割合が33.9%、"重要ではない"の割合が16.4%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、"重要"の割合が減少する傾向がみられます。



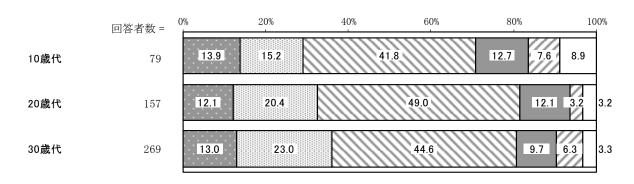
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



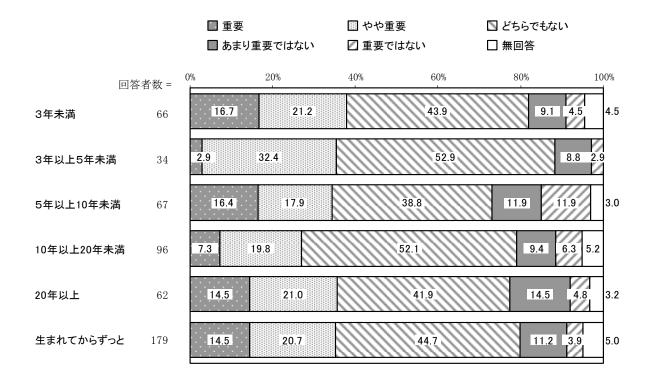
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ"重要"の割合が高くなっており、30歳代で3割台半ばとなっています。



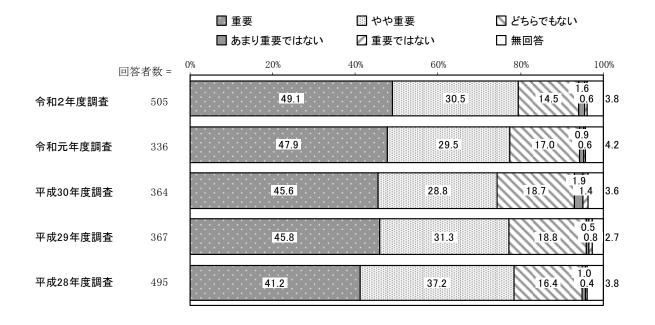
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で"重要"の割合が高く、約4割となっています。また、5年以上10年未満で"重要ではない"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



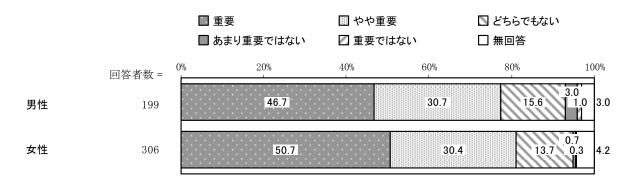
(11) 健康で暮らせる環境づくり

"重要"の割合が79.6%、"重要ではない"の割合が2.2%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、「重要」の割合が増加する傾向がみられます。



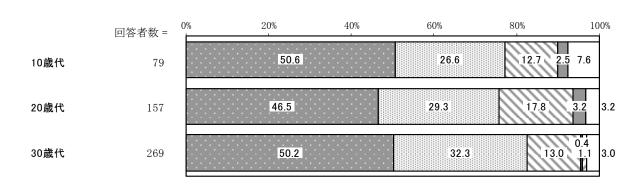
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

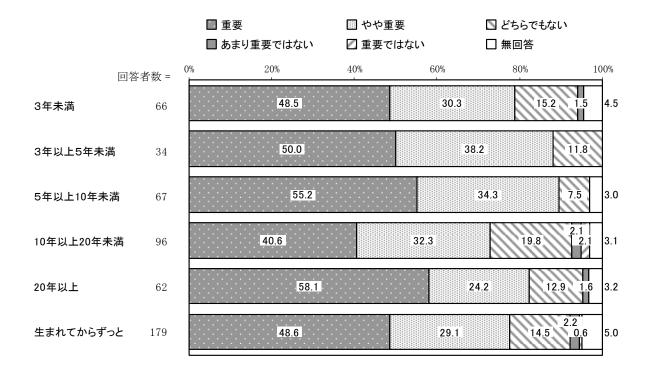


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で"重要"の割合が高く、8割台半ばとなっています。

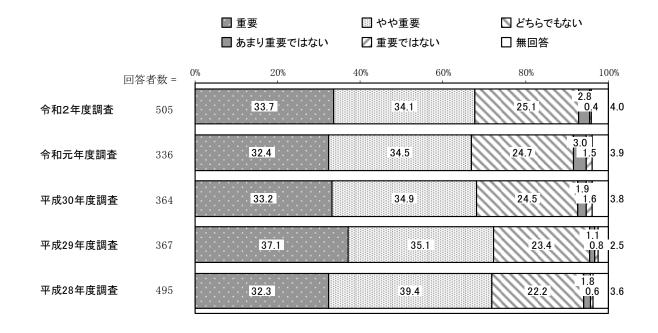


居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、5年以上10年未満で"重要"の割合が高く、約9割となっています。



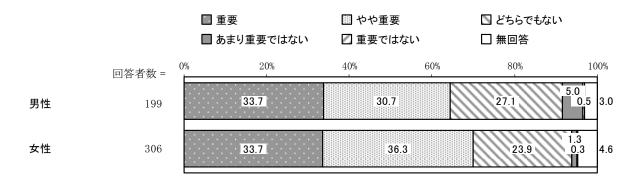
(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

"重要"の割合が67.8%、"重要ではない"の割合が3.2%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



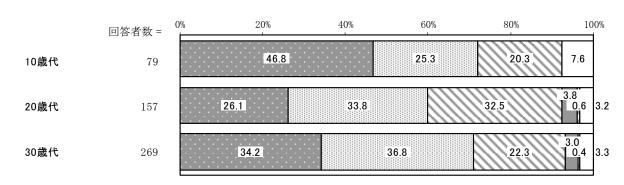
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で"重要"の割合が高く、7割となっています。

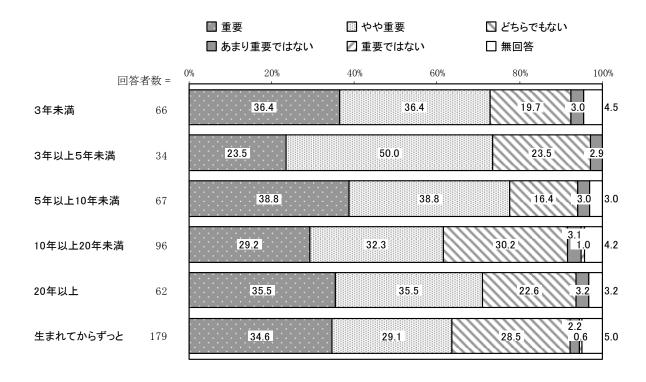


【年代別】

年代別でみると、20 歳代に比べ、10 歳代、30 歳代で"重要"の割合が高く、約7割となっています。



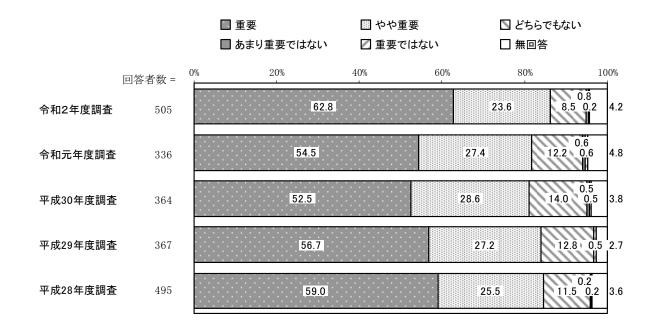
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で"重要"の割合が高く、約8割となっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

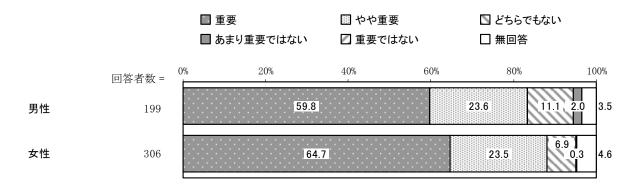
"重要"の割合が86.4%、"重要ではない"の割合が1.0%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降"重要"の割合が増加する傾向がみられます。



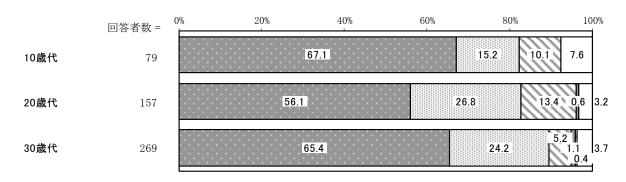
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

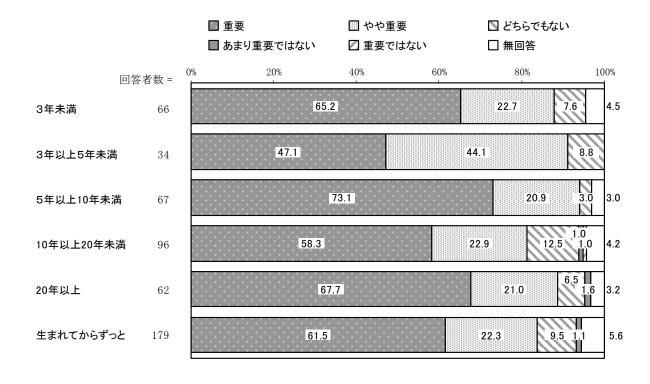


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で"重要"の割合が高く、約9割となっています。

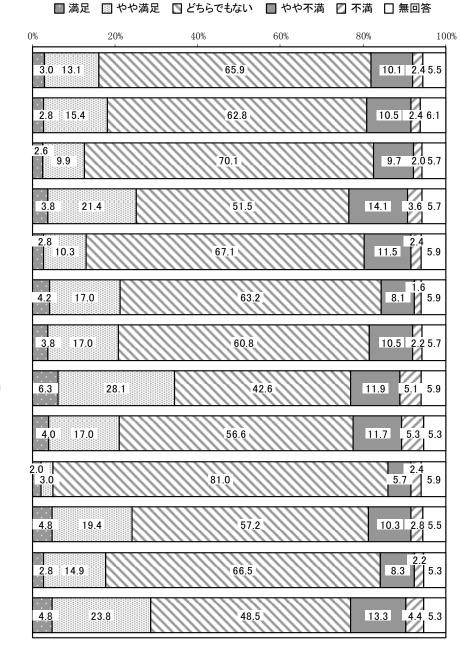


居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で"重要"の割合が高く、9割台半ばとなっています。



②満足度

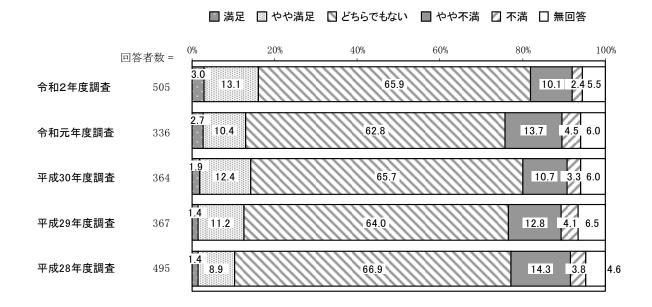
『(8) 安心して子育てできる環境づくり』で「満足」と「やや満足」をあわせた"満足"の割合が高く、3割台半ばとなっています。



- (1) 企業の誘致・拡張と活動の支援
- (2) 地域産業の活力づくり
- (3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築
- (4) 市の魅力の向上と発信
- (5) 定住・移住の促進
- (6) 地域と市民の元気づくり
- (7) 子どもたちのふるさとを愛する 心を育む
- (8) 安心して子育てできる環境づくり
- (9) 子どもの心に寄り添い、個々の 力を引き出し、伸ばす
- (10)結婚への機会づくり
- (11)健康で暮らせる環境づくり
- (12)支え合いにより地域で暮らせる 仕組みづくり
- (13)安心して暮らせる生活環境 づくり

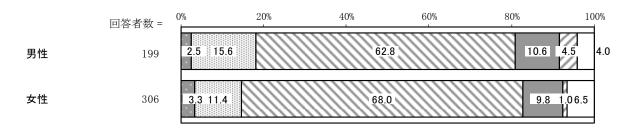
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

"満足"の割合が16.1%、"不満"の割合が12.5%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、"満足"の割合が増加する傾向がみられます。



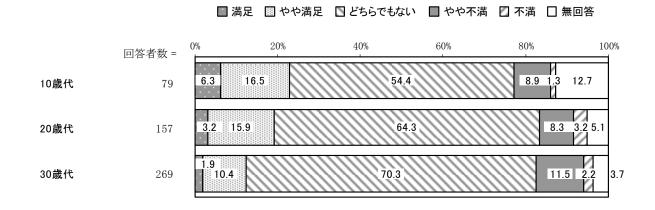
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



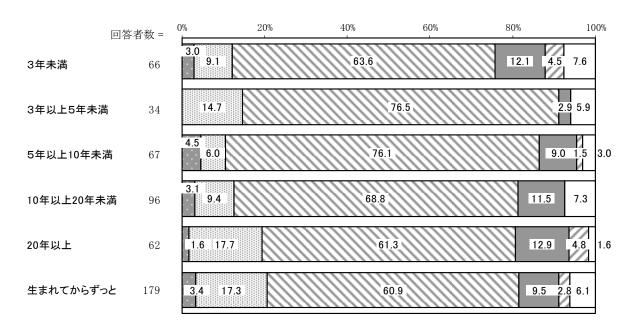
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ"満足"の割合が高くなっており、10歳代、20歳代で約 2割となっています。



【居住年数別】

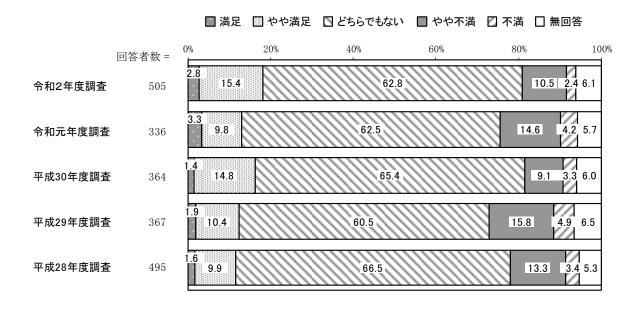
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで"満足"の割合が高く、約2割となっています。また、20年以上で"不満"の割合も高く、約2割となっています。



(2)地域産業の活力づくり

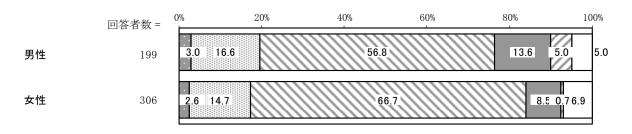
"満足"の割合が18.2%、"不満"の割合が12.9%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの"満足"の割合が増加する傾向がみられます。



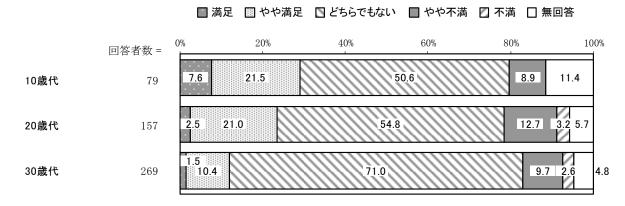
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"不満"の割合が高く、約2割となっています。



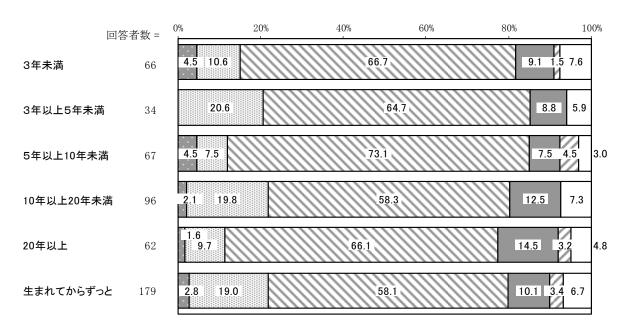
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ"満足"の割合が高くなっており、10歳代で約3割となっています。



【居住年数別】

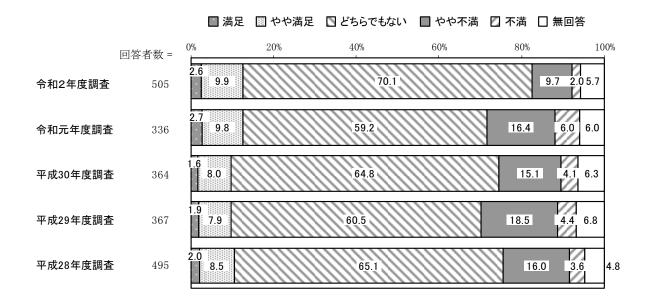
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、10年以上20年未満、生まれてからずっとで"満足"の割合が高く、約2割となっています。また、20年以上で"不満"の割合が高く、約2割となっています。



(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築

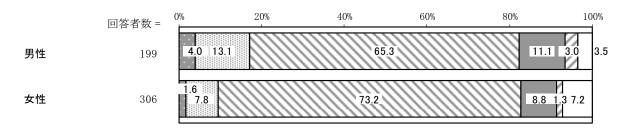
"満足"の割合が12.5%、"不満"の割合が11.7%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和2年度にかけて"不満"の割合が減少しています。



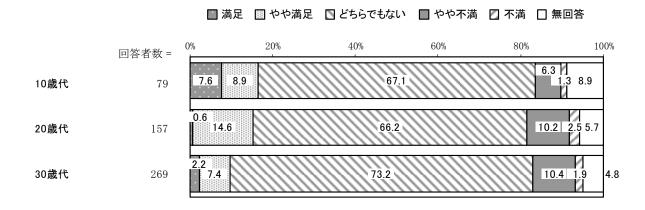
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"満足"の割合が高く、1割台半ばとなっています。



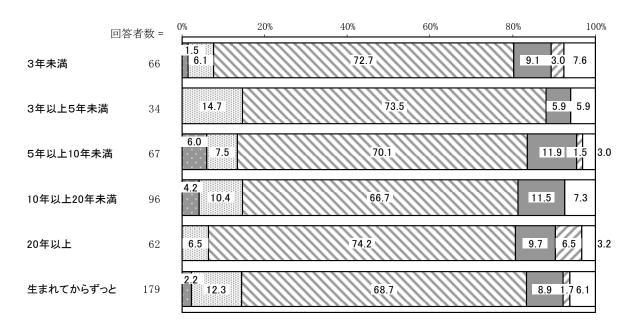
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ"満足"の割合が高くなっており、10歳代、20歳代で1割台半ばとなっています。



【居住年数別】

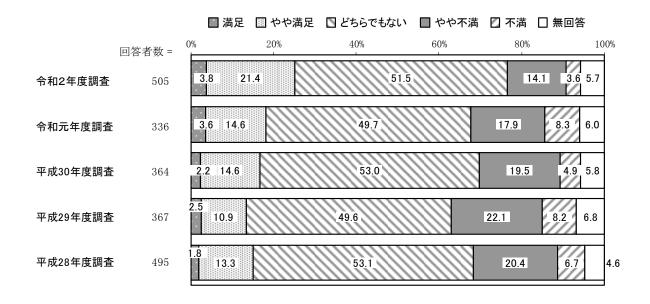
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満、生まれてからずっとで"満足"の割合が高く、1割を超えています。



(4) 市の魅力の向上と発信

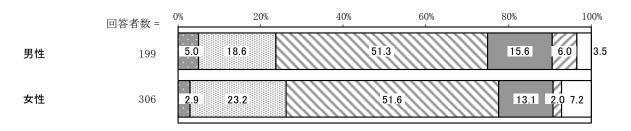
"満足"の割合が25.2%、"不満"の割合が17.7%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和2年度にかけて"満足"の割合が増加し、"不満"の割合が減少しています。



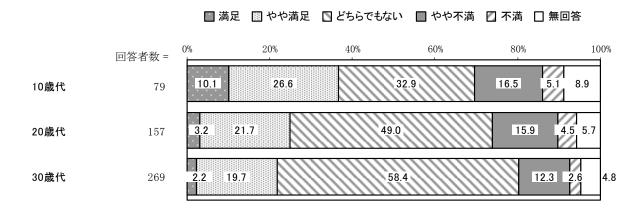
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で"不満"の割合が高く、約2割となっています。



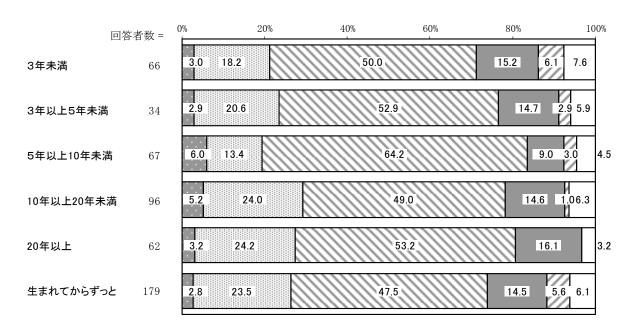
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ"満足"の割合が高く、10歳代で3割台半ばとなっています。



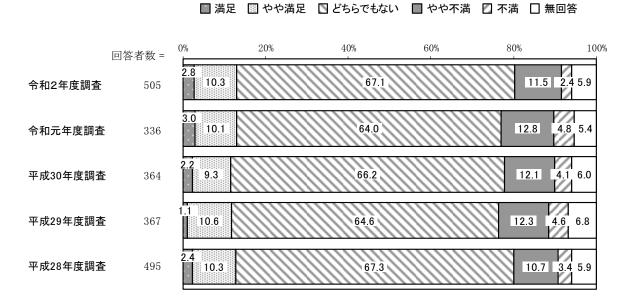
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で"満足"の割合が高く、約3割となっています。



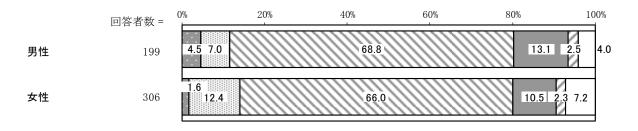
(5) 定住・移住の促進

"満足"の割合が13.1%、"不満"の割合が13.9%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



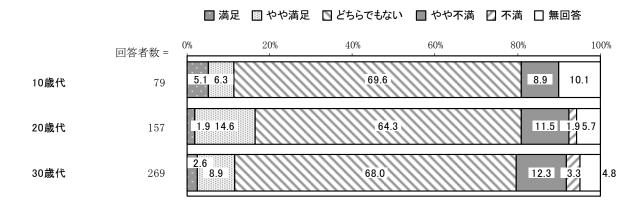
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



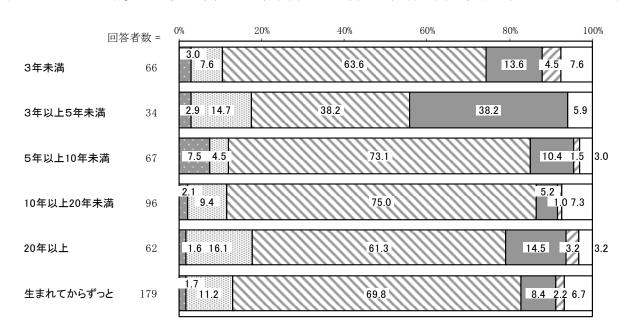
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20 歳代で"満足"の割合が高く、1割台半ばとなっています。



【居住年数別】

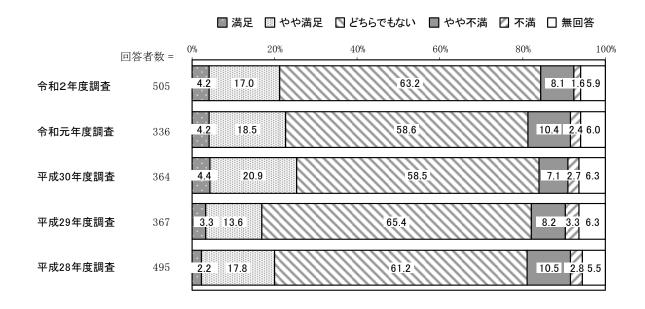
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、20年以上で"満足"の割合が高く、約2割となっています。また、3年以上5年未満で"不満"の割合が高く、約4割となっています。



(6)地域と市民の元気づくり

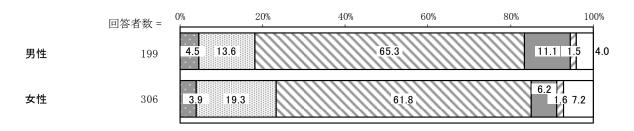
"満足"の割合が21.2%、"不満"の割合が9.7%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、"満足"の割合は平成30年度をピークに、以降減少する傾向がみられます。



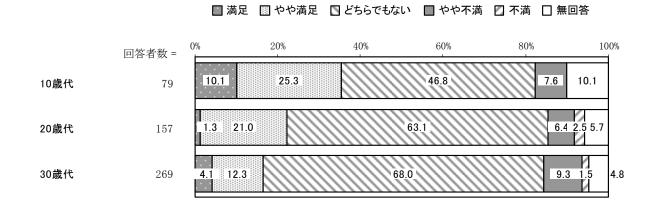
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で"満足"の割合が高く、2割を超えています。



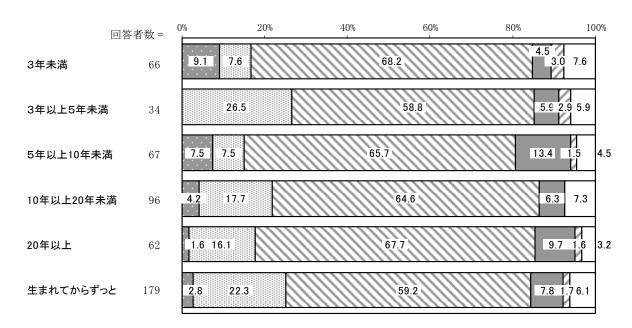
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ"満足"の割合が高くなっており、10歳代で3割台半ばとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、生まれてからずっとで"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、5年以上10年未満で"不満"の割合が高く、1割台半ばとなっています。



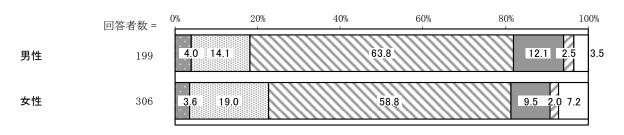
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

"満足"の割合が20.8%、"不満"の割合が12.7%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、"満足"の割合が緩やかに増加する傾向がみられます。



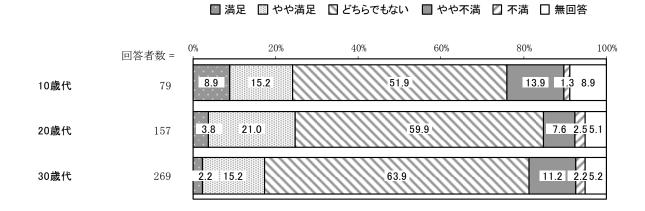
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



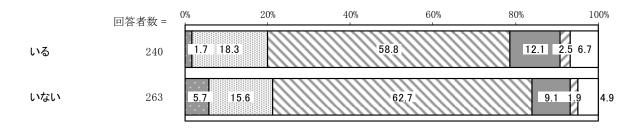
【年代別】

年代別でみると、30 歳代に比べ、10 歳代、20 歳代で "満足" の割合が高く、2割台半ばとなっています。

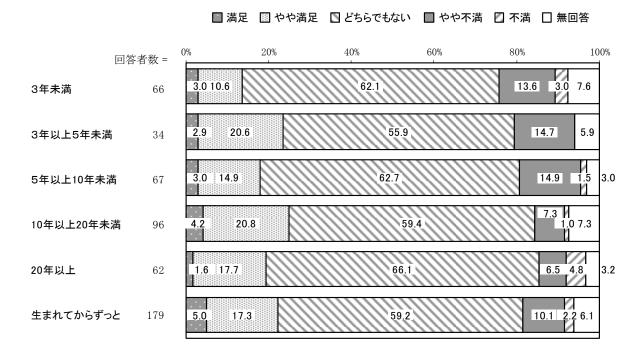


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



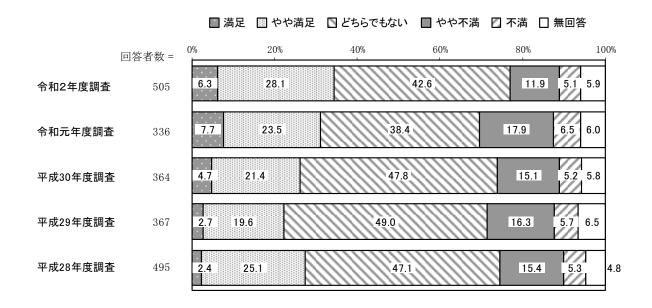
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

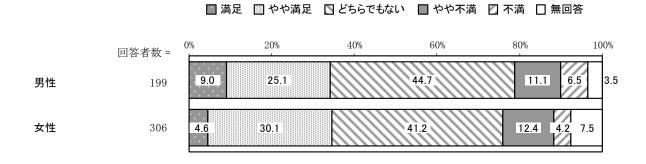
"満足"の割合が34.4%、"不満"の割合が17.0%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 29 年度以降 "満足"の割合が増加する傾向がみられます。



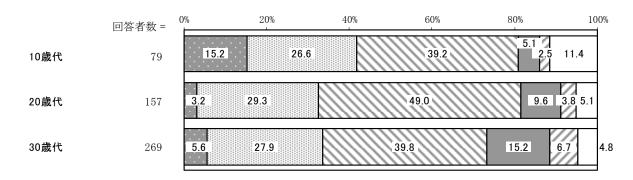
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



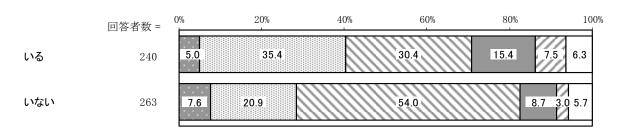
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ"不満"の割合が高くなっており、30歳代で約2割となっています。また、他の年代に比べ、10歳代で"満足"の割合が高く、約4割となっています。

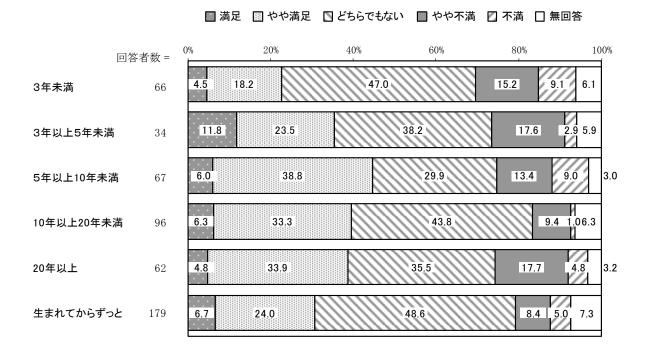


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"満足""不満"の割合がともに高くなっています。



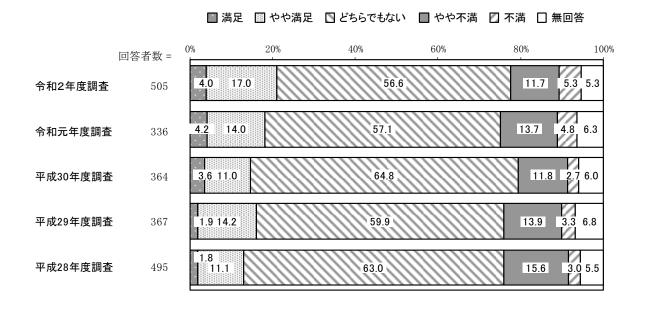
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で"満足"の割合が高く、4割台半ばとなっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

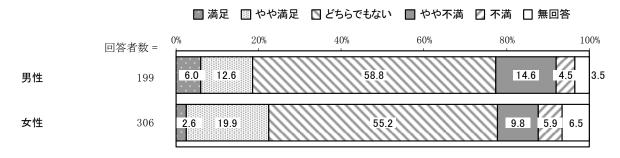
"満足"の割合が21.0%、"不満"の割合が17.0%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの"満足"の割合が高くなる傾向がみられます。



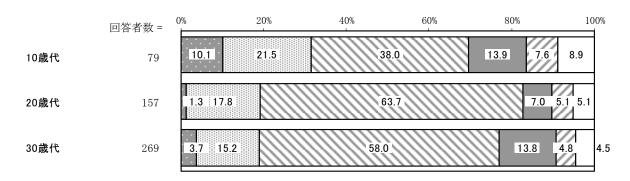
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



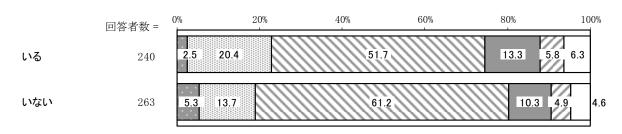
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で"満足"の割合が高く、約3割となっています。 また、10歳代、30歳代で"不満"の割合が高く、約2割となっています。

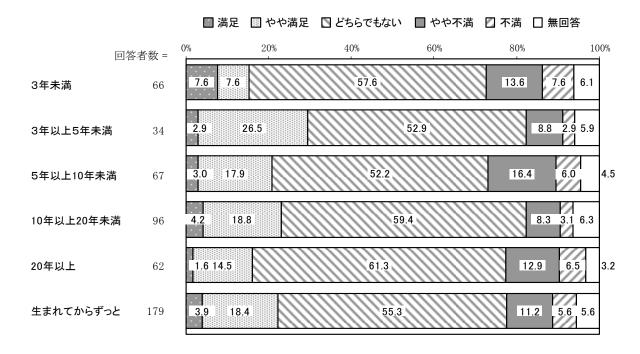


【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。

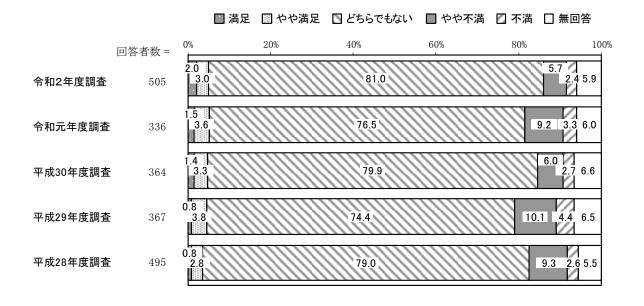


居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、約3割となっています。また、3年未満、5年以上10年未満、20年以上で"不満"の割合が高く、約2割となっています。



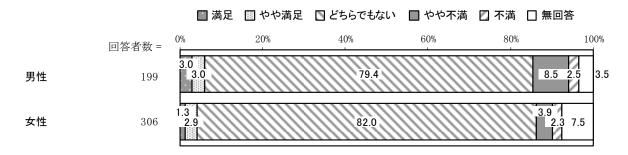
(10) 結婚への機会づくり

"満足"の割合が 5.0%、"不満"の割合が 8.1%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



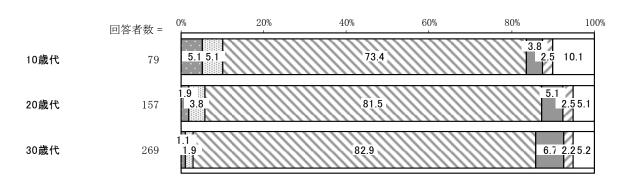
【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

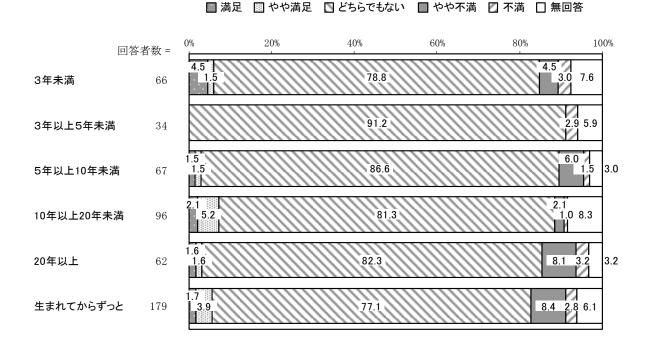


【年代別】

性別でみると、他の年代に比べ、10歳代で"満足"の割合が高く、約1割となっています。



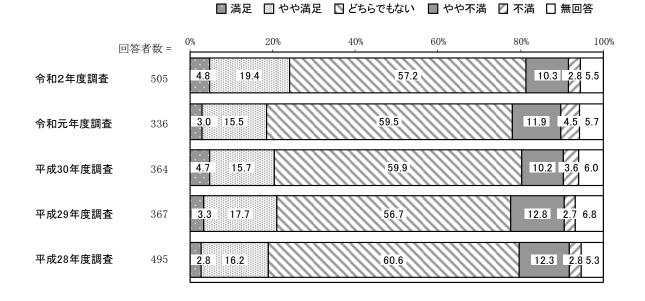
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで"不満"の割合が高く、約1割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

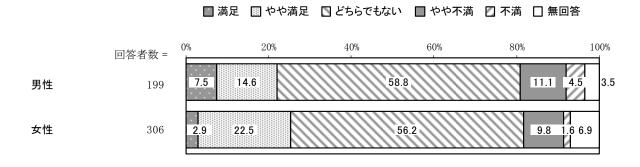
"満足"の割合が24.2%、"不満"の割合が13.1%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和2年度で"満足"の割合が増加しています。



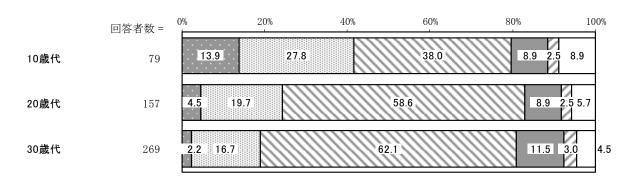
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

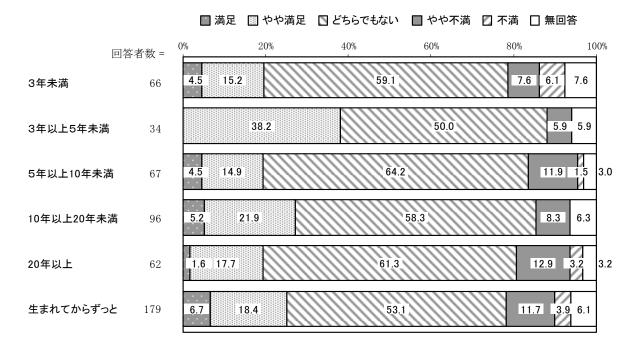


【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ"満足"の割合が高くなっており、10歳代で約4割となっています。



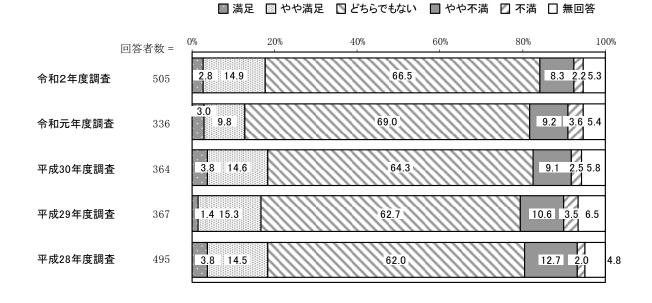
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で"満足"の割合が高く、約4割となっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

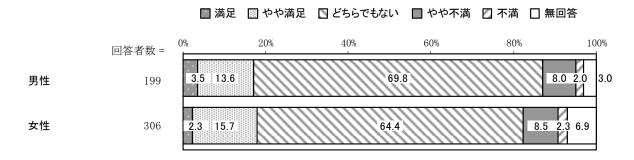
"満足"の割合が17.7%、"不満"の割合が10.5%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度に"満足"の割合が減少したものの、令和2年度には増加しています。



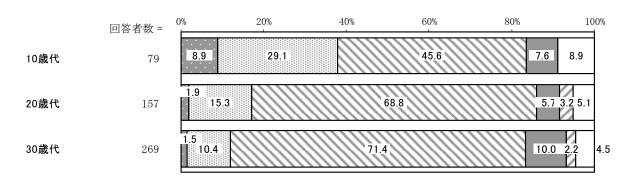
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

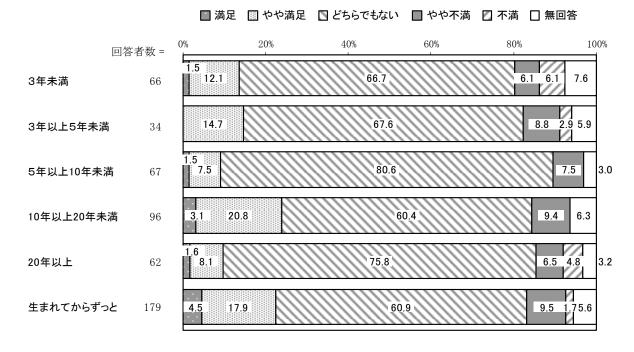


【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で"満足"の割合が高く、約4割となっています。



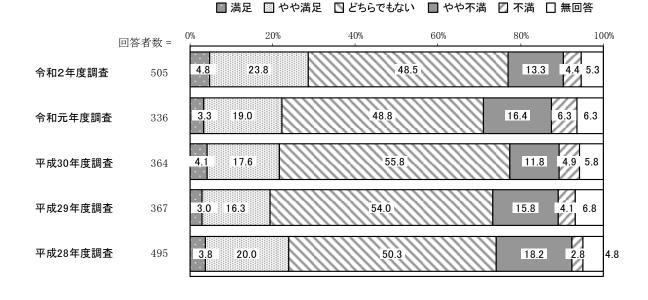
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で"満足"の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

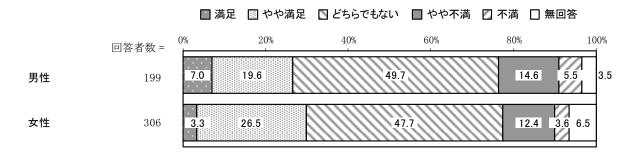
"満足"の割合が28.6%、"不満"の割合が17.7%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 29 年以降"満足"の割合が増加する傾向がみられます。



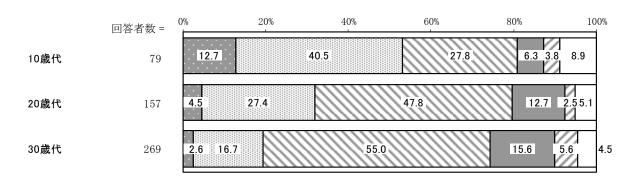
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

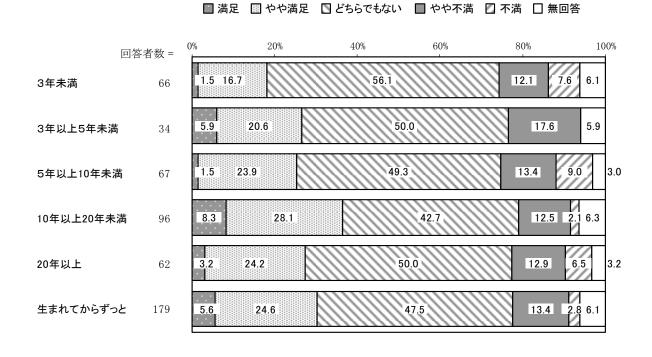


【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ"満足"の割合が、年代が上がるにつれ"不満"の割合が高くなっています。



居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で"満足"の割合が高く、3割台半ばとなっています。



208

【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

13項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度		得点
不満	\rightarrow	-2 点
やや不満	\rightarrow	-1 点
どちらでもない	\rightarrow	0 点
やや満足	\rightarrow	1 点
満足	\rightarrow	2 点
無回答	\rightarrow	計算対象外

重要度		得点
重要ではない	\rightarrow	-2 点
あまり重要ではない	\rightarrow	-1 点
どちらでもない	\rightarrow	0 点
やや重要	\rightarrow	1 点
重要	\rightarrow	2 点
無回答	\rightarrow	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数

- +1点×「やや満足(やや重要)」の回答数
 - +0点×「どちらでもない」の回答数
 - -1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数
 - -2点×「不満(重要ではない)」の回答数/無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

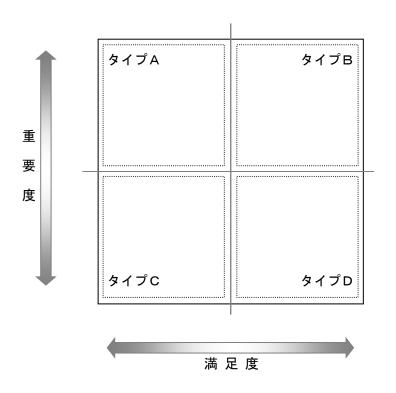
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名	特点	順刊工	行品	施策名
(8) 安心して子育てできる 環境づくり	0.20	第1位	1.62	(8) 安心して子育てできる 環境づくり
(6) 地域と市民の元気 づくり	0.15	第2位	1.54	(13)安心して暮らせる 生活環境づくり
(11)健康で暮らせる環境 づくり	0.14	第3位	1.40	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」 の好循環の構築	0.01	第 11 位	0.90	(6) 地域と市民の元気 づくり
(5) 定住・移住の促進	0.00	第 12 位	0.77	(5) 定住・移住の促進
(10)結婚への機会づくり	-0.04	最下位	0.26	(10)結婚への機会づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、 得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性に ついて分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が 高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA 満足度は低いが、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要な タイプ。

◆タイプC 満足度は低く、重要度も低い

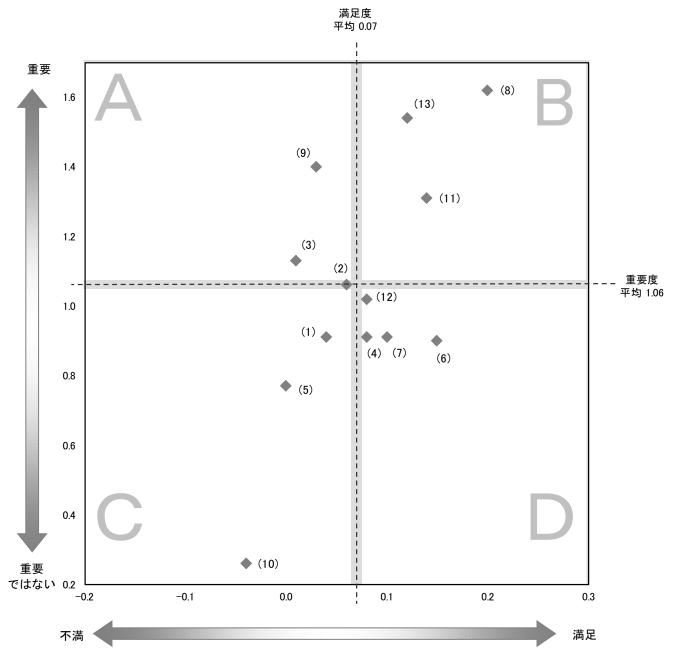
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検 証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が 必要。

◆タイプD 満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったもの が含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰 になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析(回答者数 = 505)

満足度が高く、重要度も高い施策 (タイプB) は、 $\mathbb{F}(8)$ 安心して子育てできる環境づくり $\mathbb{F}(11)$ 健康で暮らせる環境づくり $\mathbb{F}(13)$ 安心して暮らせる生活環境づくり $\mathbb{F}(13)$ となっています。



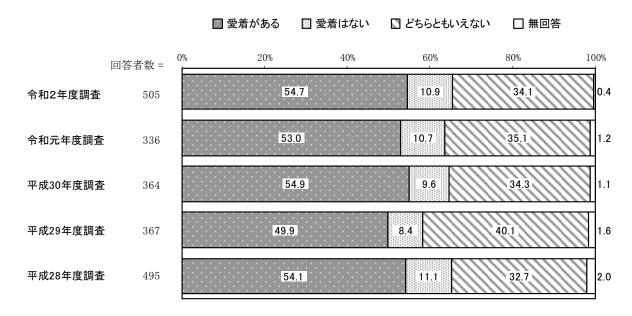
項目			
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり		
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす		
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10)結婚への機会づくり		
(4) 市の魅力の向上と発信	(11)健康で暮らせる環境づくり		
(5) 定住・移住の促進	(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり		
(6) 地域と市民の元気づくり	(13)安心して暮らせる生活環境づくり		
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む			

(4) 可児市のイメージについて

問 15 可児市に愛着はありますか。(〇は1つだけ)

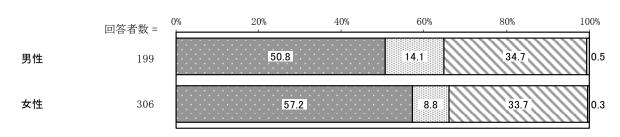
「愛着がある」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 34.1%、「愛着はない」の割合が 10.9%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成29年度に「愛着がある」の割合が減少したものの、 以降は5割超で推移しています。



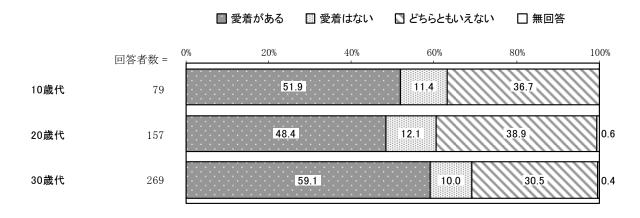
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「愛着はない」の割合が高く、1割台半ばとなっています。 また、男性に比べ、女性で「愛着がある」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



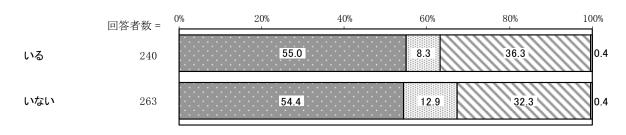
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



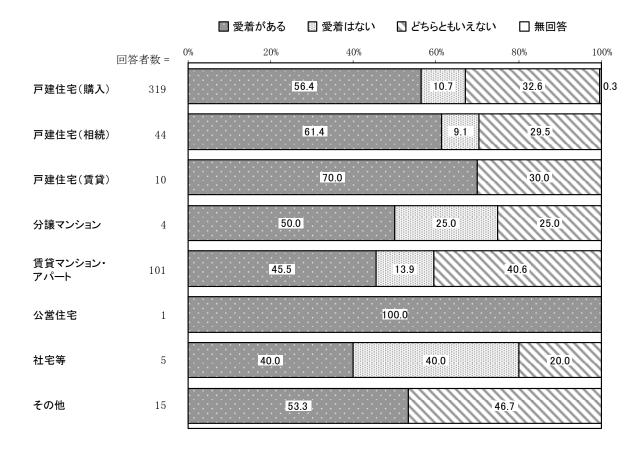
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



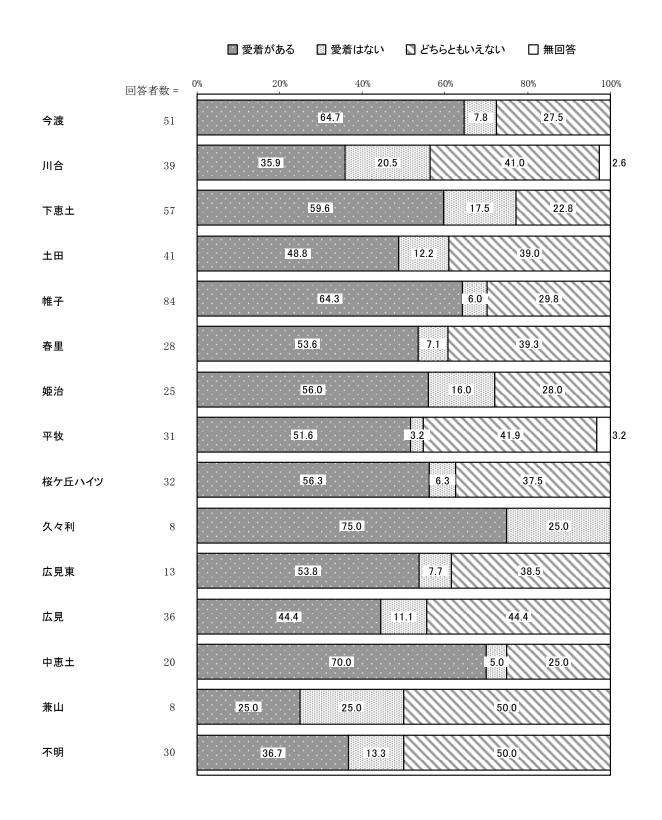
【住まいの形態別】

住まいの形態別でみると、他に比べ、戸建住宅(賃貸)で「愛着がある」の割合が高く、7割となっています。



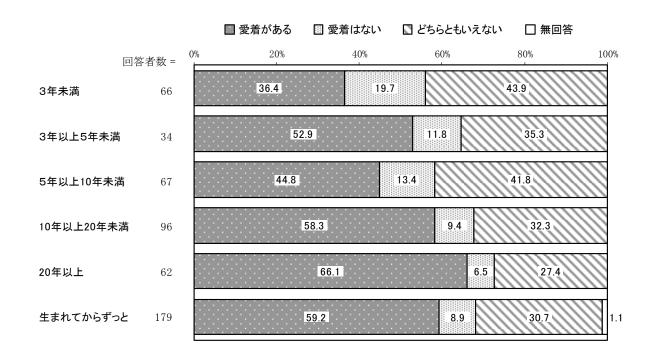
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、中恵土で「愛着がある」の割合が高く、7割となっています。また、川合、下恵土で「愛着はない」の割合が高く、約2割となっています。



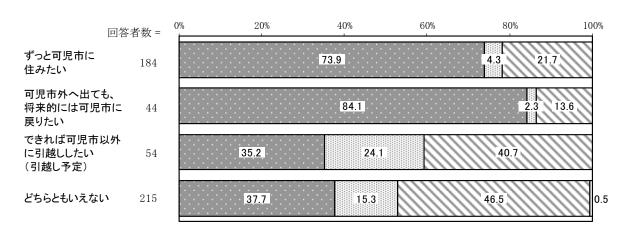
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、20年以上で6割台半ばとなっています。また、居住年数が短くなるにつれ「愛着はない」の割合が高くなっており、3年未満で約2割となっています。



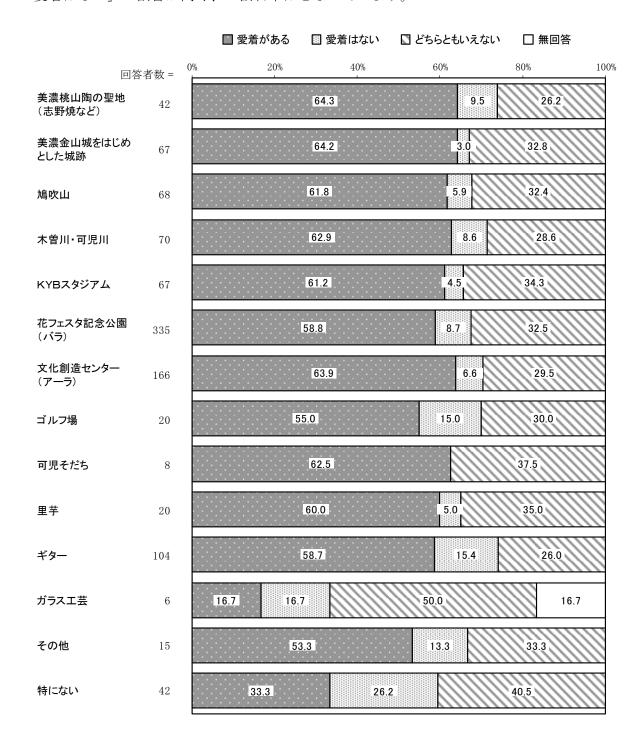
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたいで「愛着がある」の割合が高く8割台半ばとなっています。また、できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)で「愛着はない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、美濃桃山陶の聖地(志野焼など)、美濃金山城をは じめとした城跡で「愛着がある」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、特にないで 「愛着はない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。

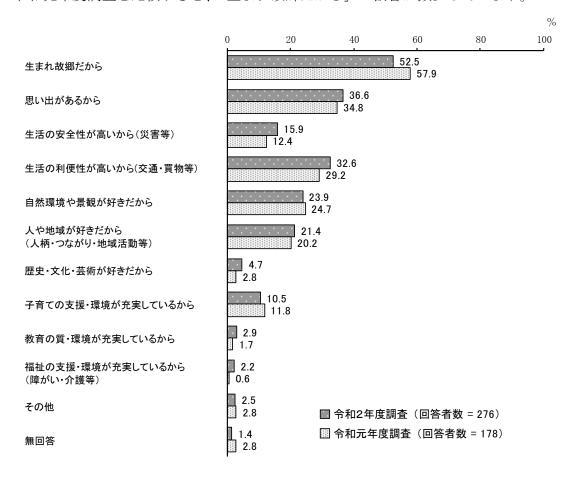


【問15で「愛着がある」を選択された方に伺います】

問 16 その理由は何ですか。(Oは3つまで)

「生まれ故郷だから」の割合が52.5%と最も高く、次いで「思い出があるから」の割合が36.6%、「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が32.6%となっています。

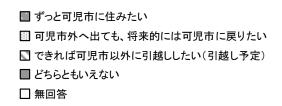
令和元年度調査と比較すると、「生まれ故郷だから」の割合が減少しています。

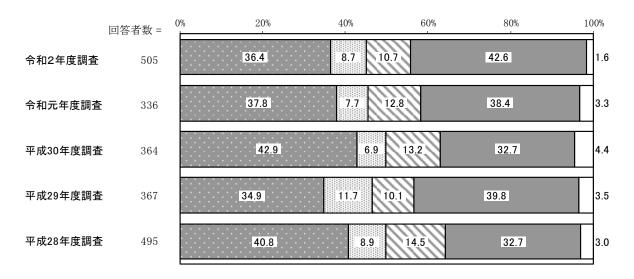


問 17 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(Oは 1 つだけ)

「どちらともいえない」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「ずっと可児市に住みたい」の割合が 36.4%、「できれば可児市以外に引越ししたい (引越し予定)」の割合が 10.7%となっています。

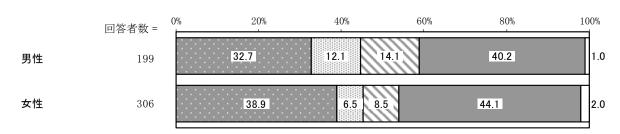
令和元年度以前の調査と比較すると、平成 30 年度以降「ずっと可児市に住みたい」の割合が減少する傾向がみられます。





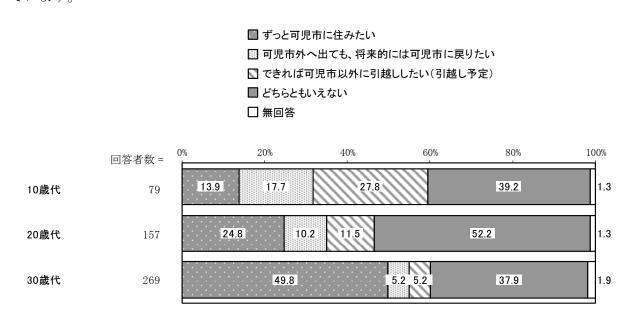
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」「できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約4割となっています。



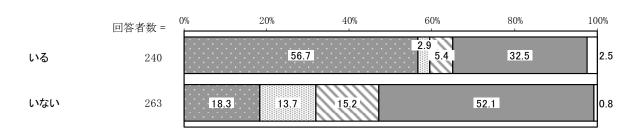
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなる傾向がみられ、30歳代で約5割となっています。また、年代が下がるにつれ「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」「できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)」の割合が高くなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」「できれば可児市以外に引越ししたい (引越し予定)」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

不明

居住地区別でみると、他の地区に比べ、今渡、下恵土、広見東で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、川合で「できれば可児市以外に引越ししたい (引越し予定)」の割合が高く、約3割となっています。

■ ずっと可児市に住みたい

■ 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい

■ できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定) ■ どちらともいえない □ 無回答 20% 80% 100% 40% 60% 回答者数 = 11.8 45.1 37.3 今渡 51 33.3 28.2 2.6 川合 39 45.6 8.8 35.1 3.5 下恵土 57 7.3 36.6 51.2 土田 41 41.7 44.0 帷子 84 25.0 25.0 21.4 3.6 春里 28 16.0 16.0 12.0 52.0 4.0 姫治 25 38.7 54.8 平牧 31 31.3 9.4 50.0 桜ケ丘ハイツ 32 久々利 8 25.0 25.0 50.0 46.2 広見東 38.5 7.7 13 広見 38.9 36 38.9 2.8 8.3 5.0 5.0 中恵土 40.0 50.0 20 25.0 兼山 50.0 8

50.0

3.3

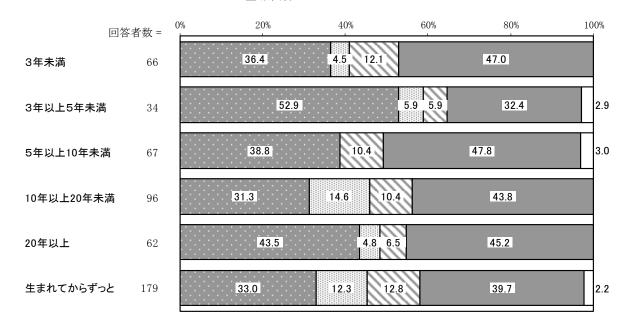
30.0

30

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

■ ずっと可児市に住みたい■ 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい■ できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)■ どちらともいえない□ 無回答

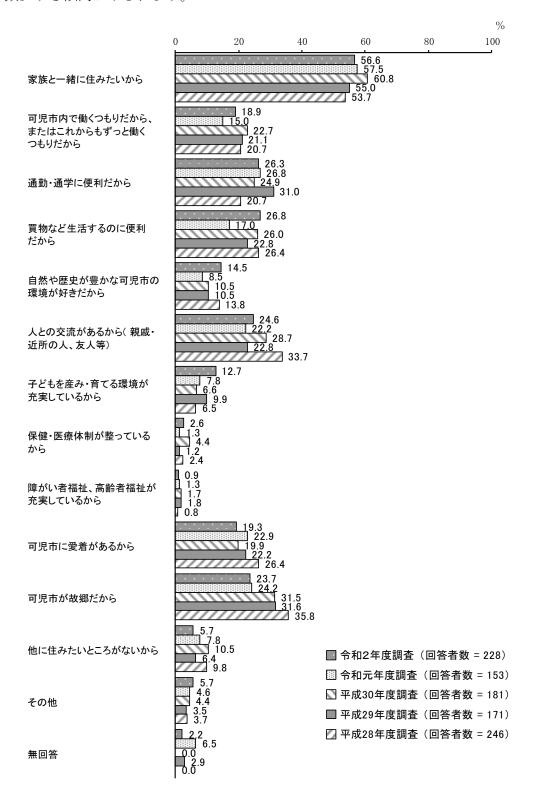


【問 17 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい)を選択された方に伺います】

問 18 その理由は何ですか。(Oは3つまで)

「家族と一緒に住みたいから」の割合が56.6%と最も高く、次いで「買物など生活するのに便利だから」の割合が26.8%、「通勤・通学に便利だから」の割合が26.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が減少する傾向がみられます。



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族と一緒に住みたいから」「買物など生活するのに便利だから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから、または可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	いるから子どもを産み・育てる環境が充実して	保健・医療体制が整っているから	いるから障がい者福祉、高齢者福祉が充実して	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	89	51. 7	21.3	29. 2	20. 2	15. 7	13. 5	7. 9	3. 4	1. 1	24. 7	29. 2	4. 5	9. 0	2. 2
女性	139	59. 7	17.3	24. 5	30. 9	13. 7	31. 7	15. 8	2. 2	0.7	15.8	20. 1	6. 5	3. 6	2. 2

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「家族と一緒に住みたいから」「通勤・通学に便利だから」の割合が、年代が下がるにつれ「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。また、10歳代に比べ、20歳代、30歳代で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高く、約3割となっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから、または可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等)人との交流があるから	いるから子どもを産み・育てる環境が充実して	保健・医療体制が整っているから	いるから 障がい者福祉、高齢者福祉が充実して	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10 歳代	25	44.0	20.0	20.0	12. 0	24.0	28.0	_	8.0		36. 0	40.0	12.0	4. 0	4. 0
20 歳代	55	47.3	18. 2	25. 5	29. 1	5. 5	16. 4	20.0	_	1.8	27. 3	25. 5	3. 6	3. 6	1.8
30 歳代	148	62. 2	18.9	27. 7	28. 4	16. 2	27. 0	12. 2	2.7	0.7	13. 5	20. 3	5. 4	6.8	2. 0

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから、または可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	いるから 子どもを産み・育てる環境が充実して	保健・医療体制が整っているから	いるから 障がい者福祉、高齢者福祉が充実して	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	143	61.5	17.5	25. 9	28.0	14. 0	28.0	18. 2	2.8	_	13. 3	18. 9	6. 3	4. 2	2. 1
いない	84	48.8	21. 4	27. 4	25. 0	15. 5	19. 0	3. 6	2.4	2.4	29.8	32. 1	4.8	8. 3	1. 2

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、平牧、桜ケ丘ハイツで「家族と一緒に住みたいから」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、広見で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

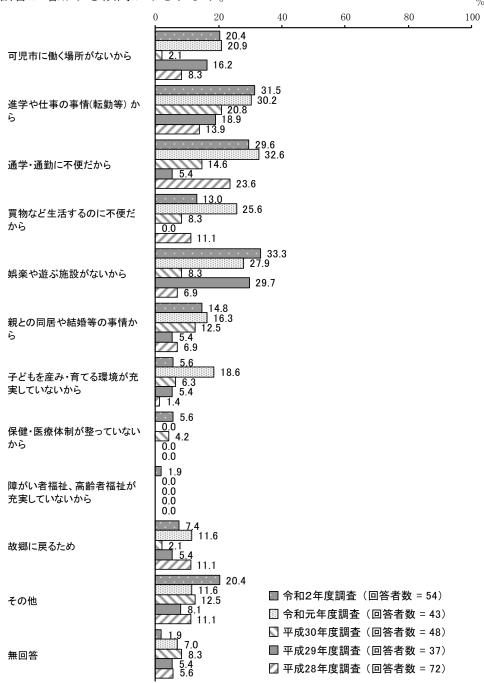
単位:%

区分	回答者数(件)	家族と一緒に住みたいから	これからもずっと働くつもりだから可児市内で働くつもりだから、または	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	いるから子どもを産み・育てる環境が充実して	保健・医療体制が整っているから	いるから障がい者福祉、高齢者福祉が充実して	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	29	58.6	13. 8	31.0	37. 9	17. 2	31.0	6. 9	3. 4	_	20. 7	31. 0	10. 3	3. 4	-
川合	14	50.0	14. 3	35. 7	28.6	28. 6	7. 1	14. 3	7. 1		7. 1	14. 3	14. 3	21. 4	1
下恵土	31	58. 1	38. 7	32. 3	38. 7	9. 7	9. 7	12. 9	_	_	22.6	22.6	_	_	3. 2
土田	18	61. 1	16. 7	38. 9	22. 2	16. 7	16. 7	22. 2	_	_	11. 1	22. 2	11. 1	_	_
帷子	41	56. 1	24. 4	26.8	12. 2	14. 6	34. 1	4. 9	2. 4	4. 9	19. 5	19. 5		12. 2	4. 9
春里	13	53.8	15. 4		15. 4	15. 4	23. 1	7. 7	1		23. 1	23. 1	7. 7	15. 4	
姫治	7	42.9	14. 3	14. 3	14. 3	42. 9	28.6	28.6	l		42. 9	28. 6			
平牧	13	76. 9		15. 4	30.8	23. 1	46. 2	15. 4	7. 7	_	7. 7	7. 7	15. 4		_
桜ケ丘ハイツ	13	76. 9	7. 7	15. 4	15. 4	7. 7	38. 5	38. 5		_	7. 7	46. 2	_	_	_
久々利	4	75.0	25. 0	25. 0	25.0	1	25.0		_		25. 0	75. 0	_	_	_
広見東	6	33. 3	16. 7	33. 3	16. 7	_	16. 7	_	_	_	16. 7	16. 7	16. 7	_	33. 3
広見	17	47. 1	17. 6	41.2	47. 1	5. 9	23. 5	5. 9	_	_	29. 4	11.8	5. 9	5. 9	_
中恵土	9	44. 4	_	22. 2	33. 3	11. 1	22. 2	22. 2	_	_	11. 1	33. 3	_	11. 1	_
兼山	2	100.0	_	_	_	_	50.0	50.0	_	_	_	_	_	_	_
不明	9	44. 4	33. 3	11. 1	22. 2	_	11. 1	11. 1	11. 1	_	33. 3	22. 2	11. 1	_	_

【問17で3(できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定))を選択された方に伺います】

問 19 その理由は何ですか。(Oは3つまで)

「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が33.3%と最も高く、次いで「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が31.5%、「通学・通勤に不便だから」の割合が29.6%となっています。



※平成30年度以前の調査は単数回答でした。

【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「通学・通勤に不便だから」「買物など生活するのに不便だから」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	不便だから買物など生活するのに	娯楽や遊ぶ施設がないから	事情から親との同居や結婚等の	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
男性	28	25. 0	35. 7	21. 4	7. 1	42.9	14. 3	1	7. 1	_	3.6	21. 4	3.6
女性	26	15. 4	26.9	38. 5	19. 2	23. 1	15. 4	11.5	3.8	3.8	11.5	19. 2	_

【年代別】

年代別では、年代が下がるにつれ「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「通学・通勤に不便だから」の割合が、30歳代で「親との同居や結婚等の事情から」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	不便だから買物など生活するのに	娯楽や遊ぶ施設がないから	事情から親との同居や結婚等の	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
10 歳代	22	31.8	59. 1	40.9	4. 5	36. 4	4. 5	_	_	_	_	9. 1	_
20 歳代	18	22. 2	16. 7	16. 7	22. 2	38. 9	5. 6	11. 1	11. 1	5. 6	16. 7	22. 2	5. 6
30 歳代	14	_	7. 1	28. 6	14. 3	21. 4	42. 9	7. 1	7. 1	_	7. 1	35. 7	_

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「親との同居や結婚等の事情から」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	不便だから買物など生活するのに	娯楽や遊ぶ施設がないから	事情から親との同居や結婚等の	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
いる	13	7. 7	_	15. 4	15. 4	15. 4	23. 1	15. 4	7. 7	-	7. 7	46. 2	7. 7
いない	40	22. 5	42.5	32. 5	12.5	37.5	12.5	2.5	5. 0	2.5	7. 5	12.5	_

【居住地区別】

居住地区別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

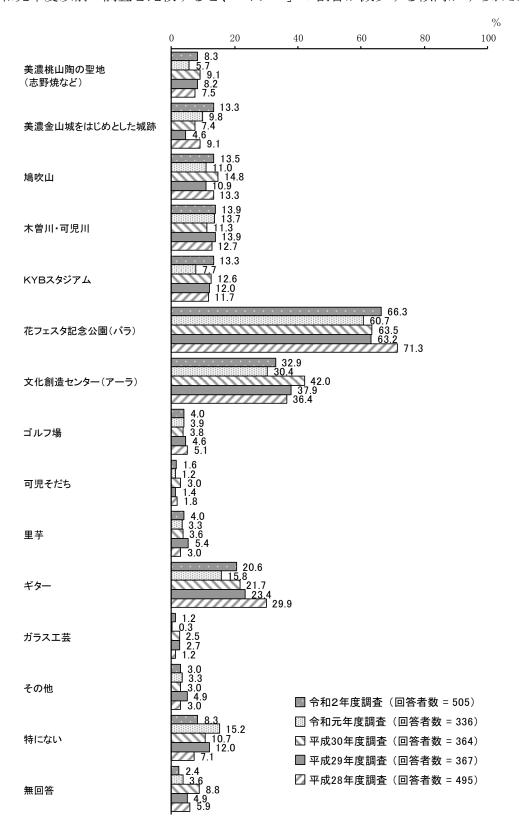
単位:%

区分	回答者数(件)	可児市に働く場所がないから	から 進学や仕事の事情(転勤等)	通学・通勤に不便だから	不便だから買物など生活するのに	娯楽や遊ぶ施設がないから	事情から親との同居や結婚等の	充実していないから子どもを産み・育てる環境が	いないから保健・医療体制が整って	充実していないから 障がい者福祉、高齢者福祉が	故郷に戻るため	その他	無回答
今渡	3	_	33. 3	-	33. 3	1	33. 3	33. 3	33. 3	-	1	_	1
川合	11	9. 1	18. 2	18. 2	9. 1	27. 3	45. 5	9. 1	9. 1	_	27. 3	27.3	_
下恵土	4	-	25.0	25.0	25.0	50.0	-		-	_	25. 0	_	_
土田	2		50.0	100.0			50.0			_	_	_	_
帷子	6	16. 7	83.3	16. 7		16. 7				_	_	16.7	_
春里	7	42.9	28.6	28.6		28.6		_		_	_	14. 3	14. 3
姫治	4	50.0	50.0	25.0	_	50.0	_	_	25. 0	_	_	25.0	_
平牧	1	_	100.0	-		_		_		_	_	_	_
桜ケ丘ハイツ	3	66. 7	_	100.0	33. 3	100.0	_	_	_	_	_	_	_
久々利	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
広見東	1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	100.0	
広見	4	25. 0	25.0	25. 0	25. 0	25. 0	25. 0	_	_	25. 0	_	25. 0	_
中恵土	1	_	_	_	100.0	100.0	_	_	_	_	_	_	
兼山	2	_	_	_	_	50.0	_	_	_	_	_	50.0	_
不明	5	20.0	20.0	60.0	20.0	40.0	_	20.0	_	_	_	40.0	_

問 20 可児市の自慢できる地域資源(観光施設・特産品など)はどれだと思いますか。 (〇は3つまで)

「花フェスタ記念公園 (バラ)」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「文化創造センター (アーラ)」の割合が 32.9%、「ギター」の割合が 20.6%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、「ギター」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「木曽川・可児川」「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園(バラ)」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	(志野焼など)	した城跡	鳩 <u>吹</u> 山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	(バラ)花フェスタ記念公園	(アーラ) 文化創造センター	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
男性	199	8.0	12. 1	15. 1	17. 6	18. 1	59. 3	33. 2	3. 5	1.0	3. 0	18. 6	1.0	4. 0	11. 1	2. 5
女性	306	8.5	14. 1	12.4	11.4	10. 1	70.9	32. 7	4. 2	2.0	4. 6	21. 9	1.3	2. 3	6. 5	2. 3

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「美濃金山城をはじめとした城跡」「鳩吹山」の割合が、 年代が下がるにつれ「文化創造センター (アーラ)」の割合が高くなっています。また、他の年代 に比べ、10歳代で「KYBスタジアム」「ギター」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	(志野焼など)	した城跡 美濃金山城をはじめと	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	(バラ) 花フェスタ記念公園	文化創造センター	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
10 歳代	79	12. 7	6. 3	5. 1	11.4	24. 1	53. 2	46.8	_	3.8	2. 5	30. 4	3.8	1. 3	8.9	2. 5
20 歳代	157	7.0	10.8	9.6	12.7	10.8	69.4	36. 3	5. 1	0.6	5. 7	19. 7		3. 2	7.0	2. 5
30 歳代	269	7.8	16. 7	18. 2	15. 2	11. 5	68. 4	26.8	4. 5	1.5	3. 3	18. 2	1. 1	3. 3	8.9	2. 2

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、広見東で「花フェスタ記念公園 (バラ)」の割合が高く、約9割となっています。また、今渡で「文化創造センター (アーラ)」の割合が、川合、春里で「ギター」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	(志野焼など)	した城跡 美濃金山城をはじめと	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	(バラ) 花フェスタ記念公園	文化創造センター	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
今渡	51	7.8	11.8	9.8	15. 7	5. 9	64. 7	49. 0	2. 0	_	2.0	21.6	2.0	3. 9	9.8	2.0
川合	39	5. 1	17.9	17.9	10.3	7. 7	69. 2	33. 3	7. 7	ı	5. 1	30.8	l	7. 7	7. 7	5. 1
下恵土	57	1.8	10.5	12.3	17.5	19. 3	64. 9	35. 1	3. 5	5. 3	8.8	26. 3	l	1.8	8.8	1.8
土田	41	4.9	17. 1	22.0	29.3	4. 9	56. 1	22. 0	2. 4	1	7.3	19.5	2.4	2.4	9.8	_
帷子	84	9.5	10.7	25. 0	14. 3	21. 4	60. 7	32. 1	4.8	3. 6	1. 2	23.8	l	1. 2	7. 1	1. 2
春里	28	3.6	3.6	3.6	3.6	21. 4	53. 6	39. 3	_	_	_	32. 1	_	_	17.9	_
姫治	25	8.0	8.0	4.0	8.0	8. 0	76. 0	32. 0	4.0	_	4.0	24.0	-	8.0	8.0	4.0
平牧	31	6.5	22.6	19.4	9. 7	12.9	74. 2	29. 0	3. 2	_	12.9	19.4	3. 2	3.2	6.5	3. 2
桜ケ丘ハイツ	32	21.9	15.6	6.3	15. 6	9. 4	81. 3	34. 4	_	3. 1	6.3	6.3	_	_	3. 1	3. 1
久々利	8	25.0	12.5	_	_	_	75. 0	50.0	12. 5	_	_	12.5	_	12.5	_	_
広見東	13	7.7	15. 4	_	_	23. 1	92. 3	23. 1	_	_	_	7. 7	_	_	7.7	_
広見	36	13. 9	16. 7	16. 7	19.4	8. 3	69. 4	25. 0	11. 1	_	_	13. 9	2.8	2.8	8.3	2.8
中恵土	20	15.0	10.0	5.0	20.0	15.0	75. 0	35. 0	_	_	_	5.0	5.0	10.0	5.0	_
兼山	8	_	50.0	_	_	12. 5	50.0	37. 5	_	_	_	12.5	_	_	_	12. 5
不明	30	6.7	6. 7	6.7	6.7	13. 3	60.0	16. 7	3. 3	3. 3	3. 3	20.0	3.3	_	13.3	6. 7

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で「花フェスタ記念公園 (バラ)」「文化 創造センター (アーラ)」の割合が高くなっています。また、生まれてからずっとで「ギター」の 割合が高くなっています。

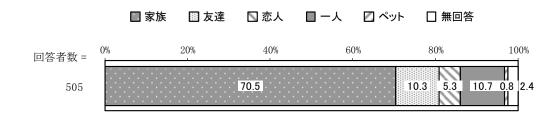
単位:%

区分	回答者数(件)	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曽川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園(バラ)	文化創造センター(アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
3年未満	66	6. 1	12. 1	12. 1	22. 7	10.6	69. 7	21. 2	7. 6	1. 5	7. 6	10.6	1.5	7. 6	9. 1	_
3年以上5年未満	34	2. 9	20.6	23. 5	17. 6	8.8	61.8	26. 5	5. 9			11.8	-	2. 9	11.8	2. 9
5年以上 10 年未満	67	6.0	16. 4	10. 4	14. 9	16. 4	62. 7	31. 3	7. 5	3. 0	l	14. 9	l	3.0	10.4	3. 0
10 年以上 20 年未満	96	12.5	13. 5	11. 5	13. 5	14. 6	75. 0	37. 5		2. 1	4. 2	22. 9	1.0	1.0	4. 2	3. 1
20 年以上	62	8. 1	17. 7	14. 5	11. 3	12. 9	67. 7	30.6		1. 6	3. 2	17. 7	1.6		12.9	3. 2
生まれてからずっと	179	8. 9	9. 5	14. 0	10.6	13. 4	62. 0	36. 9	4. 5	1. 1	5. 0	27. 9	1. 7	3. 4	7. 3	2. 2

(5) 余暇の過ごし方について

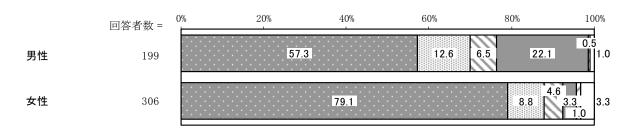
問 21 あなたは、休日(余暇)を誰と過ごすことが多いですか。(Oは1つだけ)

「家族」の割合が 70.5% と最も高く、次いで「一人」の割合が 10.7%、「友達」の割合が 10.3% となっています。



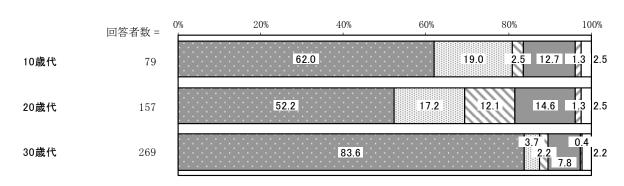
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「一人」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「家族」の割合が高く、約8割となっています。



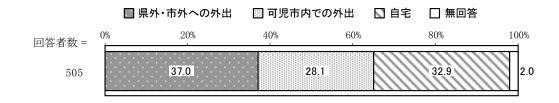
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「家族」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、10歳代、20歳代で「友達」「一人」の割合が高くなっています。



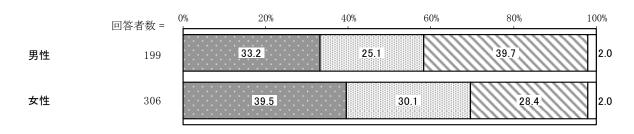
問 22 あなたは、休日(余暇)をどこで過ごすことが多いですか。(Oは1つだけ)

「県外・市外への外出」の割合が 37.0% と最も高く、次いで「自宅」の割合が 32.9%、「可児市内での外出」の割合が 28.1% となっています。



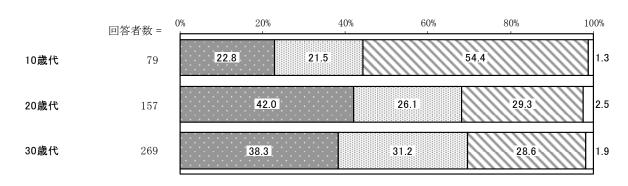
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自宅」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で「県外・市外への外出」「可児市内での外出」の割合が高くなっています。



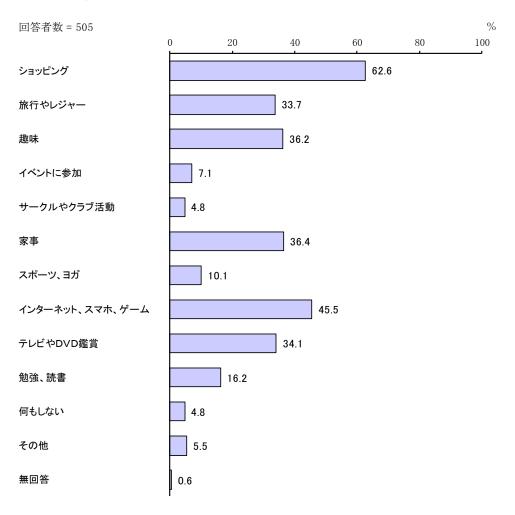
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「可児市内での外出」の割合が高くなっており、30歳代で約3割となっています。また、10歳代で「自宅」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



問23 あなたは、休日(余暇)に何をして過ごしますか。(回答複数可)

「ショッピング」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「インターネット、スマホ、ゲーム」の 割合が 45.5%、「家事」の割合が 36.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「趣味」「スポーツ、ヨガ」「インターネット、スマホ、ゲーム」「勉強、読書」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ショッピング」「旅行やレジャー」「家事」「テレビやDVD鑑賞」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	ゲーム	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
男性	199	44. 7	29.6	47.7	4. 5	3.0	17. 1	15.6	55. 3	30. 7	20.6	6. 5	5.0	0. 5
女性	306	74. 2	36. 3	28.8	8.8	5. 9	49. 0	6.5	39. 2	36. 3	13. 4	3. 6	5. 9	0. 7

【年代別】

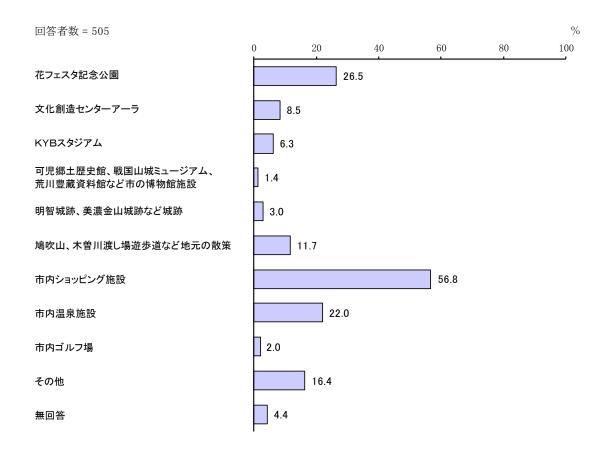
年代別でみると、年代が上がるにつれ「ショッピング」「旅行やレジャー」「家事」の割合が、 年代が下がるにつれ「趣味」「インターネット、スマホ、ゲーム」「勉強、読書」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家 事	スポーツ、ヨガ	ゲームインターネット、スマホ、	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
10 歳代	79	41.8	6.3	46.8	2. 5	13. 9	3.8	8.9	63. 3	29. 1	39. 2	7. 6	1.3	_
20 歳代	157	61.8	37. 6	39. 5	7. 0	2. 5	31.8	10. 2	54. 8	37. 6	17. 2	3. 8	4. 5	1. 3
30 歳代	269	69. 1	39. 4	31. 2	8.6	3. 3	48. 7	10.4	34. 9	33. 5	8.9	4. 5	7.4	0.4

問24 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

「市内ショッピング施設」の割合が56.8%と最も高く、次いで「花フェスタ記念公園」の割合が26.5%、「市内温泉施設」の割合が22.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「KYBスタジアム」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園」「市内ショッピング施設」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センターアーラ	KYBスタジアム	荒川豊蔵資料館など市の博物館施設可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	地元の散策鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
男性	199	22.6	8.5	10.6	2. 5	2.5	11. 1	48. 2	20.6	3.0	19. 6	4. 0
女性	306	29. 1	8.5	3. 6	0.7	3. 3	12. 1	62. 4	22. 9	1.3	14. 4	4.6

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「花フェスタ記念公園」の割合が高くなっており、30歳代で約3割となっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「文化創造センターアーラ」「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。

単位:%

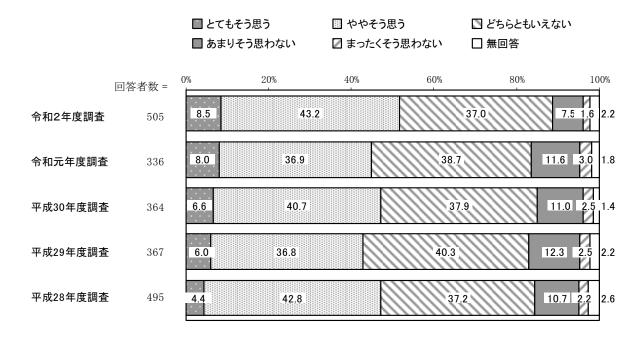
区分	回答者数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センターアーラ	KYBスタジアム	荒川豊蔵資料館など市の博物館施設可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	地元の散策 鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
10 歳代	79	11. 4	21.5	12. 7	_	2.5	11. 4	54. 4	17.7	_	16. 5	2. 5
20 歳代	157	26. 1	3.8	5. 7	0.6	1.3	7. 6	54. 8	26. 1	1.9	17. 2	4. 5
30 歳代	269	31. 2	7.4	4.8	2. 2	4. 1	14. 1	58. 7	20.8	2.6	16. 0	4.8

(6)子育て環境について

問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(Oは 1 つだけ)

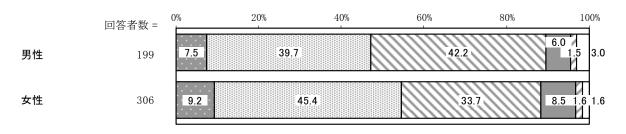
「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた"そう思う"の割合が 51.7%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた"そう思わない"の割合が 9.1%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和2年度にかけて"そう思わない"の 割合が減少しています。



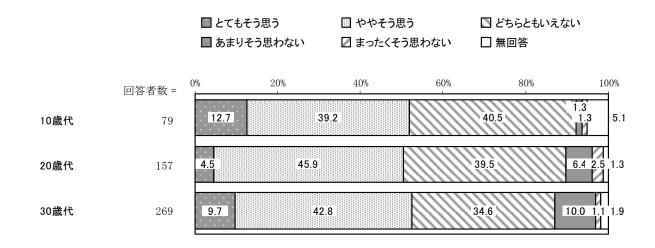
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で"そう思う"の割合が高く、5割台半ばとなっています。



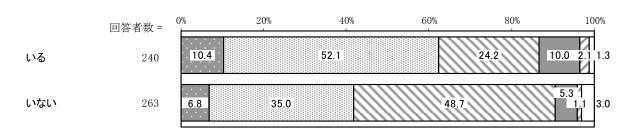
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【子どもの有無別】

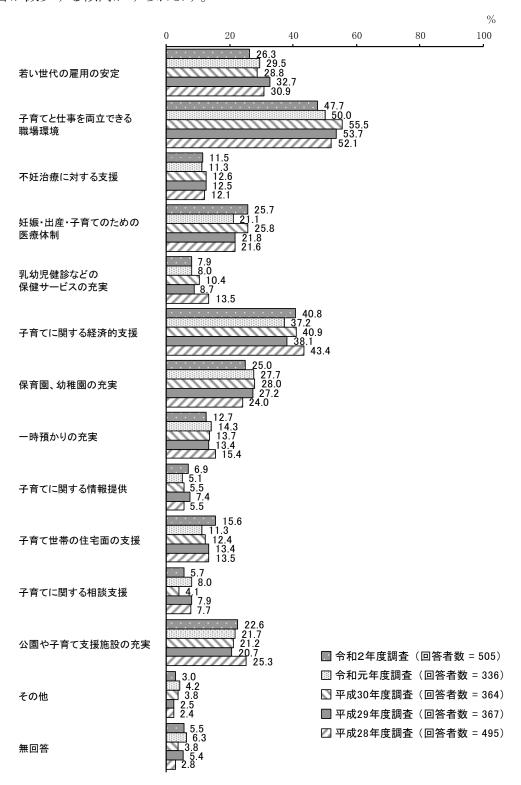
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で"そう思う"の割合が高く、6割台半ばとなっています。



問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り 組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「子育てに関する 経済的支援」の割合が 40.8%、「若い世代の雇用の安定」の割合が 26.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「子育てと仕事を両立できる職場環境」 の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「子育てに関する経済的支援」の 割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「公園や子育て支援施設の充実」の割合が 高く、2割台半ばとなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	職場環境	不妊治療に対する支援	医療体制	サービスの充実乳幼児健診などの保健	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	199	39. 7	46. 7	9.0	26. 1	5.0	44. 2	24. 6	13.6	5.0	17. 1	4.0	17. 1	4. 5	3. 5
女性	306	17.6	48.4	13. 1	25. 5	9.8	38. 6	25. 2	12. 1	8. 2	14. 7	6. 9	26. 1	2. 0	6. 9

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「子育てに関する経済的支援」「不妊治療に対する支援」 の割合が、年代が下がるにつれ「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高くなっていま す。

単位:%

区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	職場環境子育てと仕事を両立できる	不妊治療に対する支援	医療体制	サービスの充実乳幼児健診などの保健	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10 歳代	79	32.9	51.9	5. 1	26.6	1.3	35. 4	27.8	11.4	8.9	12. 7	10. 1	19.0	_	5. 1
20 歳代	157	31.8	49.0	8.9	22. 9	10. 2	41. 4	27. 4	11.5	8.3	17.8	6. 4	14. 0	3.8	4. 5
30 歳代	269	21.2	45. 7	14. 9	27. 1	8.6	42.0	22. 7	13.8	5.6	15. 2	4. 1	28. 6	3. 3	6. 3

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てに関する経済的支援」「子育て世帯の住宅面の支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「若い世代の雇用の安定」「子育てと仕事を両立できる職場環境」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	職場環境子育てと仕事を両立できる	不妊治療に対する支援	医療体制	サービスの充実乳幼児健診などの保健	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	240	15.0	43.8	12. 1	22. 9	10.0	45. 4	23. 3	11.3	7. 1	20. 4	3.8	35. 0	2. 5	6. 7
いない	263	36. 5	51.3	11.0	28. 5	6. 1	36. 5	26. 2	14. 1	6.8	11. 4	7. 6	11. 4	3. 4	4. 6

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、アルバイト・パート、学生で「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高く、約5割となっています。また、アルバイト・パート、家事専業で「公園や子育て支援施設の充実」の割合が、学生で「若い世代の雇用の安定」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

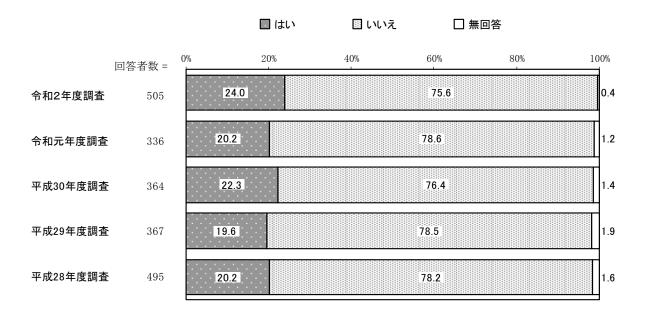
単位:%

区分	回答者数(件)	若い世代の雇用の安定	職場環境子育でと仕事を両立できる	不妊治療に対する支援	医療体制 ・子育てのための	サービスの充実乳幼児健診などの保健	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員·正職員	237	29.5	46.8	12.2	28.7	7. 2	43.0	27.4	13. 5	7.6	16.0	3. 4	20.3	2.5	3.8
アルバイト・パート	72	13. 9	51. 4	13. 9	22. 2	9. 7	44. 4	18. 1	12. 5	5. 6	16. 7	4. 2	36. 1	4. 2	1.4
派遣社員	6	33. 3	66. 7	Ī	33. 3	16. 7	50.0	16. 7	16. 7	16. 7	16. 7	33. 3	-	ı	_
嘱託·契約社員	3	33. 3	33. 3	33. 3	66. 7	l	100.0	1	1	l	_	1	l	1	_
自営業主·家族従業員	13	7. 7	23. 1	23. 1	15. 4	23. 1	23. 1	23. 1	7. 7		23. 1	-	15. 4	7. 7	23. 1
内職	3	_	66. 7	1	_	-	66. 7	33. 3			66. 7		33. 3	-	_
家事専業	50	14.0	42. 0	18.0	24.0	12.0	34. 0	26. 0	14. 0	2.0	14.0	4. 0	34. 0	2.0	16.0
学生	98	35. 7	51. 0	4. 1	24. 5	4. 1	35. 7	26. 5	9. 2	10. 2	12. 2	11. 2	18. 4	2.0	5. 1
無職	20	30.0	60. 0	10. 0	15.0	5. 0	45. 0	10.0	25. 0	5. 0	15.0	15. 0	10. 0	10.0	5. 0
その他	1	100.0	_	_	_	_		100.0	_		100.0	_	_	_	_

(7) 運動の推進について

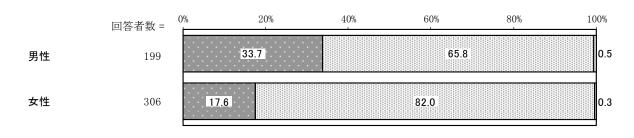
問 27 可児市では、1回 30 分週 2 回のウオーキングを推奨する歩こう可児 302 運動や 1人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民ースポーツを推進してい ます。あなたは、30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けていますか。 (〇は1つだけ)

「はい」の割合が24.0%、「いいえ」の割合が75.6%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



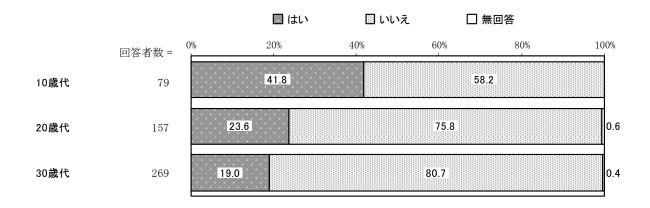
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、 男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高く、約8割となっています。



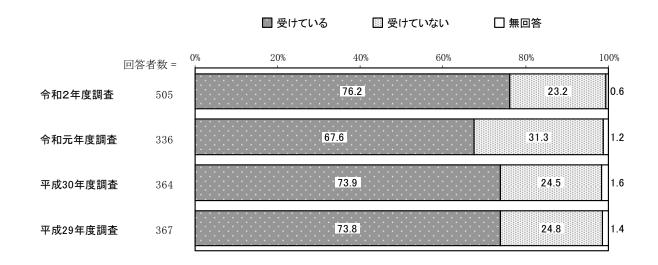
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「いいえ」の割合が高くなっており、30歳代で約8割となっています。



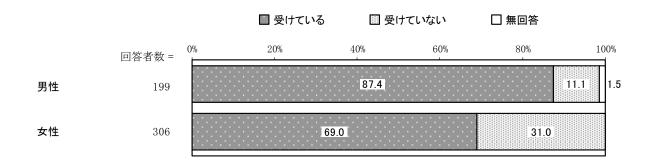
問 28 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。(Oは 1 つだけ)

「受けている」の割合が 76.2%、「受けていない」の割合が 23.2%となっています。 令和元年度以前の調査と比較すると、令和元年度に「受けている」の割合が減少したものの、 令和 2 年度では増加しています。



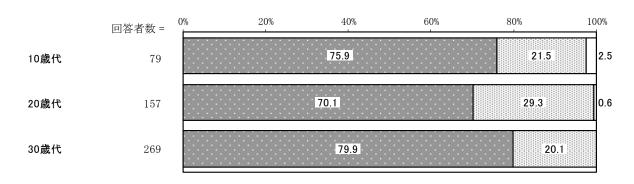
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けている」の割合が高く、8割台半ばとなっています。 また、男性に比べ、女性で「受けていない」の割合が高く、約3割となっています。



【年代別】

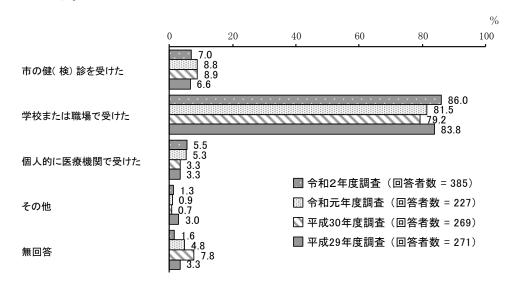
年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「受けていない」の割合が高く、約3割となっています。



受診場所

「学校または職場で受けた」の割合が86.0%と最も高くなっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成 30 年度以降「学校または職場で受けた」の割合が 増加しています。



※平成29年度調査、30年度調査では単数回答でした。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高く、約9割となっています。また、男性に比べ、女性で「市の健(検)診を受けた」の割合が高く、約1割となっています。

単位:%

区分	回答者数(件)	受けた 受けた	受けた	で受けたのに医療機関	その他	無回答
男性	174	2. 3	90. 2	5. 2	1. 7	1. 1
女性	211	10.9	82. 5	5. 7	0.9	1. 9

【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ「学校または職場で受けた」の割合が高くなっており、 10歳代で9割台半ばとなっています。

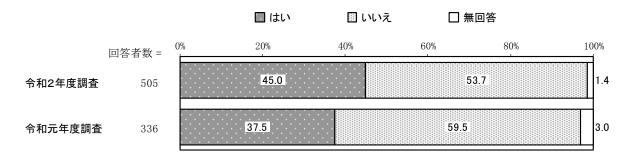
単位:%

区分	回答者数(件)	帝の健(検)診を	受けた学校または職場で	で受けた個人的に医療機関	その他	無回答
10 歳代	60	_	96. 7	1.7		1. 7
20 歳代	110	5. 5	85. 5	6. 4	0. 9	2. 7
30 歳代	215	9.8	83. 3	6.0	1. 9	0. 9

(8) 教育や学習に関する施策について

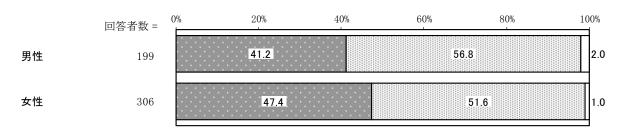
問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。(〇は1つだけ)

「はい」の割合が45.0%、「いいえ」の割合が53.7%となっています。 令和元年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



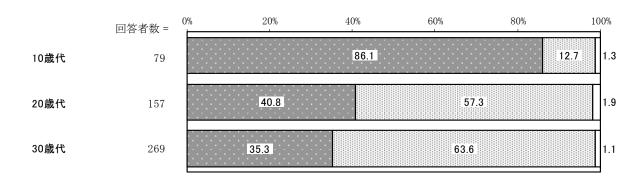
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ「はい」の割合が高く、10歳代で8割台半ばとなっています。



Ⅲ 調査票

1 全世代

令和2年度市民アンケート ~住みごこち一番・可児の実現に向けて~ ご協力のお願い

日頃は、可児市政にご協力いただきありがとうございます。

さて、我が国では、人口急減・超高齢化という大きな課題に直面しています。本市の国勢調査による平成 27 年(2015 年)の人口は過去最高の 98,695 人となりましたが、本市においても今後は減少が予想されており、令和42 年(2060 年)には約 65,000 人まで減少する見込みです。このような人口の減少や人口密度の低下により、生活関連サービスの提供に必要な人口規模を確保できなくなることで、スーパーなどの立地が難しくなり、日常の買物や通院などが困難になるなど市民生活の利便性が低下していく恐れがあります。

そのため、定住人口の維持・増加を図りながら、維持可能なまちづくりを進めていくことは非常 に重要な課題となっています。

本市では、これらの課題に的確に対応するため「可児市総合戦略(以下、本計画という。)」を平成27年(2015年)10月に策定し、対象期間を令和2年度(2020年度)9月末までとしています。 (裏面参照)

本計画では、さまざまな施策について目標を設定し、毎年度施策の実施状況についての点検・検証を行うこととしています。

本アンケート調査は、本計画の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するもので、本市在住の16歳以上の方3,000人を対象としています。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い 申し上げます。

令和2年6月1日

可児市長 冨田 成輝

【ご記入にあたってのお願いと注意点】

- ◆ アンケートは無記名です。お名前をご記入いただく必要はありません。 (ご本人の回答が困難な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。)
- ♦ 設問は全部で30問です。
- ◆ ご回答は、設問ごとの指示に従い、当てはまる番号に○をつけてください。設問によっては○をつける 数が異なりますので、ご注意ください。また、ご回答が「その他」の場合はカッコ内になるべく具体的な 内容をご記入ください。
- ◆ 本調査は統計的に処理しますので、個人の情報が特定されることはありません。

【問合せ先】可児市企画部総合政策課 担当:土田 平井 西澤

TEL: 0574-62-1111 (代表) FAX: 0574-63-4406 Email: sogoseisaku@city.kani.lg.jp

可児市総合戦略(概要)

《戦略の基本方針》 住みごこち一番・可児 若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造

【基本目標1(元気)】安定した生活基盤を築ける「人と経済が元気なまち」を創る

■基本的方向

主な施

な

施

策

企業誘致・拡張により働く場をつくることで就業ニーズに応えるとともに、各種の支援により商・工・農業の 活性化を図ります。また、働きやすい環境を整えていくことにより、企業活動を支える働き手を生み出します。

(1)企業の誘致・拡張と活動の支援

①新たな企業立地を促進 ②市内企業の拡張・活動を支援

(2)地域産業の活力づくり

①創業・起業を支援 ②消費を喚起し、市内産業の活力につなげる ③地域資源のブランド化を推進

(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築

①若者の地育地働を支援 ②仕事と育児の両立を支援 ③外国籍市民の安定した就労につながる、共生社会を創る

【基本目標 2 (魅力)】市の魅力を向上・発信することにより、人を引き付ける「魅力とつながりのあるまち」を創る ■基本的方向

地域資源を掘り起こし、市の魅力を高め、その魅力を市内外に発信することにより、交流人口を増やします。子 どもから大人までの市民誰もが可児市の良さを認識し、誇りと愛着を育み市民の活力を促進します。

(4)市の魅力の向上と発信

①観光資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力を伝えることで交流人口を増やす ②市の魅力や地域資源を PR

(5)定住・移住の促進

①定住・移住を促進するために都市機能や土地利用のポテンシャルを活かす ②定住・移住を促進するために住みよ さをPR

(6)地域と市民の元気づくり

①市民の文化的な活動を促進し、交流とうるおいをもたらす ②市民のスポーツ活動を促進し、市民の元気をつくる ③市民の支え合い活動を支援

(7)子どもたちのふるさとを愛する心を育む

①子どもたちにふるさとの良さを伝える

【基本目標3(希望)】子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができる「子育ての希望がかなうまち」を創る ■基本的方向

マイナス 10 カ月からの切れ目のない支援で、安心して子育てできる環境を整え、妊娠・出産・子育ての希望を かなえます。また、子どもたちが健全な社会人として成長するため、一人ひとりに寄り添い個々の力を伸ばす 教育環境を整えます。

(8)安心して子育てできる環境づくり

①子育て家庭と子育て支援をつなぐ ②子育ての大切さやノウハウを学ぶ ③地域のみんなで子ども・子育てに関わる ④子育て支援を総合的にサポートする拠点をつくる

(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

①子どもの育ちと学びの流れをつなぐ ②コミュニケーション能力の向上を図る ③いじめの防止・解決に取り組む ④外国籍児童・生徒の就学・進学を支援 ⑤子どもたちにふるさとの良さを伝える(再掲)

(10)結婚への機会づくり

①出会いの場づくりを支援

【基本目標4(安心)】地域で安心して暮らし続けることのできる「健康と安心が実感できるまち」を創る

■基本的方向

施

主な施

策

日常の市民生活の安全と利便性を確保するとともに、地域、福祉、医療が連携した、将来に不安のない安心な 暮らしができるよう環境を整えます。

(11)健康で暮らせる環境づくり

①運動や健康づくりに親しむ機会を提供

(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

①地域、医療、福祉が連携して安心な生活を確保 ②地域の支え合いの活動を支援

(13)安心して暮らせる生活環境づくり

①生活が守られ、暮らしの安心を確保 ②公共交通により、より良い移動手段を確保

③将来にわたり持続可能な公共施設を運営・管理

問1	あなたの性別はど	ちらですか。	(○は1 <i>つt</i>	ごけ)				
1.	男性	2. 女性						
問2	あなたの年齢は、	次のうちどれ [・]	ですか。(()は1つ :	だけ)			
1.	10 歳代	2. 20 歳付	ť	3. 3	30 歳代			
4.	40 歳代	5.50歳代	ť	6. 6	60 歳代		7.70歳(七以上
問3	あなたには、子ど (いる場合は子ども				選択可)			
1.	いる	→ (1)未京		(2)小・	中学生		(3)高校生・大学	学生
		(4)社会	≧人	(5)その	の他			
2.	いない							
問4	あなたの職業は、	次のうちどれ [・]	ですか。(()は1つ ;	だけ)			
1.	正社員・正職員	2. アルバー	イト・パー	+	3.	派遣社員		
4.	嘱託・契約社員	5. 自営業	主・家族従	業員	6.	内職		
7.	家事専業	8. 学生			9.	無職	10. その他	<u> </u>
問5	あなたは、どちら	にお住まいで [·]	すか。(自治	台連合会	単位)			
1.	今渡	2. 川合		3.	下恵土		4. 土田	
5.	帷子	6. 春里		7. t			8. 平牧	
9.	桜ケ丘ハイツ	10. 久々利	J.	11.	広見東		12. 広見	
13.	中恵土	14. 兼山		15.	不明(対	也区名)	
問6	あなたは、お住ま	いの地区の自	治会に加入	していま	ミすか 。((○は1つ	つだけ)	
1.	加入している	2. 加入し	ていない(その理由	3)
問7	お住まいの形態は	、次のうちど	ーーーー れですか。	(○は1 [.]	つだけ)			
1.	戸建住宅(購入)	2.	戸建住宅	(相続)		3.	戸建住宅(賃貸)
4.	分譲マンション	5.	賃貸マン	ション・	アパート	6.	公営住宅	
7.	社宅等	8.	その他()	
問8	あなたは、可児市(合併前の兼山	町を含む) (こお住ま	いになっ	で何年		つだけ)
			×				5年以上 10 年	
4.	10年以上20年末	満 5.	20 年以」	E				
6.	生まれてからずっと		問 11 へ					

【問8で1~5を選択された方に伺います】

問9	とのように可見	児市を転居先に選ばれまし	したか。(○は1つだけ)	
1.	可児市以外の選	軽択肢はなかった		
2.	他の市町村と比	(較した		
(t	比較した市町村を	3つまで記入してくださ	ιν _° ·)	
7 88	0で10.5を選	択された方に伺います】		
		だ理由は何ですか。(○は	: 1 つだけ)	
1.	地縁(出身地な	P親族がいるなど) 2	. 友人や知人がいた	
3.	通勤や通学に都	『合がよかった		
4.	暮らしやすいと	:感じた(該当の項目に〇	を記入)	
-	(1)子育てや教育	育環境の充実 (2)買物 ⁽²⁾	等の便利さ (3)医療や福祉環境の充実]
	(4)手頃な住宅(価格や家賃 (5)自然(こ恵まれた住環境 (6)文化活動・施設の充実	
5.	家族の事情(親	見の転勤など) 6	. その他()	•
7.	特にない			
問 11	あなたは日頃	、市の情報をどのように	収集していますか。(回答複数可)	
			3. コミュニティFM 4. ホームページ	
5.	SNS (インス	スタグラム、Youtube、こ	フェイスブック 、 ツイッター)	
	SNS(インス 電子メール		フェイスブック、ツイッター) 8.タウン誌(フリーペーパー)	
6.	電子メール		8. タウン誌(フリーペーパー)	
6. 9.	電子メール	7. 新聞 10. 知人から	8. タウン誌(フリーペーパー)	
6. 9. 12	電子メール 家族から . 自治会などの9	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧	8. タウン誌(フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他()	
6. 9. 12	電子メール 家族から . 自治会などの 2 あなたは、 市	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受け!	8. タウン誌(フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他() 取りたいですか。(回答複数可)	
6. 9. 12 問12	電子メール 家族から . 自治会などの 2 あなたは、市 広報紙	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受ける 2. ケーブルテレビ	8. タウン誌(フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他() 取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ	
6. 9. 12 問12 1. 5.	電子メール 家族から . 自治会などの 2 あなたは、市 広報紙 SNS(インス	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受ける 2. ケーブルテレビ スタグラム、Youtube、こ	8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 () 取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ フェイスブック、ツイッター、LINEなど)	
6. 9. 12 1. 5. 6.	電子メール 家族から . 自治会などの 2 あなたは、市 広報紙 SNS(インス 電子メール	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受ける 2. ケーブルテレビ スタグラム、Youtube、こ	8. タウン誌(フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他(取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ フェイスブック、ツイッター、LINEなど) 8. タウン誌(フリーペーパー)	
6. 9. 12 1. 5. 6. 9.	電子メール 家族から . 自治会などの 2 あなたは、市 広報紙 SNS(インス 電子メール 家族から	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受け 2. ケーブルテレビ スタグラム、Youtube、フ	8. タウン誌(フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他(取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ フェイスブック、ツイッター、LINEなど) 8. タウン誌(フリーペーパー)	
6. 9. 12 1. 5. 6. 9.	電子メール 家族から . 自治会などの 2 あなたは、市 広報紙 SNS(インス 電子メール 家族から . 自治会などの	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受ける 2. ケーブルテレビ スタグラム、Youtube、フィー 7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧	8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 () 取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ フェイスブック、ツイッター、LINEなど) 8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 ()	
6. 9. 12 1. 5. 6. 9. 12 問13	電子メール 家族から . 自治会などの望 2 あなたは、市 広報紙 SNS(インス 電子メール 家族から . 自治会などの望 3 あなたは、次	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受け 2. ケーブルテレビ スタグラム、Youtube、フィ・新聞 10. 知人から 集まりや回覧	8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 () 取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ フェイスブック、ツイッター、LINEなど) 8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 ()	
6. 9. 12 1. 5. 6. 9. 12 1.	電子メール 家族から . 自治会などの望 2 あなたは、市 広報紙 SNS(インス 電子メール 家族から . 自治会などの望 3 あなたは、次 政策などの情報	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受け 2. ケーブルテレビ スタグラム、Youtube、フィ・新聞 10. 知人から 集まりや回覧 のうちどのようなものに 2. 催しなどの情報	8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 () 取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ フェイスブック、ツイッター、LINEなど) 8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 () 興味がありますか。(回答複数可) 3. 月ごとのごみ収集・リサイクル日程	
6. 9. 12 1. 5. 6. 9. 12 1. 4.	電子メール 家族から . 自治会などの 2 あなたは、市 広報紙 SNS(インス 電子メール 家族から . 自治会などの 3 あなたは、次 政策などの情報 無料相談	7. 新聞 10. 知人から 集まりや回覧 の情報をどのように受け 2. ケーブルテレビ スタグラム、Youtube、フィ・新聞 10. 知人から 集まりや回覧 のうちどのようなものに 2. 催しなどの情報	8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 () 取りたいですか。(回答複数可) 3. コミュニティFM 4. ホームページ フェイスブック、ツイッター、LINEなど) 8. タウン誌 (フリーペーパー) 11. 市職員から 13. その他 ()	

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。 5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ〇で囲んでください。

3 黒満黒で評価し、該当する数分			重要度			満足度				
可児市総合戦略の主な施策 (詳細については、別紙「案内文裏 面」をご確認ください。)	重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	やや重要	重要	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
(1)企業の誘致・拡張と活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)地域産業の活力づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)市の魅力の向上と発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)定住・移住の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)地域と市民の元気づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)子どもたちのふるさとを愛する心を育む	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安心して子育てできる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)結婚への機会づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)健康で暮らせる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)支え合いにより地域で暮らせる仕 組みづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)安心して暮らせる生活環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問15 可児市に愛着はありますか。(○は1つだけ)

1. 愛着がある 2. 愛着はない 3. どちらともいえない	
--------------------------------	--

【問 15 で 1 (愛着がある)を選択された方に伺います】

問16 その理由は何ですか。(○は3つまで)

生まれ故郷だから
 生活の安全性が高いから(災害等)
 生活の利便性が高いから(交通・買物等)
 自然環境や景観が好きだから
 人や地域が好きだから(人柄・つながり・地域活動等)
 歴史・文化・芸術が好きだから
 有の質・環境が充実しているから
 福祉の支援・環境が充実しているから(障がい・介護等)
 その他(

問17 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

1.	ずっと可児市に住みたい		問18へ
2.	可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい		回10、
3.	できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定) —		問19へ
4.	どちらともいえない▶ 問20へ		

【問 17 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい) を選択された方に伺います】

問 18 その理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1. 家族と一緒に住みたいから
- 2. 可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから
- 3. 通勤・通学に便利だから
- 4. 買物など生活するのに便利だから
- 5. 自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから
- 6. 人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)
- 7. 子どもを産み・育てる環境が充実しているから
- 8. 保健・医療体制が整っているから
- 9. 障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから
- 10. 可児市に愛着があるから
- 11. 可児市が故郷だから
- 12. 他に住みたいところがないから
- 13. その他(

問 18 を答えた方 ⇒ 問 20 へ

【問 17 で 3 (できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定))を選択された方に伺います】 問 19 その理由は何ですか。(○は3つまで)

1.	可児市に働く場所がないから	
2.	進学や仕事の事情(転勤等)から	
3.	通学・通勤に不便だから	
4.	買物など生活するのに不便だから	
5.	娯楽や遊ぶ施設がないから	
6.	親との同居や結婚等の事情から	
7.	子どもを産み・育てる環境が充実していない	から
8.	保健・医療体制が整っていないから	
9.	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していない	から
10.	故郷に戻るため	
11.	その他()
問 20	可児市の自慢できる地域資源(観光施設・特産	品など)はどれだと思いますか。(○は3つまで)
	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	2. 美濃金山城をはじめとした城跡
3.	鳩吹山	4.木曽川・可児川
5.	KYBスタジアム	6. 花フェスタ記念公園(バラ)
7.	文化創造センター(アーラ)	8. ゴルフ場
9.	可児そだち※	10. 里芋
11.	・ギター	12. ガラス工芸
13.	. その他 ()	14. 特にない
※可!		を受けた、可児市で生産された安心・安全で品質
	の良い農産物、およびその農産物	がを使用した加工品
問 21	あなたは、休日(余暇)を誰と過ごすことが多し	いですか。(○は1つだけ)
1.	家族 2. 友達 3. 恋人	4. 一人 5. ペット
問 22	あなたは、休日(余暇)をどこで過ごすことが	多いですか。(○は1つだけ)
1.	県外・市外への外出 2. 可児市内での	N出 3. 自宅
BB 22	またたけ 仕口(今四)に与たして過去します。	
	あなたは、休日(余暇)に何をして過ごしますが ショッピング 2. 旅行やレジャー	
	イベントに参加 5. サークルやクラ	
	スポーツ、ヨガ 8. インターネット	
	テレビやDVD鑑賞 10. 勉強、読書	
	その他(11. 13.00.00

問 24	あなたは、市内での外出の場合どこに行	うきま	ますか。(回答複数可)
1.	花フェスタ記念公園	2.	文化創造センターアーラ
3.	KYBスタジアム		
4.	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージア	2 Д,	荒川豊蔵資料館など市の博物館施設
5.	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	6.	鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など地元の散策
7.	市内ショッピング施設	8.	市内温泉施設
9.	市内ゴルフ場	10). その他 ()
問 25	5 可児市は、子育てしやすい環境だと	思い	ゝますか。(○は1つだけ)
1.	とてもそう思う 2. やな	そう	う思う 3. どちらともいえない
4.	あまりそう思わない 5. まっ	た<	くそう思わない
問 26	5 妊娠・出産・子育てのために、市は だと思いますか。(○は3つまで)	今後	後どのようなことを重視した支援策に取り組むべき
1.	若い世代の雇用の安定	2.	子育てと仕事を両立できる職場環境
3.	不妊治療に対する支援	4.	妊娠・出産・子育てのための医療体制
5.	乳幼児健診などの保健サービスの充実	6.	子育てに関する経済的支援
7.	保育園、幼稚園の充実	8.	一時預かりの充実
9.	子育てに関する情報提供	10). 子育て世帯の住宅面の支援
11.	. 子育てに関する相談支援	12	2. 公園や子育て支援施設の充実
13	・その他()
問 27	が少なくとも1つのスポーツに親し	:—i	Fングを推奨する歩こう可児 302 運動や1人の市民 市民一スポーツを推進しています。 上、1年以上続けていますか。(○は1つだけ)
1.	はい	2.	いいえ
問 28	3 あなたは、定期的に健康診査を受け (受けている場合は該当の項目に○		
1	平けている いん(1) 本の(は()会) 念	ナ双	いた (の)学校士たけ贈担で受けた

1.	受けている		(1)市の健(検)診を受けた	(2)学校または職場で受けた	
		! !	(3)個人的に医療機関で受けた	(4)その他	ı
2.	受けていない	١			

- 問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。 あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口 があることを知っていますか。(○は1つだけ)
 - ・可児市いじめ防止専門委員会 相談室 (可児市役所子育て支援課内、子ども相談ダイヤルTeL0120-263-115)
 - ・心の電話相談室(可児市教育研究所、Tel63-2444)

1.	はい	2. いいえ
	由意見】 その他、 い。	可児市のこれからのまちづくりに関して、ご意見がありましたらお聞かせくださ
-		
-		
-		
-		
-		
-		
_		
_		
_		
-		
-		
-		
_		

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。 アンケートは<u>令和2年6月15日(月)</u>までにご返送をお願いします。

2 若年層

令和2年度市民アンケート ~住みごこち一番・可児の実現に向けて~ ご協力のお願い

日頃は、可児市政にご協力いただきありがとうございます。

さて、我が国では、人口急減・超高齢化という大きな課題に直面しています。本市の国勢調査による平成 27 年(2015 年)の人口は過去最高の 98,695 人となりましたが、本市においても今後は減少が予想されており、令和42 年(2060 年)には約 65,000 人まで減少する見込みです。このような人口の減少や人口密度の低下により、生活関連サービスの提供に必要な人口規模を確保できなくなることで、スーパーなどの立地が難しくなり、日常の買物や通院などが困難になるなど市民生活の利便性が低下していく恐れがあります。

そのため、定住人口の維持・増加を図りながら、維持可能なまちづくりを進めていくことは非常 に重要な課題となっています。

本市では、これらの課題に的確に対応するため「可児市総合戦略(以下、本計画という。)」を平成27年(2015年)10月に策定し、対象期間を令和2年度(2020年度)9月末までとしています。 (裏面参照)

本計画では、さまざまな施策について目標を設定し、毎年度施策の実施状況についての点検・検証を行うこととしています。

本アンケート調査は、本計画の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するもので、本市在住の16歳以上の方3,000人を対象としています。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い 申し上げます。

令和2年6月1日

可児市長 冨田 成輝

【ご記入にあたってのお願いと注意点】

- ◆ アンケートは無記名です。お名前をご記入いただく必要はありません。 (ご本人の回答が困難な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。)
- ◆ 設問は全部で30問です。
- ◆ ご回答は、設問ごとの指示に従い、当てはまる番号に○をつけてください。設問によっては○をつける 数が異なりますので、ご注意ください。また、ご回答が「その他」の場合はカッコ内になるべく具体的な 内容をご記入ください。
- ◆ 本調査は統計的に処理しますので、個人の情報が特定されることはありません。

【問合せ先】可児市企画部総合政策課 担当:土田 平井 西澤

TEL: 0574-62-1111 (代表) FAX: 0574-63-4406 Email: sogoseisaku@city.kani.lg.jp

可児市総合戦略(概要)

《戦略の基本方針》 住みごこち一番・可児 若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造

【基本目標1(元気)】安定した生活基盤を築ける「人と経済が元気なまち」を創る

■基本的方向

主な施

な

施

策

企業誘致・拡張により働く場をつくることで就業ニーズに応えるとともに、各種の支援により商・工・農業の活性化を図ります。また、働きやすい環境を整えていくことにより、企業活動を支える働き手を生み出します。

(1)企業の誘致・拡張と活動の支援

①新たな企業立地を促進 ②市内企業の拡張・活動を支援

(2)地域産業の活力づくり

①創業・起業を支援 ②消費を喚起し、市内産業の活力につなげる ③地域資源のブランド化を推進

(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築

①若者の地育地働を支援 ②仕事と育児の両立を支援 ③外国籍市民の安定した就労につながる、共生社会を創る

【基本目標2(魅力)】市の魅力を向上・発信することにより、人を引き付ける「魅力とつながりのあるまち」を創る
■基本的方向

地域資源を掘り起こし、市の魅力を高め、その魅力を市内外に発信することにより、交流人口を増やします。子どもから大人までの市民誰もが可児市の良さを認識し、誇りと愛着を育み市民の活力を促進します。

(4)市の魅力の向上と発信

①観光資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力を伝えることで交流人口を増やす ②市の魅力や地域資源を PR

(5)定住・移住の促進

①定住・移住を促進するために都市機能や土地利用のポテンシャルを活かす ②定住・移住を促進するために住みよさを PR

(6)地域と市民の元気づくり

①市民の文化的な活動を促進し、交流とうるおいをもたらす ②市民のスポーツ活動を促進し、市民の元気をつくる ③市民の支え合い活動を支援

(7)子どもたちのふるさとを愛する心を育む

①子どもたちにふるさとの良さを伝える

【基本目標3(希望)】子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができる「子育ての希望がかなうまち」を創る ■基本的方向

マイナス 10 カ月からの切れ目のない支援で、安心して子育てできる環境を整え、妊娠・出産・子育ての希望をかなえます。また、子どもたちが健全な社会人として成長するため、一人ひとりに寄り添い個々の力を伸ばす教育環境を整えます。

(8)安心して子育てできる環境づくり

①子育て家庭と子育て支援をつなぐ ②子育ての大切さやノウハウを学ぶ ③地域のみんなで子ども・子育てに関わる ④子育て支援を総合的にサポートする拠点をつくる

(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

①子どもの育ちと学びの流れをつなぐ ②コミュニケーション能力の向上を図る ③いじめの防止・解決に取り組む ④外国籍児童・生徒の就学・進学を支援 ⑤子どもたちにふるさとの良さを伝える(再掲)

(10)結婚への機会づくり

①出会いの場づくりを支援

【基本目標 4 (安心)】地域で安心して暮らし続けることのできる「健康と安心が実感できるまち」を創る

■基本的方向

施

日常の市民生活の安全と利便性を確保するとともに、地域、福祉、医療が連携した、将来に不安のない安心な暮らしができるよう環境を整えます。

(11)健康で暮らせる環境づくり

①運動や健康づくりに親しむ機会を提供

(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

①地域、医療、福祉が連携して安心な生活を確保 ②地域の支え合いの活動を支援

(13)安心して暮らせる生活環境づくり

①生活が守られ、暮らしの安心を確保 ②公共交通により、より良い移動手段を確保

③将来にわたり持続可能な公共施設を運営・管理

主な施

策

問1	あなたの性別はど	ちらて	ですか。	(○は1つ)	だけ)				
1.	男性	2.	女性						
問2	あなたの年齢は、	次のう	うちどれ ⁻	ですか。(○は1つ	だけ)			
1.	10 歳代	2.	20 歳仁	ť	3.	30 歳代	Š		
4.	40 歳代	5.	50 歳仁	ť	6.	60 歳代	Ò	7. 7	0 歳代以上
問3	あなたには、子ど (いる場合は子ども					選択可)			
1.	いる	-	(1)未就	大学	(2)小	・中学生	-	(3)高校生	・大学生
		į.	(4)社会	爻	(5)そ	の他			;
2.	いない								
問4	あなたの職業は、	次のう	うちどれ ⁻	ですか。()は1 つ	だけ)			
1.	正社員・正職員	2.	アルバ-	イト・パー	٠,	3.	派遣社員		
4.	嘱託・契約社員	5.	自営業	主・家族従	業員	6.	内職		
7.	家事専業	8.	学生			9.	無職	10.	その他
問 5	あなたは、どちら	にお住	Eまいで ^っ	すか。(自治	冶連合会	(単位)			
1.	今渡	2.	川合		3.	下恵土		4. ±	
5.	帷子	6.	春里		7.	姫治		8. 平	-牧
9.	桜ケ丘ハイツ	10.	久々利	J	11.	広見東		12. [5見
13.	中恵土	14.	兼山		15.	不明(地区名)
問6	あなたは、お住ま	いの地	地区の自治	治会に加入	してい	ますか。	()は1 ⁻	つだけ)	
1.	加入している	2.	加入して	ていない(その理	±)
問7	お住まいの形態は	、次の	うちど	れですか。	()は1	つだけ)			
1.	戸建住宅(購入)		2.	戸建住宅	(相続)		3.	戸建住宅((賃貸)
4.	分譲マンション		5.	賃貸マン	ション・	・アパー	⊦ 6.	公営住宅	
7.	社宅等		8.	その他()	
問8	あなたは、可児市(合併前	前の兼山	町を含む)	にお住ま	ミいにな [.]	って何年	ですか。(〇	は1つだけ)
1.	3年未満		2.	3年以上	5年未満	苛	3.	5年以上1	10 年未満
4.	10年以上20年末	満	5.	20年以	L				
6.	生まれてからずっと	= -		問 11 へ					

【問8で1~5を選択された方に伺います】

問9	どのように可児市を転居先に選ばれましたか。	(○は1つだけ)

1. 可児市以外の選択肢はなかった
2. 他の市町村と比較した
(比較した市町村を3つまで記入してください。・・・)
【問8で1~5を選択された方に伺います】 問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(○は1つだけ)
1. 地縁(出身地や親族がいるなど) 2. 友人や知人がいた
3. 通勤や通学に都合がよかった
4. 暮らしやすいと感じた(該当の項目に〇を記入)
→ (1)子育てや教育環境の充実 (2)買物等の便利さ (3)医療や福祉環境の充実
(4) 手頃な住宅価格や家賃 (5) 自然に恵まれた住環境 (6) 文化活動・施設の充実
5. 家族の事情(親の転勤など) 6. その他(
7. 特にない
問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)
1. 広報紙 2. ケーブルテレビ 3. コミュニティFM 4. ホームページ
5.SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター)
6. 電子メール 7. 新聞 8. タウン誌(フリーペーパー)
9. 家族から 10. 知人から 11. 市職員から
12. 自治会などの集まりや回覧 13. その他()
即 12 またたけ、古の桂却たじのとうに受け取りたいですか。(同答指数元)
12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)
5. SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)
6. 電子メール 7. 新聞 8. タウン誌(フリーペーパー)
9. 家族から 10. 知人から 11. 市職員から
12. 自治会などの集まりや回覧 13. その他()
7 - 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)
1. 政策などの情報 2. 催しなどの情報 3. 月ごとのごみ収集・リサイクル日程
4. 無料相談 5. 市長からの発信 6. 議会からの発信 7. 防災情報
8. 子育て・教育情報 9. その他 ()

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。 5 点満点で評価し、該当する数字を 1 つずつ〇で囲んでください。

		į	重要度	Ę		満足度					
可児市総合戦略の主な施策 (詳細については、別紙「案内文裏 面」をご確認ください。)	重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	やや重要	重要	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足	
(1)企業の誘致・拡張と活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(2)地域産業の活力づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(4)市の魅力の向上と発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(5)定住・移住の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(6)地域と市民の元気づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(7)子どもたちのふるさとを愛する心を育む	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(8)安心して子育てできる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(10)結婚への機会づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(11)健康で暮らせる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(12)支え合いにより地域で暮らせる仕 組みづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(13)安心して暮らせる生活環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

問15 可児市に愛着はありますか。(○は1つだけ)

1. 愛着がある	2. 愛着はない	3. どちらともいえない

【問 15 で 1 (愛着がある)を選択された方に伺います】

問16 その理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1. 生まれ故郷だから
- 2. 思い出があるから
- 3. 生活の安全性が高いから(災害等) 4. 生活の利便性が高いから(交通・買物等)
- 5. 自然環境や景観が好きだから
- 6. 人や地域が好きだから(人柄・つながり・地域活動等)
- 7. 歴史・文化・芸術が好きだから
- 8. 子育ての支援・環境が充実しているから
- 9. 教育の質・環境が充実しているから 10. 福祉の支援・環境が充実しているから(障がい・介護等)

)

問18へ

問19へ

11. その他(

問 17 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

- 「1. ずっと可児市に住みたい
- 12. 可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい
- 3. できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)
- 4. どちらともいえない ----- 問20へ

【問 17 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出ても、将来的には可児市に 戻りたい)を選択された方に伺います】

問 18 その理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1. 家族と一緒に住みたいから
- 2. 可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから
- 3. 通勤・通学に便利だから
- 4. 買物など生活するのに便利だから
- 5. 自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから
- 6. 人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)
- 7. 子どもを産み・育てる環境が充実しているから
- 8. 保健・医療体制が整っているから
- 9. 障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから
- 10. 可児市に愛着があるから
- 11. 可児市が故郷だから
- 12. 他に住みたいところがないから
- 13. その他(

問 18 を答えた方 ⇒ 問 20 へ

【問 17 で 3 (できれば可児市以外に引越ししたい(引越し予定)) を選択された方に伺います】 問 19 その理由は何ですか。(○は 3 つまで)

כו נם	での珪田は何ですが。(○はうつまで)	
1.	可児市に働く場所がないから	
2.	進学や仕事の事情(転勤等)から	
3.	通学・通勤に不便だから	
4.	買物など生活するのに不便だから	
5.	娯楽や遊ぶ施設がないから	
6.	親との同居や結婚等の事情から	
7.	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	
8.	保健・医療体制が整っていないから	
9.	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	
10.	故郷に戻るため	
11.	、その他()

問 20 可児市の自慢できる地域資源(観光施設・特産品など)はどれだと思いますか。(○は3つまで)

1. 美濃桃山陶の	聖地 (志野焼など)		2. 美濃金山城をはじめとした城跡
3. 鳩吹山			4. 木曽川・可児川
5. KYBスタジ	アム		6. 花フェスタ記念公園(バラ)
7. 文化創造センタ	ター(アーラ)		8. ゴルフ場
9. 可児そだち※			10. 里芋
11. ギター			12. ガラス工芸
13. その他()	14. 特にない

※可児そだち・・・可児市地産地消実行委員会の認定を受けた、可児市で生産された安心・安全で品質の良い農産物、およびその農産物を使用した加工品

問 21 あなたは、休日 (余暇) を誰と過ごすことが多いですか。 (○は1つだけ)

1. 家族 2. 友達 3. 恋人 4. 一人 5. ペット

問22 あなたは、休日(余暇)をどこで過ごすことが多いですか。(○は1つだけ)

1. 県外・市外への外出 2. 可児市内での外出 3. 自宅

問23 あなたは、休日(余暇)に何をして過ごしますか。(回答複数可)

1. ショッピング	2. 旅行やレジャー	3. 趣味
4. イベントに参加	5. サークルやクラブ活動	6. 家事
7.スポーツ、ヨガ	8. インターネット、スマホ、ゲ	$-\Delta$
9. テレビやDVD鑑賞	10. 勉強、読書	11. 何もしない
12. その他()	

問 24 あなたは、市内での外出の場合どこに	行きますか。(回答複数可)
1. 花フェスタ記念公園	2. 文化創造センターアーラ
3. KYBスタジアム	
4. 可児郷土歴史館、戦国山城ミュージ	アム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設
5. 明智城跡、美濃金山城跡など城跡	6. 鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など地元の散策
7. 市内ショッピング施設	8. 市内温泉施設
9. 市内ゴルフ場	10. その他(
問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと	:思いますか。(○は1つだけ)
1. とてもそう思う 2. やや	やそう思う 3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない 5. ま・	ったくそう思わない
問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は だと思いますか。(○は3つまで)	は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべき
1. 若い世代の雇用の安定	2. 子育てと仕事を両立できる職場環境
3. 不妊治療に対する支援	4. 妊娠・出産・子育てのための医療体制
5. 乳幼児健診などの保健サービスの充実	₹6. 子育てに関する経済的支援
7. 保育園、幼稚園の充実	8. 一時預かりの充実
9. 子育てに関する情報提供	10. 子育て世帯の住宅面の支援
11. 子育てに関する相談支援	12. 公園や子育て支援施設の充実
13. その他()
が少なくとも1つのスポーツに親し	オーキングを推奨する歩こう可児 302 運動や1人の市民 む一市民一スポーツを推進しています。 回以上、1年以上続けていますか。(○は1つだけ)
1. はい	2. いいえ
問 28 あなたは、定期的に健康診査を受け (受けている場合は該当の項目に	
1. 受けている(1)市の健(検)診	を受けた (2)学校または職場で受けた
(3)個人的に医療	療機関で受けた (4)その他
2. 受けていない	

- 問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。 あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口 があることを知っていますか。(○は1つだけ)
 - ・可児市いじめ防止専門委員会 相談室 (可児市役所子育て支援課内、子ども相談ダイヤルTeL0120-263-115)
 - ・心の電話相談室(可児市教育研究所、Tel63-2444)

1. はい

1.	はい	2. いいえ
	I由意見】 0 その他、 い。	可児市のこれからのまちづくりに関して、ご意見がありましたらお聞かせくださ

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。 アンケートは<u>令和2年6月15日(月)</u>までにご返送をお願いします。